

平成30年度

# 伊勢崎市教育要覧



伊勢崎市教育委員会

# 序

現代は知識基盤社会であり、グローバル化や情報化が一層進み、競争と技術革新が絶え間なく行われています。このような国際社会の中で、自ら夢と希望をもち、充実した人生を送るために必要な資質・能力として、幅広い知識と柔軟な思考に基づく判断、幅広い人間性と創造性、そして、健やかな心身の育成などが求められています。

平成29年3月に告示された次期学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善等によって、教育の質を一層高め、新しい時代に求められる資質・能力の育成を図ることが示されています。さらに、「社会に開かれた教育課程」の実現が重視され、地域や家庭などの社会と学校とが連携・協働し、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創ることが求められています。本市においても、これまでの教育の成果を継承しながら、子ども自身が、夢や希望をもち、新しい未来を創り出す教育を大切にしていきたいと考えております。

そこで、学校教育においては、「伊勢崎学校教育構想2018」を策定し、「市民性育成プラン」「21世紀型学力向上プラン」「地域と世界をつなぐ人材育成プラン」を3本柱としました。子ども一人一人の夢や希望の実現に向け、ふるさと伊勢崎の伝統・文化・歴史に立脚したグローバルな広い視野と高い志をもち、よりよい未来を創り出すことができる子どもの育成を目指します。

社会教育においては、子どもの学びや気づきを広げるための体験活動や親子の絆を深めるための活動など、市民のニーズに合わせた事業の実施により公民館等における学習を充実させ、生涯学習の一層の充実を目指します。また、図書館を中心として、本との出合いを演出し、本に親しむ習慣を形成することで人を育み、市民ボランティアとの連携・協働により「読書の街づくり」をさらに推進します。そして、先人が残した地域の歴史遺跡や文化遺産など貴重な文化財を活用し、郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成を目指します。

そして、これらの方針の基盤として、「市民性」の育成が重要であると考えております。社会的伝統に基づきながら、公正な社会づくりに向けた行動をとろうとする、社会の一員としての自覚と態度、社会の抱える課題等についての的確に判断し、意思決定できる判断能力が求められます。

本市教育委員会は持続可能な地域社会を実現し、子どもから大人まで誰もが笑顔になれるよう、夢や希望、生きがいの実現に向けて、“未来をつくる”ことができる子どもの育成に向け、今後も教育の振興を図っていきます。

結びに、本市教育の歩み及び施策等を記載した本要覧を広く皆様にご活用いただきますとともに、ご指導、ご助言をいただく機会となれば幸いです。

伊勢崎市教育委員会教育長 徳江基行

## あいさつ



平成27年4月1日から施行されました地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、総合教育会議の開催、教育に関する大綱の策定と段階的に移行し、平成29年度より「新教育長の誕生」とともに新教育委員会制度へ全面移行いたしました。

本制度による昨年度の総合教育会議では、大綱の基本方針をもとに「子どもたちの食育」をはじめ、誰もが生涯にわたり年齢や体力などに応じて楽しめる「生涯スポーツ」に焦点をあて協議を行ってまいりましたが、今後もさらに、教育を取り巻く課題について総合教育会議が教育行政運営に有意義なものとなるよう努めてまいります。

子供たちが安全で快適な環境のもと学習に取り組める環境整備の推進、学校給食調理場の再編統合建設計画の実施や地域における生涯学習の活動拠点となる公民館整備計画等を引き続き推進してまいります。

市長と教育委員会とに関わる施策の協議調整により、次世代を担う子供たちが元気で健やかに成長できる環境と生涯にわたり市民一人ひとりが夢と希望に向かって生き生きと個性が輝くまちづくりにつながる施策を進めてまいります。

子供から大人までのだれもが、郷土に誇りと愛着を持ち、健康でしあわせを感じられる都市となるよう『伊勢崎をもっと元気に、もっと豊かに、もっと安全に』を基調に市政運営に取り組んでまいります。

これからも、本市がさらに輝きをましていけるよう教育行政に対しまして、多くの皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げ、あいさついたします。

伊勢崎市長 **五十嵐清隆**

# 目 次

## 序

### 市長あいさつ

### 目次

市民憲章	1		
伊勢崎市の概要 (沿革・市章・市旗・市の木・市の花・都市宣言ほか)	2		
伊勢崎市教育振興施策の大綱	6		
<b>I 教育行財政</b>			
教育委員会	11		
教育のあゆみ	15		
平成30年度教育費予算	27		
平成30年度一般会計予算	28		
平成30年度教育費項目別予算	29		
教育費年度別決算額	30		
<b>II 教育施設</b>			
教育施設一覧	33		
平成29年度施設建設等主要事業	39		
平成30年度施設建設等主要事業計画	46		
<b>III 学校教育</b>			
平成30年度主要事業	49		
各種事業	50		
（学力向上・学校等訪問・進路指導・人権教育 環境教育・情報教育・特別支援教育・外国語 指導助手・外国籍児童生徒学校生活支援助手 配置事業・地域の教育力の活用）			
各種補助・援助	58		
園児・児童生徒数	60		
学校体育保健	64		
日本スポーツ振興センター	66		
四ツ葉学園中等教育学校	67		
教育研究所	69		
<b>IV 学校給食</b>			
学校給食の充実		73	
<b>V 生涯学習</b>			
生涯学習の充実		79	
図書館		89	
<b>VI 文化振興</b>			
文化振興		99	
<b>VII 文化財保護</b>			
文化財の保護と活用		105	
<b>VIII 青少年健全育成</b>			
心身ともに健全な青少年の育成の推進		117	
青少年非行防止活動の推進		121	
<b>IX スポーツ振興</b>			
スポーツ振興		125	

### 題 字

伊勢崎市教育委員会教育長 徳江基行

表紙写真 史跡上野国佐位郡正倉跡八角形倉庫復元模型（八面甲倉）  
伊勢崎学校教育構想2018  
伊勢崎イングリッシュマガジン  
英語教育（あずま北小学校）

## 伊勢崎市民憲章

古くから赤城山のふもとに大きく開けた伊勢崎の地は、水と緑と陽光の織りなす豊かな自然に生まれ着実に発展してきました。

わたくしたち伊勢崎市民は、先人が知恵と勇気とたゆまぬ努力で築いてきた歩みを一人ひとりが受けつぎ、さらに快適で希望と活力に満ちた住みよいまちをつくるため、この憲章を定めます。

- 一 いのちを大切にします
- 一 こころとからだをきたえます
- 一 お互いを尊重します
- 一 ふれあいを広げます
- 一 ふるさとの発展に力を合わせます

市民憲章は、平成18年12月20日に制定されました。

この市民憲章は、市民の共感に基づいた自発的な行動意欲を喚起するとともに相互協力と連携の精神を高揚し、さらに快適で希望に満ちた住みよいまちを築く指針となり、心の支えとなり続ける理念を示すことを目的としています。

# 伊勢崎市の概要

## 沿革

伊勢崎市の地勢は比較的平坦であるが、広瀬川を境に右岸は北西から東南へ傾斜する利根川による沖積低地、左岸はほぼ北から南へ傾斜する赤城山南東に発達する大間々を扇頂とする大間々扇状地の扇端部からなる。

左岸は湧水が多く、小河川がつくる浅い開析谷が発達し、権現山遺跡をはじめとする旧石器時代から縄文時代の遺跡が多く見られるが、弥生時代の遺跡の分布は比較的少ない。古墳時代になると湧水や小河川沿いには村落が発達し、県指定重要文化財の長持形石棺をもつ前方後円墳の「お富士山古墳」（市指定史跡）をはじめ、主な河川沿いに多くの古墳群や集落が発達している。古代の遺跡では、上野国佐位郡正倉跡（国指定史跡）で「上野国交替実録帳」に記載された「八面甲倉」の八角形建物が発見された。また、上植木廃寺は佐位郡の寺院と考えられ、佐位郡衙との関連が指摘されている。境地区北で伊勢崎、東地区との東西一直線の境界は、宮都から陸奥国へ通じた東山道駅路の痕跡として今日まで残っている。さらに境伊与久の十三宝塚遺跡（国指定史跡）は、『続日本紀』天平19年12月14日条の「百姓に造塔を許す」という勅に比定され、上野国分寺の創建とも関係する寺院跡である。古代末から中世には藤原秀郷流の一族を開発領主とする湊名荘が置かれ、その灌漑用水として赤堀地区から東地区に及ぶ女堀（国指定史跡）が状態良く残っている。

戦国期には藤姓湊名氏の一族赤堀氏、田部井氏、那波郡を本貫地とした那波氏等の在地の武士が台頭するが、戦国大名の勢力のはざままで没落してゆく。那波氏が拠点としていた赤石郷にあった砦は由良氏の手落ち、由良氏は赤石郷を伊勢皇大神宮に寄進し、これを勧請し砦の中に祀った。以後この砦は「伊勢崎」と呼ばれ、現在までの地名として定着する。

伊勢崎地区及び境地区には、天正18年（1580）那波郡に一万石で松平氏が、やや遅れて佐位郡に一万石で稲垣氏が入封、以後両氏の跡に酒井氏が入り、断続を経て天和元年（1681）以降明治4年（1871）廃藩置県まで二万石の伊勢崎藩が存続するとともに、赤堀、東地区と同様に、旗本領、幕府領や他藩領が混在した。

伊勢崎町や境町には近世の初頭から六斎市が立ち、物資が集散し、この地域は一つの経済圏を形成した。中期以降は養蚕が盛んになり、繭、糸、地場の織物である太織が取引された。このような経済活動を背景に文化活動が盛んになった。安永期に藩校「学習堂」が設立されると、民間にも郷学設立の動きが起き、享和元年（1801）有志による私塾として始まった境伊与久の五惇堂を初めとして文化期には8校の郷学が設立された。創設にかかわったのは儒学を学んだ人たちであった。明治4年（1871）廃藩置県前後には、第二次興隆期を迎え、14校が設立され、伊勢崎藩領内の郷学は合わせて25校となった。

安政6年（1859）横浜が開港されると、当時の主要な輸出品となった生糸や蚕種を生産していたこの地方は挙に潤い、島村、長沼村では蚕種業が盛んになり、直接横浜に売り込みに行く人たちも現れた。幕末期には元機屋が現れ、賃機により農家を潤した。明治期に入ると品質維持、改良のため太織会社が設立され、伊勢崎織物業組合へと発展した。組合は技術伝習のため明治19年（1886）「染織講習所」を設立、明治29年には伊勢崎染織学校へと発展し、明治33年県へ移管され、この地域の中等教育の走りとなった。この頃の基幹産業であった「伊勢崎銘仙」は、明治末期、昭和初期及び戦後復興期に黄金時代を迎えるが、生活様式の変遷により、昭和50年伝統工芸品として国指定をうけ新たな一歩を踏み出した。近年は利便性に優れた幹線道路網を活かして、製造業や大規模商業施設の進出から、商工業が盛んな産業地域になってきている。

また、近郊農業を盛んで農産物の生産も多い地域である。

平成17年1月伊勢崎市、赤堀町、東村、境町の4市町村が合併し、人口20万人の新伊勢崎市が誕生した。

平成19年4月には、特例市（地方自治法改正により、現在は「施行時特例市」）となり、現在もさらなる発展を続けている。

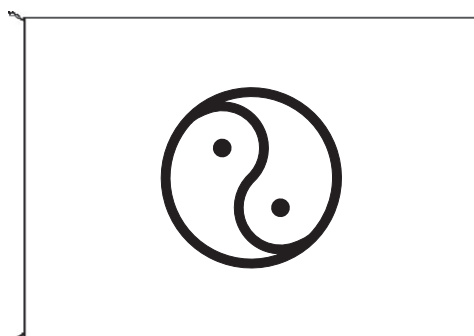
## 市章



伊勢崎市の徽章を左図の如く定め諸般に用いるものとする。この地域にゆかりの深いまがたまを用いて、いせさきの「い」の字をデザインしたもので、市民の融和と本市の発展を表しています。

(平成 17 年 2 月 28 日告示)

## 市旗



縦の長さは、横の長さの 3 分の 2 とする。

市章の直径は、縦の長さの 5 分の 3 とする。

市章の中心は、旗面の中心とする。

市章上・下のあきは等しくする。

2 個のまがたまの孔の中心を通る直線は、市章の中心を通る水平線より左側仰角 45 度とする。

旗の地色は白色とする。

市章の地色は赤色とし、まがたまは白抜きとする。

## 市の木

松



### 【市の木の選定理由】

検討委員会では、市の木は、古くからこの地域に広く自生、あるいは植栽されている樹木が最適であろうという考え方により、アカマツ・クロマツを含む総称としての「マツ」が選定されました。

マツは、現在の市全域に生育しており、庭木や盆栽としても広く愛されてきました。市内には、神社・仏閣、街道筋などに多く見られ、県内有数の名木もあります。また、公園や公共施設などにも数多く植栽されています。(平成 18 年 12 月 20 日告示)

## 市の花

ツツジ



サルビア



キク



スイセン



### 【市の花の選定理由】

市の花は、一つに限定せず長い期間にわたり楽しめるよう複数あってもいいのではないかという考え方に基づき検討されました。その上で、旧市町村の花もそれぞれの経過を経て地区の人々に親しまれている状況

も考慮されました。

そのような中、開花時期が注目されました。ツツジは春、サルビアは夏から秋、キクは秋、スイセンは冬から春にかけて咲き、四つの花を合わせれば四季折々に花を楽しむことができます。

そこで、四つの市町村が合併して一つの新しい伊勢崎市を創り上げる象徴として、一年中を花で飾れる「四季の花」という思いを込め、四つの花が選定されました。(平成18年12月20日告示)

## 都市宣言

### ●人権尊重都市宣言

平成18年12月20日制定

すべての人々の人権を平等に保障することは、だれもが幸せに暮らせる社会をつくる基礎になります。

わたくしたち伊勢崎市民は、お互いの理解と協力と信頼により、一人ひとりの健康で幸福な生活を送る権利を守り、みんなで明るく住みよいまちを築くため、ここに「人権尊重都市」を宣言します。

### ●スポーツ都市宣言

平成18年12月20日制定

スポーツに親しみ、スポーツをとおして健康な心と体をつくり、友情とふれあいの輪を広げることは、明るく健全な社会をつくる大きな力になります。

わたくしたち伊勢崎市民は、一人ひとりが生涯を通じて健康で生きがいのある充実した生活を営み、笑顔と活力あふれるまちを築くため、ここに「スポーツ都市」を宣言します。

### ●安心安全都市宣言

平成18年12月20日制定

安心で安全な暮らしを脅かす災害や交通事故、犯罪などをなくすことは、すべての市民の願いです。

わたくしたち伊勢崎市民は、一人ひとりが自分たちのふるさとは自分たちで守るという共通の考えを持ち、みんなで手を取り合い、快適で心安らかに暮らせるまちを築くため、ここに「安心安全都市」を宣言します。

### ●核兵器廃絶平和都市宣言

平成18年12月20日制定

平和と安全を脅かす核兵器を地球上からなくすことは、人類共通の願いです。

わたくしたち伊勢崎市民は、平和を愛する世界各国の人々とともに永久の平和が実現することを強く望み、核兵器のない世界を築くため、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。

## 人口・世帯 (平成30年8月1日現在)

人口	213,357	人
男	107,066	人
女	106,291	人
世帯数	89,232	世帯

## 位置・面積

北緯	36° 18′
東経	139° 11′
海拔	58.1 m
面積	139.33 km <sup>2</sup>





# 伊勢崎市教育振興施策の大綱

夢あるところに笑顔の輪 のびのび伸ばそう個性の翼

平成 28 年 3 月

伊 勢 崎 市

# 1 大綱策定の趣旨

平成 26 年 6 月 20 日に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が公布され、平成 27 年 4 月 1 日より施行されました。これにより、地方公共団体の長は、教育委員会との連携を強化し、教育課題の解決をはじめ教育行政を積極的に推進するため、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を策定することになりました。

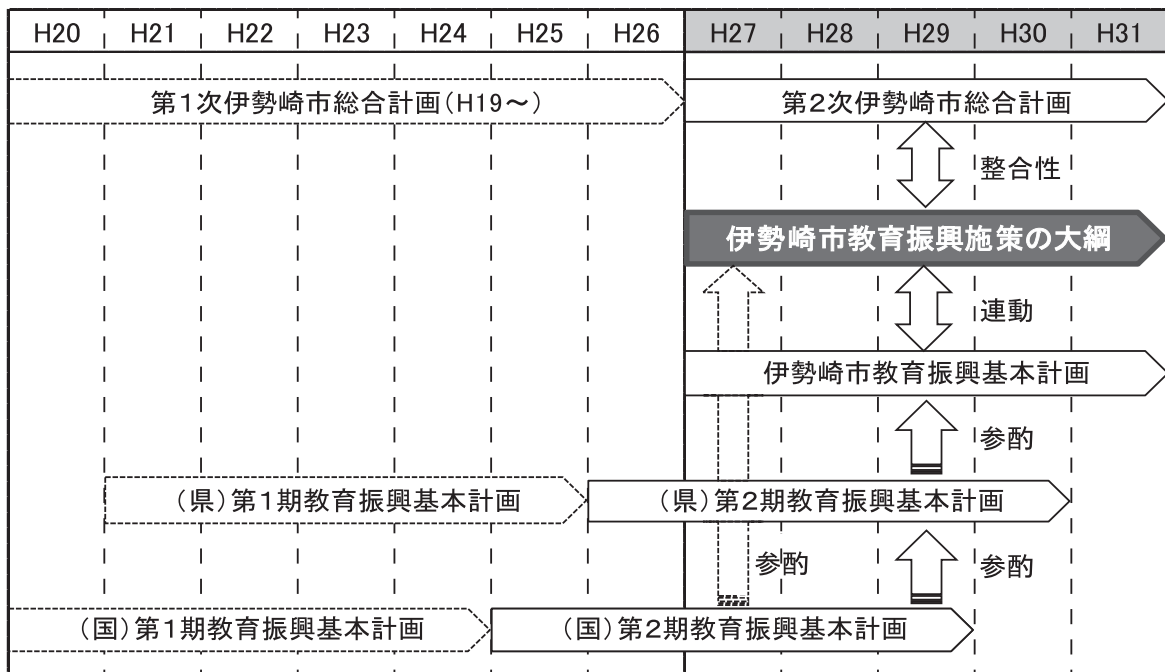
本市においても、改正法の趣旨を踏まえ、地域の実情に応じて教育、学術及び文化の振興についての目標や施策の根本となる方針として伊勢崎市教育振興施策の大綱（以下「大綱」という。）を策定するものです。

# 2 大綱の期間と他の計画との関係

大綱が対象とする期間は、平成 27 年度（2015 年度）から平成 31 年度（2019 年度）までの 5 年間とします。

また、大綱は、第 2 次伊勢崎市総合計画に盛り込まれた教育分野計画との整合性を図りつつ、教育基本法第 17 条の規定に基づき、国及び県の教育振興基本計画を参酌して策定するとともに伊勢崎市教育振興基本計画と連動する形で策定しています。

なお、大綱の改正は、国及び県の動向や社会情勢の変化等を踏まえ、適宜改正するものとします。



### 3 教育の基本理念と基本方針

子どもはやがて大人になります。私たちは成長する過程で、多くの人と出会い、多くの経験をし、多くのことを学びます。その中で誰もが周りの人との違いに悩んだり、挫折感を味わうこともあります。しかし、ある時それが個性であることに気がきます。

いつの時代でも大切なことは、子どもや大人が個性を伸ばすべく学び、生き抜くことです。誰もが学びを通じて夢を実現し笑顔になり、生きがいを通じて周りの人に学びを還元し、笑顔にします。

本市は、教育の基本理念として

#### **夢あるところに笑顔の輪 のびのび伸ばそう個性の翼**

を掲げ、子どもから大人までみんなが笑顔になれるよう、夢や希望、生きがいの実現に向けて『個性を見出し伸ばせる学びの人づくりのまち』を目指します。

この基本理念を実現させるため、3つの基本方針を掲げ、学校教育、生涯学習及び歴史・文化に関する行政施策を展開します。

##### 【学校教育分野】

#### 1 夢に向かって学び自ら未来を切り拓く

たくましく心豊かな子どもを育てるまち

##### 【生涯学習分野】

#### 2 生涯にわたり生きがいを求めて主体的に学び

より豊かに生き生きと暮らせるまち

##### 【歴史・文化分野】

#### 3 郷土の歴史や文化を学び次代に伝承する

ふるさとへの愛着と誇りに満ちた人のまち

## 4 基本方針に基づく重点的な取組

3つの基本方針に掲げたまちづくりを実現させるため、学校教育、生涯学習及び歴史・文化の分野において、それぞれの**重点事項**に取り組みます。

### (1) 夢に向かって学び自ら未来を切り拓く たくましく心豊かな子どもを育てるまち 【学校教育分野】

#### 重点事項

- ① 交流と体験、小学校との連携を重視した就学前教育の充実
- ② 職業観の養成につながる教育、グローバルな視点での教育の展開
- ③ 豊かな心の育成、地域の教育力の向上を目指した子どもの徳育の充実
- ④ 不登校やいじめ問題などへの対応、相談体制の充実
- ⑤ 安心・安全を大切にした健康教育の充実
- ⑥ 快適な学習空間の創造、教職員の資質向上を目指した教育環境の整備・充実

### (2) 生涯にわたり生きがいを求めて主体的に学び より豊かに生き生きと暮らせるまち 【生涯学習分野】

#### 重点事項

- ① 自主的に学ぶことに基づく地域社会づくりの推進
- ② 他者と主体的に関わることに視点を置いた生涯学習の充実
- ③ 学びの成果を地域に還元するための学習環境の整備
- ④ 本に親しみ豊かな心を育める、読書の街づくりの推進
- ⑤ 健康で生きがいのある生活を送れるよう一市民スポーツの推進

### (3) 郷土の歴史や文化を学び次代に伝承する ふるさとへの愛着と誇りに満ちた人のまち 【歴史・文化分野】

#### 重点事項

- ① 次代に伝承するための文化財の調査と保存
- ② かけがえのない郷土の歴史・文化資産の活用
- ③ あらゆる世代の人々による芸術・文化活動の充実
- ④ 地域の歴史や文化、文化財を学ぶことを通した郷土愛の育成

# I 教育行財政



教育委員会会議の様子

# 教育委員会

## 1 教育委員 (平成30年4月1日現在)



(後列左から) 津久井委員、宮川教育長職務代理者、稲庭委員  
(前列左から) 高橋委員、徳江教育長

役職名	氏名	住所
教育長	徳江基行	伊勢崎市東上之宮町
教育長職務代理者	宮川亮子	伊勢崎市喜多町
委員	高橋慶一	伊勢崎市東小保方町
委員	津久井喜代己	伊勢崎市境栄
委員	稲庭美智子	伊勢崎市堀下町

## 2 歴代の教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日
上山 明	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
上林 雄	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
御任 佳子	平成 17 年 1 月 1 日	平成 19 年 3 月 23 日
茂木 初實	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
大塚 富男	平成 17 年 3 月 24 日	平成 18 年 3 月 23 日
赤石 勝彦	平成 17 年 3 月 24 日	平成 19 年 10 月 31 日
須田 篤子	平成 17 年 3 月 24 日	平成 21 年 3 月 23 日
大沢 啓一	平成 18 年 3 月 24 日	平成 22 年 3 月 23 日
小久保 剛利	平成 19 年 3 月 24 日	平成 23 年 3 月 23 日
大山 隆	平成 19 年 12 月 19 日	平成 24 年 3 月 23 日
齋藤 美智子	平成 21 年 3 月 24 日	平成 25 年 3 月 23 日
茂木 克	平成 22 年 3 月 24 日	平成 26 年 3 月 23 日
大山 祐理子	平成 23 年 3 月 24 日	平成 27 年 3 月 23 日
多部田 敬三	平成 24 年 3 月 24 日	平成 28 年 3 月 23 日
萩原 裕子	平成 25 年 3 月 24 日	平成 29 年 3 月 23 日
大矢 光利	平成 26 年 3 月 24 日	平成 30 年 3 月 23 日
宮川 亮子	平成 27 年 3 月 24 日	
高橋 慶一	平成 28 年 3 月 24 日	
津久井 喜代己	平成 29 年 3 月 24 日	
稲庭 美智子	平成 30 年 3 月 24 日	

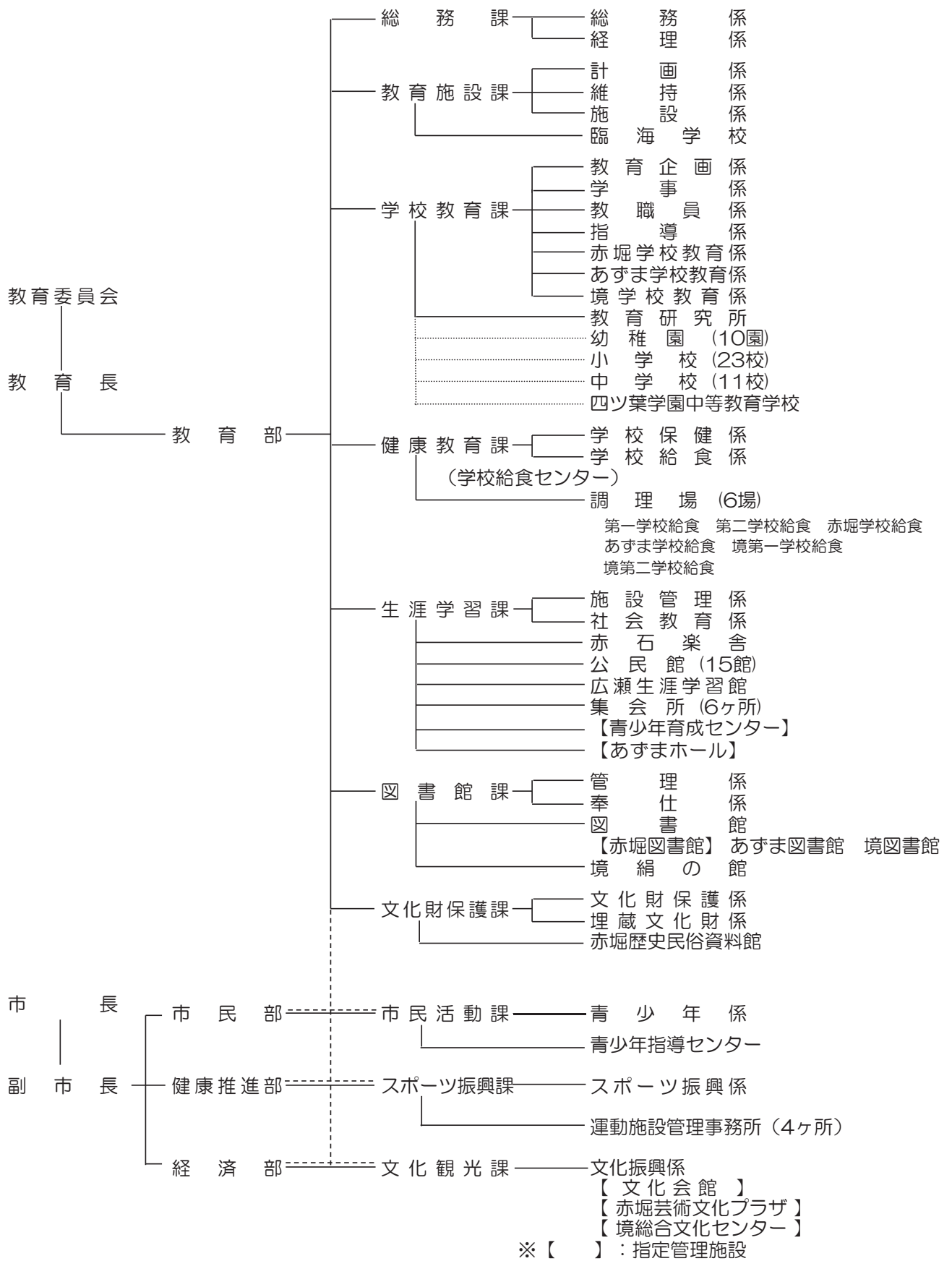
## 3 歴代の教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
田島 國明	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
山口 晃	平成 17 年 4 月 1 日	平成 25 年 3 月 31 日
徳江 基行	平成 25 年 4 月 1 日	



## 4 付属機関の委員等

名 称	人 員	構 成
奨 学 生 選 考 委 員 会 委 員	11 人以内	学識経験者、その他教育員会が適当と認めた者
教 育 支 援 委 員 会 委 員	59 人以内	小中学校長又は小中学校教頭、特別支援学級担当教諭、通級指導教室担当教諭、公立幼稚園長、県立伊勢崎特別支援学校長、県立伊勢崎特別支援学校教諭、専門医師、児童相談所職員、心身障害児（者）担当市職員、公立保育所保育士、保健師、その他教育長が必要と認めた者
いじめ問題対策連絡協議会委員	13 人以内	小学校長会長、中学校長会長、教育委員、教育部長 県中央児童相談所長、前橋地方法務局伊勢崎支局長 伊勢崎警察署長、民生委員児童委員連絡協議会長 青少年育成推進員連絡協議会長、子ども会育成会連絡協議会長、PTA連合会長、区長会長、市民部長
学校結核対策委員会委員	8 人以内	学校医、結核に関し専門知識を有する者、関係行政機関の職員、学校関係者
学校給食運営委員会委員	15 人以内	教育委員、幼稚園・小学校及び中学校の代表、幼稚園・小学校及び中学校のPTAの代表、伊勢崎保健所長、学校医及び学校薬剤師の代表、学識経験者
生涯学習推進協議会委員	40 人以内	関係行政職員、学識経験者
社 会 教 育 委 員	20 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
公 民 館 運 営 審 議 会 委 員	30 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
人 権 教 育 推 進 委 員 会 委 員	33 人以内	学校教育関係者、市職員、PTA会長、その他教育長が必要と認めた者
集会所運営委員会委員 今井町集会所運営委員会委員 道伝集会所運営委員会委員 宮子町集会所運営委員会委員 柴町集会所運営委員会委員 連取町集会所運営委員会委員 三室町集会所運営委員会委員	各集会所に 20 人以内	各地域から推薦された者
図 書 館 協 議 会 委 員	10 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者
文 化 財 調 査 委 員	7 人以内	学識経験者
赤堀歴史民俗資料館運営協議会委員	8 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
青 少 年 問 題 協 議 会 委 員	24 人以内	市議会議員、関係行政機関の職員、学識経験者
青少年指導センター運営協議会委員	16 人以内	関係行政機関の代表、青少年保護育成に関係する団体から推薦された者
ス ポ ー ツ 推 進 審 議 会 委 員	15 人以内	スポーツに関する学識経験のある者
ス ポ ー ツ 推 進 委 員	45 人以内	各地区から推薦された者



# 教育のあゆみ

## 〈学制発布から明治〉

西暦	年代	主 な 事 項
1872	明治 5. 8. 3	学制を制定し学区制を発布 (全国を8大学区に分け、1大学区に32中学区、1中学区に210小学区を設置) 群馬県では小学校教授細則を告示 (下等小学校は6歳から9歳まで4か年8級、上等小学校は10歳から13歳まで4か年8級)
	8.	群馬県、旧藩校及び郷学、寺子屋等に廃学の指令
1873	6. 6. 9	赤石学校、伊勢崎町本光寺を仮校舎として開校 明治8年2月までに伊勢崎地区17校、赤堀地区2校、東地区1校、境地区では10校が開校。当時、設立された学校の多くは、寺院を仮校舎とするものが多い
1874	7. 1.	島村に新聞を回覧し、新しい知識を得ようとする「新聞夜学会社」の結成
1875	8. 8. 4	小保方学校分校国定支校、養寿寺に開校
1876	9. 6. 8	田部井学校、西福寺を仮校舎として開校
	6. 9	国定学校独立(明治11年3月19日 校舎竣工)
1877	10. 2.	群馬県令楫取素彦、赤石学校を視察
1878	11. 7. 17	赤堀今井小学校校舎を字南原に竣工
1879	12. 5. 29	小保方学校、字陣屋前に校舎竣工
	6.	播智須学校、八寸村桂林寺を仮校舎として小保方学校から分離独立
	9.	学制を廃止し教育令を制定、小学校教育を義務化
1880	13. 2.	旧伊勢崎藩藩校教授新井雀里、伊勢崎町に漢学塾「南淵塾」を開設
	12.	教育令を改正
1882	15. 11. 5	伊勢崎町赤石学校校舎竣工
1883	16. 7.	播智須学校校舎を字堤下に竣工
1884	17. 6.	小此木村の天田弁蔵、漢学塾「愛性義塾」を開設
	11.	国定学校、田部井学校に併合される
1885	18.	田部井小学校、字東宿に新校舎竣工
	3.	小学校の統廃合が行われ郡名と学区番号を冠した校名となる
	8.	佐位那波教育会設立
	8.	石川泰三が伊勢崎町に洋学塾「回天義塾」を設立
1886	19.	伊勢崎織物業組合が「染織講習所」を設立
	3.	帝国大学令の発布
	4. 10	小学校令・中学校令・師範学校令の公布 小学校を尋常・高等に分割と尋常科4年の義務制 尋常小学校を伊勢崎地区7校、赤堀地区2校、東地区2校、境地区7校に設置 高等小学校を伊勢崎町に設置
	8.	木島村の小暮卓利、普通学科の「三余義塾」を設立
1887	20.	佐位那波郡高等小学校分教場が国定村、剛志村、玉村町に設置
	1.	島村の田島善平宅に「基督教美以教会」講義所の設立
1888	21. 1.	平塚青年会発足
	5.	郡長より小学校生徒服をなるべく洋服あるいは筒袖に改正するように内諭あり
1889	22. 1.	境町青年進成会、島村青年会が発足
	4.	名和青年会統合

			町村制施行
	4.	1	伊勢崎町、殖蓮村、茂呂村、三郷村、宮郷村、名和村、豊受村、赤堀村、東村、境町、采女村、島村、剛志村が成立 各村村内小学校を統合して村名を冠した尋常小学校と改称
1890	23.	5. 12	伊勢崎尋常小学校に予修科付設（幼稚園のはじまり）
			赤堀村、今井、西久保両校を統合して赤堀尋常小学校と改称 佐位那波郡高等小学校の廃止
1891	24.	9. 1	伊勢崎町外5か村立伊勢崎組合高等小学校（殖蓮村、茂呂村、三郷村、宮郷村、名和村、10月3日 開校式）を伊勢崎町に、毛陽1町4か村組合高等小学校（境町、豊受村、剛志村、采女村、島村）を剛志村に、赤堀村、東村2か村組合立静修高等小学校を東村に設置
1892	25.	4.	赤堀村、東村組合立静修高等小学校校舎が国定に新築
1893	26.	4.	赤堀今井、西久保両尋常小学校独立
1896	29.	1. 8	伊勢崎盛年会設立
	4.		赤堀村西久保校を赤央尋常小学校と改称（9月 新築）
	4.	1	佐位・那波両郡が合併して佐波郡と改称
1897	30.	11.	三郷尋常小学校校舎竣工
1900	33.	3.	組合立伊勢崎染織学校が県に移管
1901	34.	3.	毛陽5か町村組合高等小学校を解散し、各町村尋常小学校に高等科を併せ、尋常高等小学校と改称
	11.	15	伊勢崎町に佐波学術研究会発足（明治35年 佐波学館と改称、昭和7年 閉館） 伊勢崎町外5か村組合高等小学校を解散し、伊勢崎町は修養年限4年の高等小学校を設置
1902	35.	3. 31	各村は尋常小学校に高等科を併設し、尋常高等小学校と改称 東村、赤堀村の学校組合も解散し、静修高等小学校が東高等小学校となり、赤堀村は赤堀尋常小学校敷地に高等小学校を建設
1903	36.	4. 10	伊勢崎高等小学校に女子補習科を設置
1905	38.	1. 14	茂呂村青年夜学会開設
	2.		県立伊勢崎染織学校が桐生織物学校に統合
	3.	31	県立伊勢崎染織学校廃校
	4.		名和尋常小学校、尺取虫、螟虫の駆除を開始
1906	39.	4. 1	殖蓮実業補習学校設立。以後各地区に補習学校の開設
	4.	15	伊勢崎町、伊勢崎女子実業補習学校の設置
	5.	31	名和尋常小学校、10日間の農繁休暇を開始
	6.	1	境町女子実業補習学校開校（後の境高等学校）。
1907	40.	3.	小学校令改正、義務教育年限を延長して小学校6年制とし、高等科を2年に改め、明治41年度から実施
	4.	1	伊勢崎尋常小学校と伊勢崎高等小学校を合併し、伊勢崎尋常高等小学校とし男子を収容
	11.	28	女子を収容する伊勢崎女子尋常高等小学校を設置 佐波教育会伊勢崎部会創設
1908	41.	3.	県、土地の事情により農繁休暇を認める 赤堀村3小学校を統合し赤堀尋常高等小学校と改称
			平塚村に私立「東寧実業補習学校」設立
1909	42.		小保方尋常小学校を東高等小学校に併置
1910	43.		小保方校、田部井校をそれぞれ南分教場、北分教場として東尋常高等小学校が発足
	1.		茂呂村青年会創設、以後大正にかけて各町村に創設
	4.	1	伊勢崎町に県立工業学校開校

		この頃から遠足、修学旅行が定例化
1911	44. 1. 10	三郷村青年夜学会発足
1912	45. 4.	伊勢崎町学齢児童保護会設立

### 〈大正から教育委員会発足まで〉

西暦	年代	主 な 事 項
1913	大正 2.	赤堀村赤央校の廃校
1914	3. 4. 1	伊勢崎町、男女別学の尋常高等小学校を合併して伊勢崎尋常高等小学校と改称
1915	4. 4. 1	伊勢崎町立実科高等女学校を伊勢崎尋常高等小学校に併設（大正12年4月1日 伊勢崎高等女学校と改称、同13年4月 県に移管、6月 伊勢崎町宗高に新校舎落成）
	11.	赤堀女子実業補習学校を赤堀尋常小学校に併設 同5年男子部が加わり、赤堀実業補習学校と改称
1916	5. 8.	宮郷村に処女会（女子青年団）が創設、以後大正期に各町村に創設
1917	6. 4. 13	伊勢崎町立商工補習学校開校、大正8年4月 町立商業学校に改組（大正12年 県に移管）
1920	9. 4. 26	佐波郡立農学校開校（大正12年 県に移管、佐波農業学校と改称）
1921	10. 4. 11	伊勢崎図書館が認可
1923	12. 8. 1	伊勢崎教育会、学齢児童保護会、小学校の虚弱児童を対象に伊勢崎公園（華蔵寺公園）に林間学校を開設（21日間）
1925	14.	中島徳蔵氏が東洋大学学長となる
1926	15. 6. 27	伊勢崎尋常高等小学校第1号校舎焼失
	10. 1	伊勢崎町幼児保育所を開設（昭和2年 伊勢崎第二幼稚園と改称、同9年 廃止）
1927	昭和 2. 4. 1	伊勢崎第一幼稚園設置（小学校附属幼稚園独立）
1930	5. 4. 1	伊勢崎町、茂呂村に伊勢崎南尋常高等小学校を開校
1931	6. 5. 30	伊勢崎競技場完成
1934	9.	赤堀村、今井分教場廃止
	11.	境町立境尋常高等小学校プール竣工
1935	10.	東村、南分教場を廃止
1937	12. 4.	三郷尋常高等小学校、二宮金次郎銅像の除幕式実施
	5. 3	伊勢崎市日吉町に伊勢崎幼児園開園（方面事業助成会経営）
1938	13. 7. 23	伊勢崎水泳場竣工（板垣精平寄付）
1939	14.	青年学校義務制
1940	15. 9. 30	伊勢崎市制施行（第1次）
1941	16.	赤堀村北分教場を廃止
	4. 1	国民学校発足（昭和16年3月1日 国民学校令公布）
	4. 17	私立夜間中学校開校（教場図書館、校主板垣精平）
	10. 21	境町立境尋常高等小学校学校給食を開始（月額1円）
1942	17. 9. 1	伊勢崎市北青年学校を北国民学校に付設
1943	18. 3. 31	伊勢崎市北国民学校に高等科を設置
	8.	青年学校通年昼間制の実施
	11. 1	伊勢崎市八坂町に南幼児園開園（方面事業助成会経営）

1944	19. 4. 1	私立夜間中学校を伊勢崎市に移管、市立伊勢崎中学校と改称
1945	20. 8. 15	北国民学校、宮郷国民学校、伊勢崎高等女学校、伊勢崎図書館空襲により焼失
1947	22. 1.	伊勢崎市学校給食開始
	4. 1	小学校6年、中学校3年の9年制義務教育
	4. 29	新制中学校始業式 小学校等の教室で授業開始 昭和23年から同25年にかけて新校舎が相次いで竣工
1949	24.	5月 名和村、6月 豊受村、12月 東村、学校給食開始
1950	25.	6月 宮郷村学校給食開始 境島村教会、めぐみ保育園を開設
	8. 29	太刀 銘 備前国長船住守家造が国指定重要文化財に指定
	9.	赤堀村、学校給食を開始

### 〈教育委員会発足から〉

西暦	年代	主 な 事 項
1952	昭和27. 10. 5	市町村の教育委員選挙の実施
	11. 1	市町村に教育委員会が発足
1954	29. 3. 20	脇差 銘 備洲長船元重が国指定重要文化財に指定
	4. 1	伊勢崎市立女子高等学校が開校（4月19日 伊勢崎市立北小学校において授業開始、6月 栄町の佐波福祉事務所跡へ移転）
	11. 18	殖蓮中学校第2校舎焼失
	11. 22	茂呂幼稚園園舎新築工事完成
1955	30. 1. 10	佐波郡三郷村と合併、3月 名和村、豊受村、宮郷村を合併
	3. 15	宮郷公民館開館
	3. 19	名和公民館開館
	3. 22	豊受公民館開館
	4. 1	三郷幼稚園開園（三郷小学校校舎使用）
	4. 8	市教育研究所発足
	12. 17	殖蓮中学校校舎復旧新築工事完成
1956	31. 1. 10	三郷公民館開館
	4. 1	宮郷幼稚園開園
	10. 1	新教育委員会法全面実施に伴い、各市町村に任命制教育委員5人就任
1957	32. 4. 1	殖蓮公民館及び茂呂公民館開館
1958	33. 2. 8	埴輪男子立像（2軀）、埴輪男子倚像、埴輪武装男子立像が国指定重要文化財に指定
	2. 27	伊勢崎市立女子高等学校円型校舎が昭和町に完成
	3. 31	宮郷幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	本県最初の知的障害児のための養護学校（名称は伊勢崎市立伊勢崎中学校）設立（現在の第一幼稚園に位置）
	8. 5	境町立東小学校開校
1960	35. 4. 11	伊勢崎市立北小学校校舎火災
1961	36. 3. 3	伊勢崎市立北小学校復旧校舎新築工事完成
1962	37. 3. 15	茂呂公民館新築工事完成
	4. 1	東村立東小学校に特殊学級設置

1963	38.	3. 2	殖蓮公民館落成式
		4. 15	東村公民館竣工（移転）
		8. 1	境町立図書館開館
	10.		東村民プール完成（昭和39年6月13日 共用開始）
1964	39.	4. 1	境町立境中・島中を統合し、境町立南中学校に校名変更 境町立采女中を北中、境町立剛志中を西中に校名変更 東村立東中学校に特殊学級設置
	40.	4. 1	伊勢崎南・茂呂中学校を統合して、新しく伊勢崎市立南中学校を設置
1965		7. 7	伊勢崎市教育経営研究会発足
	41.	3. 19	伊勢崎市宮野球場建設工事完成（3月23日 こけらおとしに巨人－大洋戦開催）
1966		8. 25	境町立南中学校校舎完成
		9. 25	台風26号襲来、殖蓮小学校講堂倒壊
	42.	3. 18	境町東公民館完成
1967		4. 1	伊勢崎市立南中学校を伊勢崎市立第一中学校と改称 伊勢崎市立名和中学校と豊受中学校を統合して伊勢崎市立第二中学校と改称
		5. 22	伊勢崎市立殖蓮小学校体育館復旧新築工事完成
		5. 31	伊勢崎市立第一中学校校舎新築工事完成
	43.	2. 1	養護学校を旧茂呂中学校跡へ移転
		4. 27	伊勢崎市宮陸上競技場完成
1968		11. 11	青少年補導センター開所式（市福祉事務所に設置）
	44.	1. 23	三郷公民館新築工事完成
		3. 31	伊勢崎市立第一幼稚園園舎新築工事完成
		4. 1	東村立東幼稚園開園（東小学校校舎一部使用）
1969		8. 10	伊勢崎市立第二中学校新築工事完成
		9. 1	名和小学校が旧名和中学校校舎へ移転
		10. 12	第1回市民総合体育大会を開催（以後毎年10月10日に開催）
	45.	2. 15	三郷幼稚園園舎新築工事完成
		4. 1	境町立島小学校分校が境町立境小学校分校となり4年生以上は境小学校に通学
1970		4. 24	境町中央公民館完成
		6. 20	伊勢崎市立北幼稚園廃園
		7. 1	伊勢崎市中央公民館開館
		12. 1	伊勢崎市学校給食センター完成により、共同調理場方式になる
	46.	2. 22	伊勢崎市立南幼稚園園舎新築工事完成
		3.	伊勢崎市庭球場完成
		4. 1	養護学校に小学部が設置 伊勢崎市立北・三郷中学校を統合し伊勢崎市立第三中学校とする 豊受幼稚園開園
1971		6.	伊勢崎市民プール完成
		12. 10	豊受幼稚園園舎新築工事完成
	47.	3. 31	官郷公民館新築工事完成 境町立境小学校分校廃校
		3.	伊勢崎市弓道場完成
1972		4. 1	名和幼稚園開園
		4.	利根川河川境運動場設置

	7. 3	名和小学校校舎焼失
	10. 1	学制発布100年及び市教育委員会発足20周年を記念して「いせさき教育のあゆみ」を発刊
	12. 22	移動図書館「わかくさ」巡回開始
1973	48. 1. 31	名和幼稚園園舎新築工事完成
	1.	赤堀剣道場完成
	3.	東村立東幼稚園園舎竣工（現在地へ移転）
	3. 20	名和小学校復旧校舎新築工事完成
	3. 25	豊受公民館新築工事完成 伊勢崎市今井町集会所新築工事完成
	6. 15	新潟県寺泊町に伊勢崎佐波臨海学校開校
	7. 20	伊勢崎市立第三中学校新築工事完成
1974	49. 7. 20	殖蓮小学校校舎新築工事完成
	10. 28	三郷小学校校舎新築工事完成
1975	50. 1. 1	伊勢崎市立北第二小学校が旧伊勢崎市立北中学校跡に開校
	3. 10	道伝集会所新築工事完成
	4.	赤堀村立赤堀幼稚園開園（小学校旧校舎使用）
	10. 23	東村文化協会設立
	11. 1	赤堀村文化協会設立
	11.	境上武公園野球場・テニス場完成
1976	51. 1. 1	伊勢崎市立北第二幼稚園開園
	3. 20	伊勢崎市立北第二幼稚園園舎新築工事完成
	7.	赤堀中央運動場完成（野球場・テニスコート）
	12. 31	豊受小学校校舎新築工事完成
1977	52. 3. 1	伊勢崎市立図書館新館開館
	3.	赤堀村立幼稚園新園舎開園
	3. 20	宮子町集会所新築工事完成
	3. 31	柴町集会所新築工事完成
	4.	境いよく野球場完成
	4. 1	伊勢崎市立第一中学校に特殊学級を設置（以後、他の中学校に逐次設置） 境町社会体育館開館（2月完成）
1978	53. 4. 1	殖蓮第二幼稚園開園（殖蓮幼稚園に併設）
	6.	境いよくテニス場完成
	7. 31	殖蓮第二小学校校舎新築工事完成
	8. 2	殖蓮第二幼稚園園舎新築工事完成
	11.	赤堀村立赤堀中学校新校舎落成式
1979	54. 1. 1	広瀬小学校開校（南小学校に併設）
	3. 25	連取町集会所新築工事完成
	4. 1	広瀬幼稚園開園（南幼稚園に併設）
	4. 10	学校給食センター米飯施設完成により米飯給食開始
	6.	赤堀村立赤堀中学校室内運動場新設
	8. 1	東村総合運動場及び東村社会体育館竣工
	11. 10	伊勢崎市民体育館落成 スポーツ都市宣言を行う



	11. 30	広瀬小学校校舎新築工事完成
1980	55. 3. 20	東村立東小学校校舎竣工（現在地へ移転）
	3. 25	名和公民館新築工事完成
	3. 30	広瀬幼稚園新築工事完成
	5.	赤堀体育館完成
	10. 9	宮郷中学校校舎新築工事完成
1981	56. 2. 25	東給食センター竣工
	3. 31	伊勢崎公民館廃止（7月 解体）
	4. 1	東村立南小学校開校（旧東小学校校舎使用） 文化会館開館
	4.	赤堀村学校給食調理場新築
	8. 3	三郷小学校校舎新築工事完成
	10. 30	宮郷小学校校舎新築工事完成
	12. 21	殖蓮中学校校舎新築工事完成
1982	57. 3. 15	伊勢崎市ソフトボール場・第二グラウンド完成
	3. 23	伊勢崎養護学校校舎新築工事完成
	3.	三室西公園運動場完成（多目的広場・テニスコート）
	4. 1	坂東小学校開校
	4. 1	坂東幼稚園開園
	7. 1	境町流水プール開場（6月完成）
	10.	赤堀香林運動公園完成
1983	58. 2. 11	東村立南小学校校舎竣工（旧東小学校から移転）
	3. 16	坂東幼稚園新築工事完成
	3. 25	殖蓮公民館新築工事完成
	3.	第二市民体育館 県立伊勢崎商業高等学校から伊勢崎市へ移管
	5. 4	群馬県立伊勢崎青少年育成センター開所、県から管理運営を受託
	7. 27	伊勢崎市教育研究所完成し、伊勢崎市立第一幼稚園から移転 県下初の独立建物となる
	8. 26	名和小学校校舎新築工事完成
	9. 28	茂呂小学校校舎新築工事完成
	10. 15	第38回国民体育大会（あかぎ国体）秋季大会（ソフトボール、バレーボールの競技）の開催
	10. 27	女堀が国指定史跡に指定
1984	59. 4. 1	伊勢崎市立第四中学校開校（豊受小と坂東小の通学区域）
	8. 25	日・台中学校バレーボール親善大会が伊勢崎市民体育館で開催され、全台湾と市立第三中学校が対戦
	10. 15	伊勢崎市立第四中学校校舎新築工事完成
1985	60. 2. 28	「伊勢崎市の文化財」発刊
	3.	伊勢崎市庭球場改修工事完成
	4. 1	赤堀歴史民俗資料館開館
	9. 7	第40回国民体育大会関東地区大会（ソフトボール、バレーボールの競技）の開催
1986	61. 2. 5	伊勢崎市文化協会設立
	4.	赤堀コミュニティひろば完成

1987	6. 7	境町立図書館現在地に移転 絹の館開館
	10.	赤堀村町制施行
	62. 3. 10	東村立北小学校校舎竣工
	3. 25	茂呂公民館新築工事完成
	4. 1	東村立北小学校開校
1988	3. 10	伊勢崎市補助競技場完成
	8. 18	伊勢崎市中学生派遣事業開始（米国ミズーリ州スプリングフィールド市）
	63. 1. 11	十三宝塚遺跡が国指定史跡に指定
	2. 24	殖蓮幼稚園新築工事完成
	3. 27	東村中央公民館完成 あずま総合運動公園完成
	8. 18	伊勢崎市立第二中学校校舎新築工事完成
	11. 11	生涯学習モデル市町村事業について文部省から指定（3年間）

### 〈平成から〉

西暦	年代	主 な 事 項
1989	平成元. 2. 8	生涯学習推進会議発足
	3. 23	境町剛志公民館新築工事完成
	3.	あずま総合運動公園テニスコート完成
	3. 31	伊勢崎市立北第二幼稚園廃園
	4. 1	境町剛志公民館開館
1990	6. 7	境町総合運動場開場（5月完成）
	2. 3.	境矢ノ原公園運動場完成
	4. 1	境町武道館開館（3月完成）
	8.	赤堀町中学生派遣事業開始（米国サウスダコタ州ラピッドシティ市）
	8. 24	伊勢崎市相撲場完成（華蔵公園運動施設内）
	9. 19	赤堀芸術文化プラザ開館
1991	3. 10	伊勢崎市弓道場建替完成
	3. 3. 29	財団法人伊勢崎市体育協会設立
	4.	赤堀町立南小学校開校
	5. 9	東村立東中学校と米国ギャビン中学校生徒派遣事業開始によるギャビン中学校生徒の来村
1992	11. 6	伊勢崎市立北第二小学校校舎新築工事完成
	4. 3.	境広瀬川緑地第1グラウンドゴルフ場完成
	8. 5	境町中学生生徒派遣事業開始（米国イリノイ州オーランドパーク市）
	8.	赤堀西部スポーツ公園完成 （野球場・多目的広場・ゲートボール場・テニスコート）
	9. 12	学校週5日制施行開始（第二土曜日のみ）
1993	5. 3. 22	境町立島小学校校舎全面改築竣工式
	3. 25	境町東公民館移転新築竣工式
	4. 1	伊勢崎市立伊勢崎高等学校開校（男女共学となる）
	5. 29	境町文化協会設立
	6. 30	伊勢崎市第二学校給食センター新築工事完成（9月から給食開始）

1994	6. 4. 15	境町島村公民館移転新築竣工式
	8. 26	境町立南中学校校舎全面改築竣工式
	10. 1	東村営野球場あずまスタジアム完成 東村営弓道場完成
1995	7. 3. 15	伊勢崎市南公民館新築工事完成
	3.	境広瀬川緑地第2グラウンドゴルフ場完成
	4. 1	子ども発達相談室を市立北小学校内に開設 あずまゲートボール場設置(借地)
1996	8. 3. 29	三郷公民館新築工事完成
	3.	東村営野球場あずまサブスタジアム完成
	5. 24	境総合文化センター開館
1997	10. 6	東村営サッカースタジアム完成
	11. 2~5	第9回全国スポーツレクレーション祭、女子ソフトボール大会開催
	9. 3. 15	境町第一学校給食センター完成
1998	3.	境弓道場完成
	9. 11	国指定史跡 女堀の追加指定
	10. 1	境町絹の館に金井鳥州記念室設置
1999	10. 3. 13	境町第二学校給食センター完成
	3.	伊勢崎市野球場改修工事完成
	4. 1	伊勢崎市立幼稚園で2年保育開始 殖蓮第二、広瀬、坂東の3幼稚園休園 図書館広域ネットワーク化
2000	5. 3	あずまウォーターランド竣工
	11. 3	つつみ公園グラウンドゴルフ場完成
	11. 7. 8	東村立図書館開館
2001	12. 4. 1	赤堀町立東小学校開校
	6. 15	華蔵寺のキンモクセイが国指天然記念物に指定
	13. 1. 30	宮郷第二小学校校舎・体育館竣工式
2002	3. 27	赤堀グラウンドゴルフ場完成
	3. 31	殖蓮第二、広瀬、坂東の3幼稚園廃園
	4. 1	宮郷第二小学校開校
2003	11. 4	第16回国民文化祭・ぐんま2001が開催され、伊勢崎市出身の民謡研究家町田佳聲にちなんで、民謡民舞の祭典を開催
	14. 4.	完全学校週5日制開始
	7.	あかぼり運動公園テニス場完成
2004	15. 2. 20	宮郷幼稚園園舎改築工事完成
	3.	赤堀町立赤堀中学校新校舎(特別教室)完成
	16. 12.	赤堀町立南小学校校舎増築工事竣工
2005	3. 22	殖蓮公民館改築工事完成
	3. 30	東村立東中学校新校舎竣工
	17. 1. 1	市町村合併により旧町村の幼稚園、小学校、中学校の名称変更
2006	18. 3.	三室西公園スケートボード場完成(テニスコートをスケートボード場に改修)
	4. 1	青少年育成センターが県より移管
	12. 20	スポーツ都市宣言

2007	19.	4. 1	あずまホールをあずま公民館から分離
		5. 25	伊勢崎市文化協会設立(旧市町村ごとにあった文化協会の統合)
2008	20.	4. 1	県立前橋高等養護学校(伊勢崎分校)が旧県立境高等学校に開校 北小学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置
2009	21.	3. 14	北小学校全面改築竣工式
		3.	図書館年間貸し出し100万点達成
		4. 1	四ツ葉学園中等教育学校開校 北小学校が特認校となる
		11. 29	四ツ葉学園中等教育学校竣工式
2010	22.	5. 14	伊勢崎市ラグビー場完成(平成23年5月1日供用開始)
		6. 30	四ツ葉学園中等教育学校グラウンド完成
		11. 16	第一中学校体育館耐震補強工事完成
		12. 10	三郷幼稚園園舎竣工(園庭の芝生化)
2011	23.	1. 24	北第二小学校体育館竣工
		3. 25	茂呂小学校校舎増築工事完成
		8. 3~16	四ツ葉学園中等教育学校の生徒30人が米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて海外語学研修を実施
		9. 30	市庭球場改修工事(コート・スタンド・フェンス・トイレ)完成
		10. 12	米国ミズーリ州立大学と海外留学や海外語学研修に関する協定を締結
		12. 28	境北中学校体育館耐震補強工事完成
2012	24.	2. 29	宮郷中学校・赤堀南小学校校舎増築工事、宮郷中学校屋内運動場増築工事完成
		3. 15	第二市民体育館改修工事(耐震・電気・機械)完成
		8. 3~16	市内中学校・中等教育学校の生徒44人が米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて海外語学研修を実施
		8. 31	小学校(市内全校)空調整備工事完成
		9. 19	田島弥平旧宅が国指定史跡に指定
2013	25.	1. 28	幼稚園(市内全園)空調整備工事完成
		3. 15	中学校(市内全校)空調整備工事完成
		3. 15	あずま体育館改修工事(耐震・電気・機械)完成
		4. 1	伊勢崎市立伊勢崎養護学校が群馬県立特別支援学校として県へ移管
		4. 1	新公益法人制度により財団法人伊勢崎市体育協会から一般財団法人伊勢崎市体育協会へ移行
		4. 1	赤堀南小学校、あずま南小学校、第四中学校、殖蓮中学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置
		8. 3~16	海外語学研修の参加生徒数を60人(市内中学校・中等教育学校)に拡大し、米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて研修を実施
		11. 29	第一幼稚園園舎耐震補強工事完成
		12. 13	境小学校、境采女小学校校舎耐震補強工事完成
		12. 27	第三中学校体育館耐震補強工事完成
2014	26.	1. 31	広瀬小学校体育館耐震補強工事完成
		2. 10	殖蓮第二小学校体育館耐震補強工事完成
		2. 28	市民体育館改修工事(耐震・電気・機械)完成
		3. 14	赤堀体育館改修工事(更衣室・トイレ・事務室)完成
		6. 25	田島弥平旧宅「富岡製市場と絹産業遺産群」として世界遺産登録

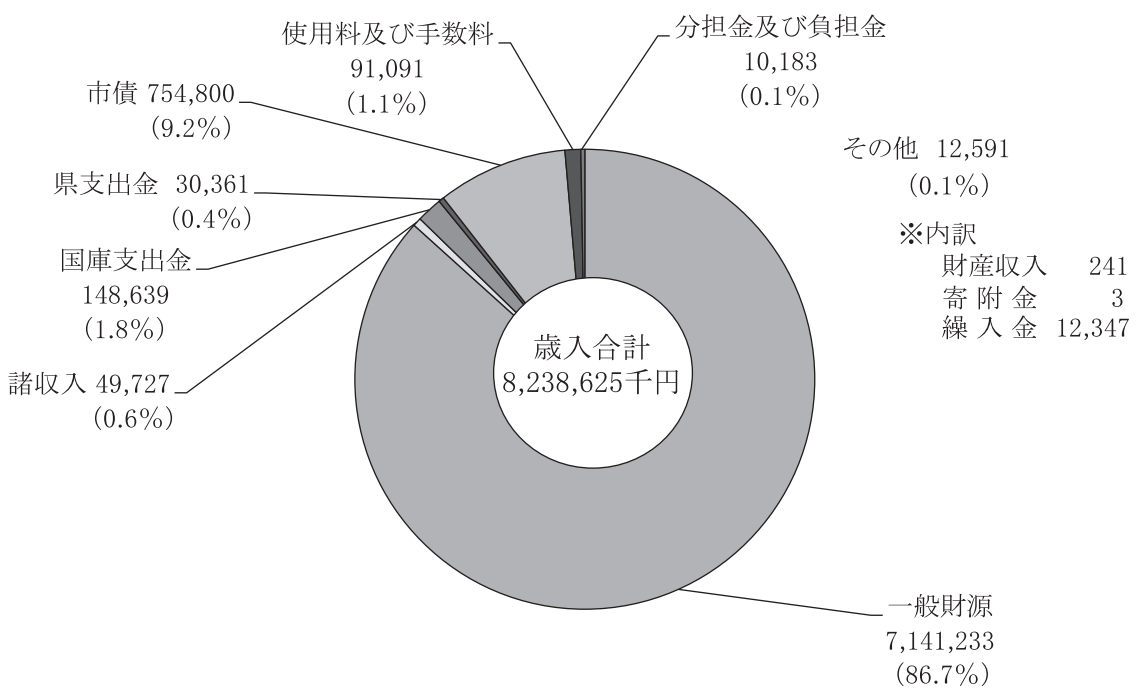
	8. 2～15	海外語学研修の参加生徒数を70人（市内中学校・中等教育学校）に拡大し、米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて研修を実施
	10. 6	上野国佐位郡正倉跡が国指定史跡に指定
	10. 31	殖蓮第二小学校校舎耐震補強工事完成
	11. 10	南幼稚園園舎耐震補強工事完成
	11. 14	境采女小学校校舎耐震補強工事（第2期）完成
	11. 17	境東小学校校舎耐震補強工事（第1期）完成
2015	27. 1. 16	広瀬小学校校舎耐震補強工事完成
	1. 30	第三中学校校舎耐震補強工事完成
	2. 6	小学校トイレ改修工事完成（9校）
	2. 20	宮郷中学校体育館耐震補強及び増築工事完成
	2. 20	あずまスタジアムスタンド等改修工事完成
	3. 14	赤堀中学校全面改築竣工式
	3. 16	境公民館全面改築竣工式
	7. 17	学校規模の適正化に関する基本方針の決定
	11. 13	地方教育行政の組織及び運営に関する法律改正により「総合教育会議」設置 第1回総合教育会議の実施
2016	28. 1. 29	小学校トイレ改修工事完成（6校）
	2. 16	教育に関する「大綱」の策定
	2. 19	境いよくテニス場人工芝張替工事完成
	3. 26	境島小学校閉校式
	3. 31	境島小学校閉校
	3. 31	伊勢崎市西小保方沼公園グラウンドゴルフ場完成（平成28年5月11日オープン）
	8. 12～18	夏季休業中における学校閉庁日開始（毎年1週間程度実施）
	10. 19	米国ミズーリ州立大学と海外留学や海外語学研修に関する協定締結を更新・継続に係る調印
2017	29. 1. 27	あずまサッカースタジアムウォーミングアップ場完成
	2. 22	小学校トイレ改修工事完成（8校）
	3. 10	あずま総合運動公園テニスコート改修・照明設備改修工事完成
	3. 13	三郷小学校プール改修工事・機械設備工事完成
	3. 17	就学前教育・保育のあり方に関する基本方針の決定
	3. 23	北公民館耐震改修工事・機械設備工事完成
	3	旧境島小学校校舎の有効活用に関する計画書の策定
	4. 1	豊受幼稚園休園 新教育委員会制度に全面移行 3年保育試行実施（第一幼稚園、名和幼稚園、あかぼり幼稚園） 一般財団法人伊勢崎市体育協会から一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会へ団体名 変更 伊勢崎市つなとりスポーツ広場（旧仮称スポーツ広場）が高齢政策課より移管
	12. 7	中学校トイレ改修工事完成（10校）
2018	30. 3. 9	境南中学校校庭整備工事完成
	3. 15	陸上競技場2種公認整備工事完成
	3. 16	伊勢崎市野球場スコアボード改修工事完成（磁気反転式→LED）

	3. 20	名和小学校プール新築工事完成
	4. 1	3年保育実施（殖蓮幼稚園、宮郷幼稚園、あずま幼稚園）
	7. 9	夏休み子どもイベントinいせさき パンフレット作成

# 平成30年度教育費に係る一般会計予算

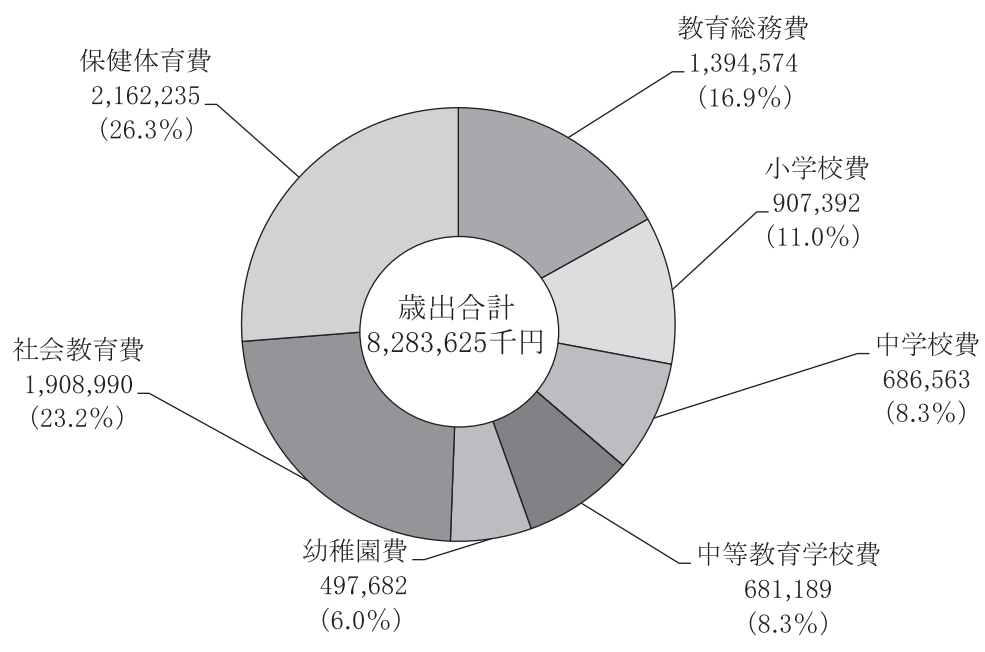
## 歳入

(単位:千円)



## 歳出 (給与等を除く)

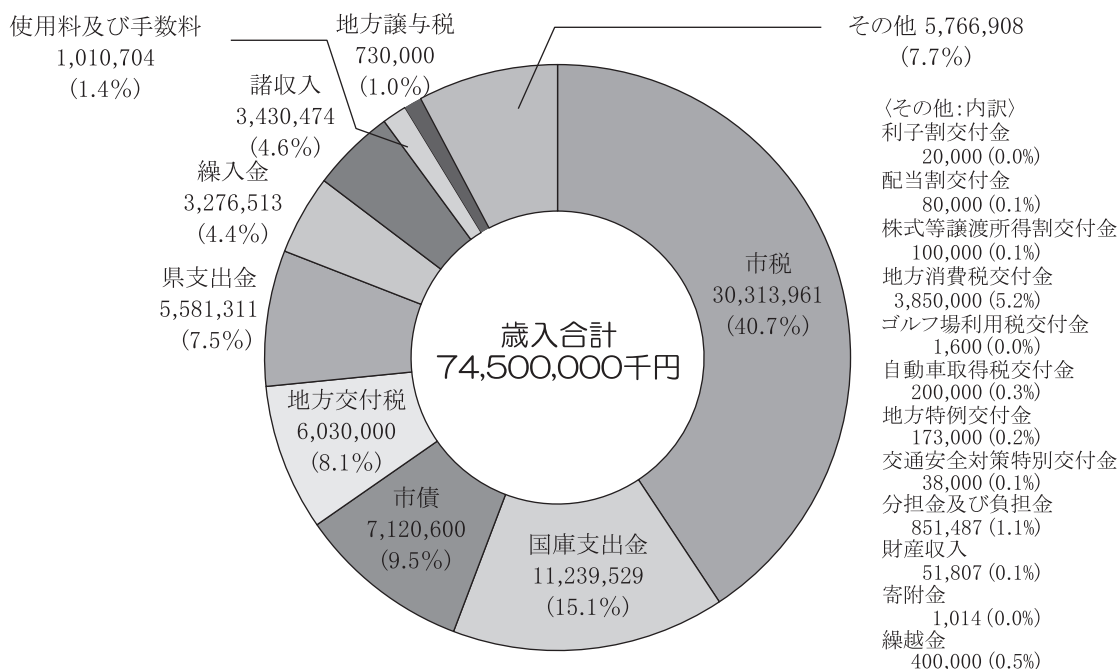
(単位:千円)



# 平成30年度伊勢崎市一般会計予算

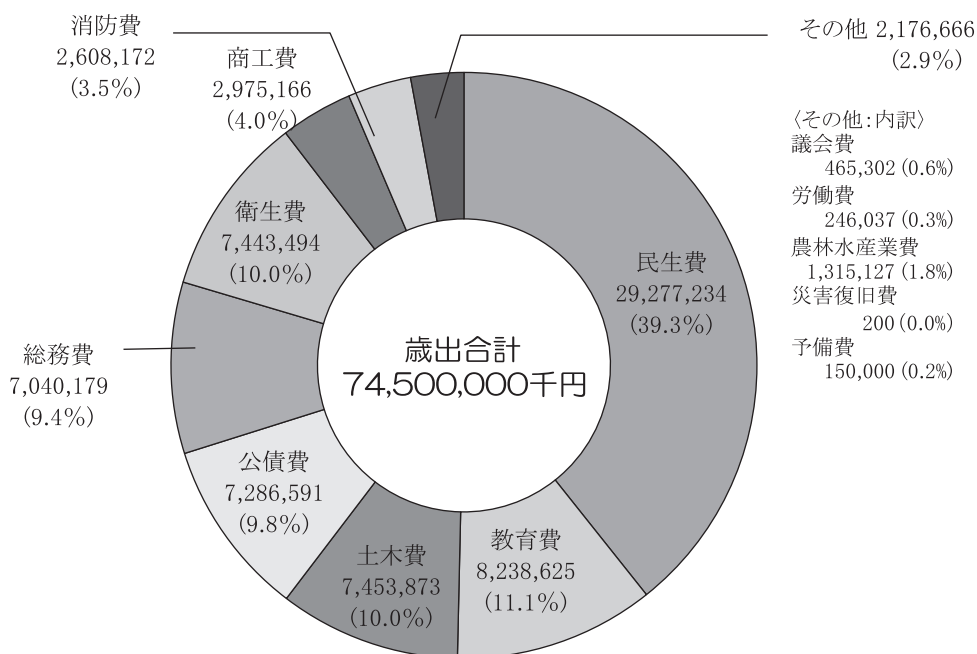
## 歳入

(単位:千円)



## 歳出

(単位:千円)





## 平成30年度 教育費項目別予算

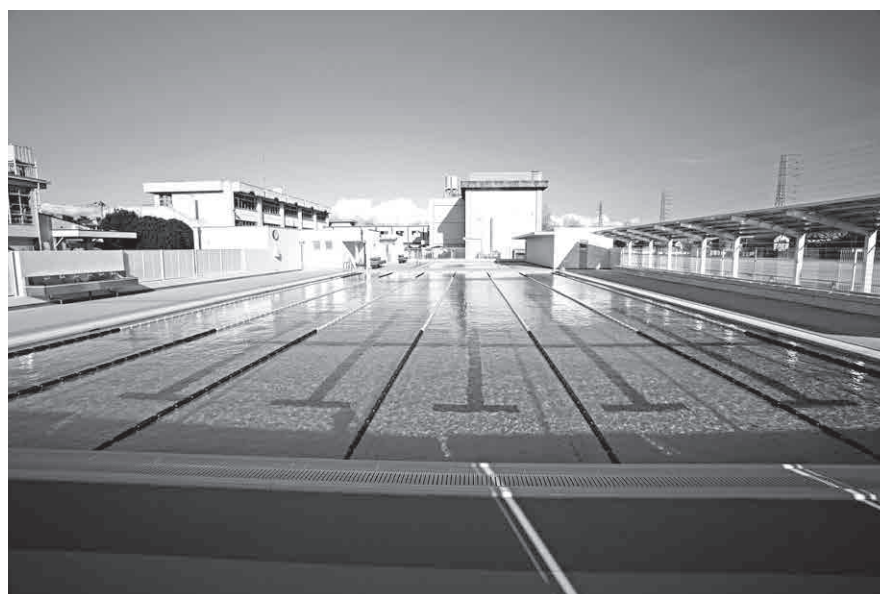
項 目	年 度		平成30年度(A)		平成29年度(B)		比較 (A)-(B)	前年度比 (A) / (B)	平成29年度 決算見込額
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比					
1 教育総務費	千円 1,394,574	% 16.93	千円 1,476,759	% 18.05	千円 -82,185	% 94.43	千円 1,374,160		
1 教育委員会費	4,808	0.06	4,792	0.06	16	100.33	4,166		
2 事務局費	953,393	11.57	866,041	10.59	87,352	110.09	877,403		
3 教育指導費	250,182	3.04	337,427	4.12	-87,245	74.14	331,077		
4 教育研究所費	44,467	0.54	93,440	1.14	-48,973	47.59	83,222		
5 臨海学校費	141,724	1.72	175,059	2.14	-33,335	80.96	78,292		
2 小学校費	907,392	11.01	1,218,714	14.89	-311,322	74.45	1,293,307		
1 学校管理費	560,047	6.80	720,160	8.80	-160,113	77.77	778,306		
2 教育振興費	347,345	4.21	333,054	4.07	14,291	104.29	330,267		
3 学校建設費	0	0.00	165,500	2.02	-165,500	皆減	184,734		
3 中学校費	686,563	8.34	576,250	7.04	110,313	119.14	1,606,773		
1 学校管理費	451,907	5.49	354,306	4.33	97,601	127.55	1,381,713		
2 教育振興費	229,156	2.78	221,944	2.71	7,212	103.25	225,060		
3 学校建設費	5,500	0.07	0	0.00	5,500	皆増	0		
4 中等教育学校費	681,189	8.27	658,782	8.06	22,407	103.40	612,332		
1 中等教育学校総務費	471,845	5.73	476,081	5.82	-4,236	99.11	458,991		
2 学校管理費	174,488	2.12	146,905	1.80	27,583	118.78	119,009		
3 教育振興費	34,856	0.42	35,796	0.44	-940	97.37	34,332		
5 幼稚園費	497,682	6.04	518,498	6.34	-20,816	95.99	449,908		
1 幼稚園費	497,682	6.04	518,498	6.34	-20,816	95.99	449,908		
6 社会教育費	1,908,990	23.17	1,832,015	22.39	76,975	104.20	1,699,166		
1 社会教育総務費	961,736	11.67	1,114,383	13.62	-152,647	86.30	1,071,911		
2 公民館費	541,379	6.57	351,320	4.29	190,059	154.10	273,712		
3 図書館費	161,198	1.96	166,325	2.03	-5,127	96.92	162,602		
4 青少年対策費	23,185	0.28	22,629	0.28	556	102.46	20,291		
5 文化財保護費	221,492	2.69	177,358	2.17	44,134	124.88	170,650		
7 保健体育費	2,162,235	26.24	1,900,667	23.23	261,568	113.76	1,850,096		
1 保健体育総務費	1,300,201	15.78	1,085,085	13.26	215,116	119.82	1,092,413		
2 体育施設費	862,034	10.46	815,582	9.97	46,452	105.70	757,683		
計	8,238,625	100.00	8,181,685	100.00	56,940	100.70	8,885,742		

## 教育費年度別決算額一覽

項 目	年 度			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
1 教育総務費	千円 1,355,788	千円 1,274,347	千円 1,195,269	千円 1,374,160
1 教育委員会費	4,361	4,252	4,416	4,166
2 事務局費	975,142	897,042	804,581	877,403
3 教育指導費	309,779	306,786	313,857	331,077
4 教育研究所費	38,764	39,444	47,528	83,222
5 臨海学校費	27,742	26,823	24,887	78,292
2 小学校費	1,694,773	2,110,331	1,833,477	1,293,307
1 学校管理費	1,427,702	1,739,803	1,389,422	778,306
2 教育振興費	267,071	365,322	292,132	330,267
3 学校建設費	0	5,206	151,923	184,734
3 中学校費	3,393,726	636,156	754,797	1,606,773
1 学校管理費	662,549	430,773	371,363	1,381,713
2 教育振興費	191,941	199,194	253,629	225,060
3 学校建設費	2,539,236	6,189	129,805	0
4 中等教育学校費	548,912	675,516	564,410	612,332
1 中等教育学校総務費	454,101	452,548	458,944	458,991
2 学校管理費	64,401	189,297	70,657	119,009
3 教育振興費	30,410	33,671	34,809	34,332
5 幼稚園費	547,169	1,027,334	501,814	449,908
1 幼稚園費	538,950	819,812	501,814	449,908
2 学校建設費	8,219	207,522	0	0
6 社会教育費	1,545,051	1,314,420	1,437,113	1,699,166
1 社会教育総務費	895,345	824,755	802,872	1,071,911
2 公民館費	333,160	193,468	246,525	273,712
3 図書館費	198,956	144,042	188,021	162,602
4 青少年対策費	22,392	20,864	22,074	20,291
5 文化財保護費	95,198	131,291	177,621	170,650
7 保健体育費	1,503,574	1,490,519	1,485,703	1,850,096
1 保健体育総務費	1,086,256	1,085,215	1,015,774	1,092,413
2 体育施設費	417,318	405,304	469,929	757,683
特別支援学校費	1,524	0	0	0
教育振興費	1,524	0	0	0
計	10,590,517	8,528,623	7,772,583	8,885,742



## Ⅱ 教育施設



小学校プール新築工事（名和小学校）



中学校トイレ改修工事（第二中学校）



小学校エレベーター設置工事  
（赤堀南小学校）

# 教育施設一覽

## 1 幼稚園

区 分	所 在 地	創 立 年 月 日	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数			教 職 員 数		
				男	女	計	男	女	計
				人	人	人	人	人	人
第 一 幼 稚 園	曲輪町24番26号	明治23年 5月 12日	3	29	29	58	0	6	6
南 幼 稚 園	上泉町116番地	昭和18年11月 1日	2	10	0	10	0	3	3
殖 蓮 幼 稚 園	上植木本町2740番地2	昭和25年 9月 1日	3	26	34	60	0	5	5
茂 呂 幼 稚 園	茂呂町二丁目2139番地1	昭和25年 6月 21日	2	10	12	22	0	3	3
三 郷 幼 稚 園	波志江町1067番地	昭和30年 4月 1日	2	10	10	20	(1)	3	4
宮 郷 幼 稚 園	田中島町1486番地8	昭和31年 4月 1日	3	32	25	57	0	4(1)	5
名 和 幼 稚 園	堀口町260番地	昭和47年 4月 1日	3	34	39	73	(1)	4	5
豊 受 幼 稚 園	下道寺町163番地	昭和46年 4月 1日							
あ か ぼ り 幼 稚 園	西久保町二丁目100番地	昭和50年 4月 1日	5	47	60	107	0	7(1)	8
あ ず ま 幼 稚 園	東町2672番地1	昭和44年 4月 1日	3	36	41	77	0	6	6
合 計			26	234	250	484	(2)	41(2)	45

## 2 小学校

北 小 学 校	曲輪町28番24号	明治 6年 6月 9日	20	240	214	454	16	20	36
南 小 学 校	上泉町310番地	昭和 5年 4月 1日	15	185	153	338	10	17	27
殖 蓮 小 学 校	上植木本町2763番地	明治 6年11月 2日	25	333	278	611	11	25	36
茂 呂 小 学 校	茂呂町二丁目2169番地1	明治 6年11月 5日	28	375	389	764	15	25	40
三 郷 小 学 校	波志江町1620番地	明治 7年 2月 28日	26	342	347	689	13	25	38
宮 郷 小 学 校	田中島町1475番地4	明治17年11月 6日	32	428	408	836	16	28	44
名 和 小 学 校	堀口町502番地1	明治 7年 2月	19	228	234	462	8	18	26
豊 受 小 学 校	馬見塚町1130番地	明治 7年 4月 7日	22	286	264	550	9	22	31
北 第 二 小 学 校	宗高町125番地	昭和50年 1月 1日	10	103	81	184	8	10	18
殖 蓮 第 二 小 学 校	下植木町1203番地	昭和53年 1月 1日	19	233	195	428	12	19	31
広 瀬 小 学 校	新栄町4074番地1	昭和54年 1月 1日	23	262	268	530	10	25	35
坂 東 小 学 校	除ヶ町422番地	昭和57年 4月 1日	19	230	259	489	7	22	29
宮 郷 第 二 小 学 校	連取町3069番地1	平成13年 4月 1日	27	385	364	749	16	23	39
赤 堀 小 学 校	西久保町一丁目72番地	昭和22年 4月 1日	23	329	270	599	13	22	35
赤 堀 南 小 学 校	堀下町264番地1	平成 3年 4月 1日	23	316	288	604	10	23	33
赤 堀 東 小 学 校	香林町一丁目260番地2	平成12年 4月 2日	15	166	183	349	8	15	23
あ ず ま 小 学 校	東町2770番地	明治 6年 7月 15日	23	269	292	561	14	24	38
あ ず ま 南 小 学 校	三室町4290番地	昭和56年 4月 1日	24	323	289	612	12	20	32
あ ず ま 北 小 学 校	国定町二丁目1627番地	昭和62年 4月 1日	21	257	250	507	11	18	29
境 小 学 校	境515番地	明治 7年 3月 1日	14	150	196	346	8	16	24
境 采 女 小 学 校	境下瀨名2020番地	明治22年 4月 1日	17	185	206	391	10	13	23
境 剛 志 小 学 校	境下武士831番地	明治 6年11月 20日	14	173	172	345	9	12	21
境 東 小 学 校	境米岡253番地2	昭和32年11月 1日	14	156	161	317	11	12	23
合 計			473	5,954	5,761	11,715	257	454	711

## 3 中学校

第 一 中 学 校	茂呂町一丁目24番地1	昭和40年 4月 1日	18	277	248	525	23	15	38
第 二 中 学 校	堀口町237番地1	昭和42年 4月 1日	18	276	253	529	23	14	37
第 三 中 学 校	波志江町1903番地1	昭和46年 4月 1日	20	331	317	648	22	19	41
第 四 中 学 校	下道寺町26番地	昭和59年 4月 1日	17	274	250	524	21	14	35
殖 蓮 中 学 校	上植木本町2152番地2	昭和22年 4月 29日	18	279	242	521	23	17	40
宮 郷 中 学 校	田中島町1065番地	昭和22年 4月 29日	22	379	349	728	23	22	45
赤 堀 中 学 校	西久保町二丁目329番地1	昭和22年 4月 1日	26	421	391	812	31	19	50
あ ず ま 中 学 校	東町2707番地2	昭和22年 4月 29日	25	380	390	770	27	19	46
境 北 中 学 校	境下瀨名2011番地1	昭和22年 1月 1日	9	95	103	198	12	7	19
境 西 中 学 校	境下武士872番地2	昭和22年 4月 29日	8	97	95	192	12	6	18
境 南 中 学 校	境188番地	昭和39年 4月 1日	12	208	147	355	15	11	26
合 計			193	3,017	2,785	5,802	232	163	395

平成30年5月1日現在

教職員数						校地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	備 考
事務員			労務技士	栄養教諭 栄養職員	合計				
県職 人	市職 人	計 人							
0	0	0	(1)	0	7	3,251	1,045		
0	0	0	(1)	0	4	3,409	857		
0	0	0	(1)	0	6	4,254	681		
0	0	0	(1)	0	4	3,963	592		
0	0	0	(1)	0	5	1,733	370		
0	0	0	(1)	0	6	3,400	904		
0	0	0	(1)	0	6	3,653	689		
						5,123	748	休園中	
0	0	0	(1)	0	9	4,781	959		
0	0	0	(1)	0	7	7,822	913		
0	0	0	(9)	0	54	41,389	7,758		

1	0	1	(1)	0	38	23,697	7,421	1,053
1	0	1	(1)	0	26	26,814	5,312	900
1	0	1	(2)	0	38	28,059	6,448	1,401
1	0	1	(2)	0	46	25,740	5,940	895
1	0	1	(2)	2	43	31,250	5,327	900
1	0	1	(2)	0	48	29,482	6,209	910
1	0	1	(1)	0	27	32,188	5,469	891
1	0	1	(2)	0	33	34,908	5,797	891
1	0	1	(1)	0	19	16,513	3,752	918
1	0	1	(1)	0	30	33,319	5,431	870
1	0	1	(2)	0	40	31,800	6,601	868
1	0	1	(1)	0	31	32,999	5,119	900
1	0	1	(2)	0	49	31,802	7,456	1,229
1	0	1	(2)	0	40	27,456	4,949	844
1	0	1	(1)	0	31	20,778	5,556	924
1	0	1	1	2	25	28,223	4,718	1,116
1	0	1	(2)	2	41	28,439	5,344	965
1	0	1	(2)	0	34	27,596	4,859	898
1	0	1	(1)	0	27	26,478	4,421	908
1	0	1	(1)	0	28	25,191	5,006	1,008
1	0	1	(1)	1	27	22,416	4,777	1,100
1	0	1	(1)	0	23	15,406	4,511	750
1	0	1	(1)	0	25	15,029	3,461	746
23	0	23	1(32)	7	769	615,583	123,884	21,885

2	0	2	(2)	0	42	38,323	6,623	1,442
2	0	2	(2)	2	43	48,551	8,223	1,450
1	0	1	(2)	0	44	38,385	6,889	1,484
1	0	1	(2)	0	38	43,976	8,110	1,450
1	0	1	(2)	0	43	38,919	7,372	1,450
2	0	2	(2)	0	49	50,727	8,447	1,779
2	0	2	(2)	0	54	45,312	9,118	1,891
2	0	2	(2)	0	50	36,339	9,373	1,495
1	0	1	(1)	0	21	30,857	4,439	1,179
1	0	1	(1)	0	20	26,385	4,033	1,159
1	0	1	(1)	1	29	29,306	5,598	1,205
16	0	16	(19)	3	433	427,080	78,225	15,984

( )内は1日7時間45分未満勤務者。面積は施設台帳による。

## 4 中等教育学校

区 分	所 在 地	創 立 年 月 日	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数			教 職 員 数		
				男	女	計	教 員		
							男	女	計
人	人	人	人	人	人				
四ッ葉学園中等教育学校	上植木本町1702番地1	平成21年 4月 1日	24	364	391	755	49	22	71

## 5 教育研究所

区 分	所 在 地	設 置 ( 建 物 ) 年 月 日	敷 地 面 積 ( ㎡ )	建 物 面 積 ( ㎡ )
伊勢崎市教育研究所	鹿島町581番地1	昭和58年 4月 1日	2,515.46	929.19

## 6 臨海学校

伊勢崎市臨海学校	新潟県長岡市寺泊田ノ尻603番地	昭和48年5月31日	4,165.90	1,780.51
----------	------------------	------------	----------	----------

## 7 学校給食センター

第一学校給食調理場	堀口町500番地1	昭和45年12月	6,960.15	1,597.06
第二学校給食調理場	安堀町240番地	平成 5年 4月	6,797.00	1,948.36
赤堀学校給食調理場	西久保町二丁目74番地	昭和57年 4月	学校内	717.33
あずま学校給食調理場	田部井町二丁目689番地	昭和56年 4月	3,337.00	965.00
境第一学校給食調理場	境米岡272番地4	平成 9年 4月	2,027.87	675.00
境第二学校給食調理場	境下瀬名787番地	平成10年 4月	3,880.00	873.65

## 8 公民館等

北 公 民 館	平和町27番32号	昭和45年 6月20日	2,806.79	998.12
南 公 民 館	上泉町619番地1	平成 7年 4月 1日	4,194.49	525.96
殖 蓮 公 民 館	上植木本町2760番地	平成16年 3月22日	4,854.00	768.69
茂 呂 公 民 館	美茂呂町3032番地7	昭和62年 3月25日	3,334.72	513.05
三 郷 公 民 館	波志江町1029番地	平成 8年 3月29日	3,962.00	755.02
宮 郷 公 民 館	田中島町1164番地	昭和47年 3月31日	4,083.61	778.38
名 和 公 民 館	堀口町492番地	昭和55年 3月25日	5,317.24	509.36
豊 受 公 民 館	馬見塚町1296番地	昭和48年 3月25日	3,573.19	726(本館495、別館231)
赤 堀 公 民 館	西久保町二丁目81番地	昭和54年 2月28日	6,918.16	2,397.08
あ ず ま 公 民 館	田部井町三丁目2090番地	昭和63年 3月20日	3,428.70	1,563.48
境 公 民 館	境598番地 1	平成27年2月16日	8,729.14	903.57
境 采 女 公 民 館	境下瀬名2023番地1	昭和54年 2月28日	1,378.01	769.04
境 剛 志 公 民 館	境下武士862番地3	平成元年 3月17日	1,665.75	642.91
境 島 村 公 民 館	境島村2720番地	平成 6年 4月 8日	3,141.00	552.11
境 東 公 民 館	境米岡764番地1	平成 5年 4月 6日	2,410.00	758.75
広 瀬 生 涯 学 習 館	ひろせ町4080番地5	平成13年 4月 1日	3,001.00	770.25
あ ず ま ホ ー ル	田部井町三丁目2090番地	昭和63年 3月20日	1,210.10	1,229.57

## 9 集会所

今 井 町 集 会 所	今井町215番地1	平成26年10月31日	1,622.21	171.48
道 伝 集 会 所	山王町1484番地1	昭和50年 3月10日	803.00	168.00
宮 子 町 集 会 所	宮子町1713番地6	昭和52年 3月20日	982.00	336.00
柴 町 集 会 所	柴町953番地42	昭和52年 3月31日	1,038.00	165.00
連 取 町 集 会 所	連取町582番地2	昭和54年 3月25日	463.85	161.00
三 室 町 集 会 所	三室町6146番地1	昭和53年 3月 1日	877.30	149.00

## 10 青少年育成センター

青少年育成センター	波志江町2237番地6	平成18年 4月 1日	14,165.80	2,189.62
-----------	-------------	-------------	-----------	----------

## 11 図書館

伊勢崎市図書館	曲輪町22番21号	大正10年 4月11日	6,005.16	2,657.98
赤 堀 図 書 館	西久保町二丁目82番地1	平成 7年 4月 1日	—	400.50
あ ず ま 図 書 館	田部井町三丁目2901番地1	平成11年 4月 1日	4,790.21	1,837.85
境 図 書 館	境724番地1	昭和38年 8月 1日	4,582.81	1,433.90
境 絹 の 図 書 館	境724番地1	昭和61年 4月 1日	—	320.20

教職員数						校地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	備 考
事務員			労務技士	栄養教諭 栄養職員	合計				
県職 人	市職 人	計 人							
1	5	6	1(2)	0	80	58,869	12,046	5,098	

( )内は1日7時間45分未満勤務者。面積は施設台帳による。

備 考
教科書センター併設

収容人数 220人
-----------

給食能力	副食	9,000食
"	副食	9,000食
"	副食	約2,500食
"	副食	約2,700食
"	副食	約2,000食
"	副食	約3,000食

対象地区人口(平成30年4月1日現在)	9,690 人
"	7,274 人
"	21,450 人
"	17,439 人
"	14,589 人
"	27,035 人
"	17,659 人
"	18,501 人
"	23,471 人
"	26,421 人
"	6,563 人
"	8,441 人
"	6,847 人
"	1,219 人
"	6,432 人

敷地は借地
-------

建物面積(本館 1340.64㎡、プレイホール 794.98㎡ 野外炊事場 54.00㎡)
---

新築移転(昭和52年3月1日)
赤堀芸術文化プラザとの複合施設
新築(平成11年3月30日)
新築移転(昭和61年6月8日)
境図書館と同敷地



## 12 文化施設

区 分	所 在 地	設置(建物)年月日	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)
文化会館	昭和町3918番地	昭和56年 4月 1日	27,047.00	6,697.00
赤堀芸術文化プラザ	西久保町二丁目82番地1	平成 2年 9月15日	10,203.70	2,581.70
境総合文化センター	境木島818番地	平成 8年 5月24日	28,461.45	5,515.39

## 13 赤堀歴史民俗資料館

赤堀歴史民俗資料館	西久保町二丁目98番地	昭和60年 4月 1日	1,925.00	1,192.72
-----------	-------------	-------------	----------	----------

## 14 青少年指導センター

青少年指導センター	昭和町1712番地2	昭和43年11月11日	—	33.75
-----------	------------	-------------	---	-------

## 15 体育施設

市民体育館	堤西町93番地	昭和54年10月	7,750.00	8,966.54
第二市民体育館	乾町75番地5	昭和47年 3月	3,972.00	2,199.00
庭球場	堤西町116番地	昭和60年 3月	9,855.50	1,274.71
野球場	堤西町41番地	平成10年 3月	17,323.00	3,160.00
陸上競技場	堤西町121番地	昭和43年 4月	39,000.00	4,612.18
ソフトボール場	堤西町39番地	昭和57年 3月	7,036.00	1,059.94
第二グラウンド	堤西町39番地	昭和57年 3月	5,098.00	
補助競技場	堤西町76番地	昭和63年 3月	11,191.00	
弓道場	堤西町141番地	平成 2年 3月	3,642.00	253.16
相撲場	堤西町7番地	平成 2年 8月	600.00	
市民プール	堤西町114番地	昭和46年 6月	7,781.62	1,242.24
つなとりスポーツ広場	連取町3008番地1	平成29年 4月	29,786.88	
赤堀体育館	西久保町二丁目81番地	昭和55年 5月	6,707.00	1,893.85
赤堀剣道場	西久保町一丁目乙64番地	昭和48年 1月	1,445.25	313.65
赤堀中央運動場野球場	西久保町一丁目101番地	昭和51年 7月	13,220.00	
赤堀中央運動場テニス場	西久保町一丁目101番地	昭和51年 7月	2,998.00	
あかぼり運動公園テニス場	西久保町二丁目334番地3	平成14年 7月	5,023.97	管理棟 103.90
あかぼり運動公園球技場	西久保町二丁目334番地3	平成16年 3月	6,277.50	
赤堀西部スポーツ公園野球場	下触町873番地1	平成 4年 8月	11,907.00	
赤堀西部スポーツ公園多目的広場	下触町873番地1	平成 4年 8月	6,058.00	
赤堀西部スポーツ公園ゲートボール場	下触町873番地1	平成 4年 8月	892.00	
赤堀西部スポーツ公園テニス場	下触町873番地1	平成 4年 8月	1,875.00	
赤堀香林運動公園	香林町二丁目1291番地6	昭和57年10月	12,457.00	
赤堀グラウンドゴルフ場	五日牛町104番地10	平成13年 3月	10,623.60	
赤堀コミュニティひろば	西久保町二丁目95番地	昭和61年 4月	17,055.00	
あずま体育館	田部井町三丁目2090番地	昭和54年 8月	5,059.65	2,150.24
あずま総合公園テニスコート	田部井町三丁目2091番地	平成元年 3月	2,797.00	
あずまスタジアム	田部井町三丁目1908番地	平成 6年10月	15,502.75	1,229.00
あずまサブスタジアム	田部井町三丁目1913番地1	平成 8年 3月	9,720.85	117.14
あずま弓道場	田部井町三丁目1905番地1	平成 6年10月	645.00	322.95
あずま総合運動場	田部井町三丁目2090番地	昭和54年 8月	17,320.10	69.30
三室西公園運動場	三室町6202番地	昭和57年 3月	10,023.00	20.30
三室西公園スケートボード場	三室町6202番地	平成18年 3月	1,947.00	
あずまゲートボール場	国定町二丁目2328番地1	平成 7年 4月	6,465.00	
つつみ公園グラウンドゴルフ場	国定町二丁目1940番地	平成11年 3月	7,406.00	8.16
あずまサッカースタジアム	東小保方町3236番地1	平成 8年10月	9,849.00	364.00
あずまウォーターランド	田部井町三丁目340番地	平成10年 5月	8,224.00	2,256.98
西小保方沼公園グラウンドゴルフ場	西小保方町692番地	平成28年3月	21,762.75	便所、倉庫外74.1
境体育館	境609番地1	昭和52年 2月	2,414.00	1,355.95
境武道館	境萩原1750番地2	平成 2年 3月	2,233.52	1,224.20
境いよく野球場	境伊与久3105番地	昭和52年 4月	9,300.00	
境いよくテニス場	境伊与久3105番地	昭和53年 6月	3,920.00	
境弓道場	境木島823番地	平成 9年 3月	4,808.49	208.76
境総合運動場	境上武士846番地	平成元年 5月	30,200.00	本部棟 200.00
境上武公園野球場	境上矢島678番地	昭和50年11月	8,700.00	
境上武公園テニス場	境上矢島678番地	昭和50年11月	1,600.00	
境広瀬川緑地第1グラウンドゴルフ場	境中島442番地1	平成 4年 3月	10,238.00	
境広瀬川緑地第2グラウンドゴルフ場	境中島442番地1	平成 7年 3月	5,120.00	
利根川河川境運動場	境平塚1073番地	昭和47年 4月	18,139.00	
境矢ノ原公園運動場	境東新井1048番地24	平成 2年 3月	7,140.00	
ラグビー場	境島村3454番地297	平成22年 5月	17,654.00	
境プール	境下武士853番地3	昭和57年 6月	5,500.00	管理棟 291.00

備 考
大ホール固定席 1,440席、車椅子席 6席、親子室 8席、立見 76人 小ホール固定席 494席、立見 56人
ホール固定席 511席、車椅子席 2席、親子室 7席
大ホール固定席 708席、車椅子席 4席、親子室 5席 小ホール移動席 204席

展示室2室、復元民家、研修室
----------------

平成11年4月1日、旧市立女子高校跡地へ移転
------------------------

1F トレーニング室、小体育室(卓球10台・ボクシング)、剣道場、柔道場、会議室
2F メインフロア バスケットボール3面(バレーボール3面・バドミントン12面・テニス3面・外3種目競技可能)、3F ジョギングコース1周210m
バレーボール2面・外4種目競技可能
1,200人収容 人工クレーコート12面 夜間照明12基
硬式野球 内野3,200人・外野6,800人収容 両翼98m・センター122m ラバーフェンス 夜間照明6基
5,000人収容 公認二種 400mトラック(8コース)
1,334人収容 両翼・センター70m 夜間照明4基
ソフトボール場 両翼・センター70m
300mトラック(5コース)・ソフトボール2面・サッカー 100m×65m 1面
近的6人立
2面
公認50m(9コース)、25m(7コース)、流水120m、スライダ―(ループ、ストレート)、子供プール、スライダ―プール
サッカー1面、野球2面(サッカーと野球の併用不可)
バスケットボール2面(バレーボール2面・バドミントン6面・テニス1面)、柔道場、1Fギャラリー(卓球)
1面
軟式野球 両翼90m 椅子席70 夜間照明7基
テニス 全天候2面、クレー2面 夜間照明6基
人工芝8面(4面 夜間照明15基)
少年野球1面、フットサル2面 夜間照明6基
軟式野球 両翼90m・センター110m
多目的広場(サッカー1面)
ゲートボール2面
全天候3面
軟式野球 両翼88m
天然芝16ホール、東屋
300mトラック(6コース) クレー舗装
1F バスケットボール2面(バレーボール3面・バドミントン6面・テニス1面)、2F ギャラリー 卓球6台
人工芝2面、クレー2面 夜間照明18基
硬式野球 両翼98m・センター122m 内野1,200人・外野2,300人収容 夜間照明6基
軟式野球 両翼85m・センター114m
近的6人立ち28m、遠的3人立ち60m
軟式野球2面・ソフトボール4面他 夜間照明14基
少年野球・ソフトボール1面、ゲートボール、グラウンドゴルフ
スケートボード・インラインスケート・BMX
ゲートボール・グラウンドゴルフ
天然芝16ホール
人工芝 105m×68m 1面(少年用(72m×50m)2面) スタンド約300人収容 夜間照明4基
25m(6コース)、幼児用プール、スライダ―、屋外プール、サウナ室 2F トレーニングルーム
常設グラウンドゴルフ場1面(8ホール×3コース)、多目的使用エリア、駐車場(2634.2㎡:102台)
バレーボール2面(バスケットボール1面・バドミントン3面)、卓球室、トレーニングルーム
剣道場2面(競技場面積466㎡)、柔道場2面(競技場面積476㎡)
軟式野球 レフト85m・ライト86m・センター89m 夜間照明6基
人工芝4面 夜間照明3基
近的6人立
400mトラック(8コース)・ソフトボール4面・サッカー100m×70m 1面 夜間照明14基
軟式野球 レフト80m・ライト80m・センター100m
クレー4面
天然芝16ホール(セパレート)、ターゲットバードゴルフ場
天然芝16ホール(フラット)
ソフトボール・少年野球
軟式野球 レフト78m・ライト72m・センター90m
天然芝7,696㎡
流水プール、幼児用プール、スライダ―プール、スライダ―

## 平成29年度施設建設等主要事業

実施した校舎建設等の主要事業は、次のとおりです。

(単位：円)

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
南小学校外7校遊具・体育器具改修工事	遊具及び体育器具の保守点検で改善指示のあった小学校の屋外固定遊具等を改修する工事	8,856,000				8,856,000
殖蓮小学校南校舎東トイレ外壁改修工事	外壁補修 一式 防水工事 一式 塗装工事 一式	1,166,400				1,166,400
茂呂小学校エレベーター設置工事	茂呂小学校校舎にエレベーター1機を設置する工事	19,234,800				19,234,800
茂呂小学校外2校放送設備改修工事	茂呂小学校・名和小学校(体育館)・境采女小学校に設置してある放送設備(調整卓外)を改修するもの	11,232,000				11,232,000
三郷小学校外2校高圧引込設備改修工事	三郷小学校、赤堀小学校、あずま北小学校の高圧引込設備の改修を行う電気設備工事	5,691,600				5,691,600
三郷小学校電話設備改修工事	・主装置 1台新設、既存1台撤去 ・多機能電話機 8台新設、既存7台撤去 ・一般用電話機 1台新設	1,080,000				1,080,000
三郷小学校東側門扉改修工事	三郷小学校東側門扉を改修する工事(3枚引き込み 手動式)	1,112,400				1,112,400
宮郷小学校教室等引戸改修工事	宮郷小学校の教室等と廊下の間仕切り戸を改修する工事	6,768,738				6,768,738
名和小学校既存ハンドホール外移設工事	校舎西側のハンドホール及び外部幹線を撤去・移設する工事	1,242,000				1,242,000
豊受小学校プール配管漏水改修工事	豊受小学校のプールの水漏れを改修するための工事	1,220,400				1,220,400
広瀬小学校外5校遊具・体育器具改修工事	遊具及び体育器具の保守点検で改善指示のあった小学校の屋外固定遊具等を改修する工事遊具及び体育器具	9,385,200				9,385,200
坂東小学校音楽室直上屋上防水改修工事	ウレタン系塗膜防水(平場・立上り等) 76.1㎡	1,285,200				1,285,200
坂東小学校受変電設備等改修工事	・受変電設備工事 ・幹線設備工事 ・上記に係る撤去工事	11,610,000				11,610,000
坂東小学校北校舎屋上防水改修工事	ウレタン系塗膜防水(平場・立上り等) 1,178㎡	21,276,000				21,276,000
宮郷第二小学校門扉改修工事	宮郷第二小学校の北門・東門の門扉を改修する工事	1,242,000				1,242,000
赤堀南小学校エレベーター設備工事	赤堀南小学校校舎にエレベーター1機を設置する工事	13,186,800				13,186,800
あずま小学校揚水ポンプ改修工事	点検の結果により不良が指摘された、あずま小学校の揚水ポンプを改修する工事	5,961,600				5,961,600

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
あずま南小学校教室間仕切壁設置工事	新設間仕切壁 20.5㎡	1,263,600				1,263,600
境小学校自動火災報知設備改修工事	点検結果により不良が指摘された、境小学校の自動火災報知設備を改修する工事	4,039,200				4,039,200
境小学校プールろ過機改修工事	保守点検の指摘により、不具合のあったろ過設備を改修する工事	5,043,600				5,043,600
境小学校プール塗装改修工事	境小学校プール本体の塗装を改修する工事	6,717,600				6,717,600
境小学校廊下窓改修工事	境小学校の廊下の既存アルミサッシを改修する工事	1,220,400				1,220,400
境采女小学校プールサイドシート改修工事	防滑性ビニル床シート 81.6㎡	1,080,000				1,080,000
境剛志小学校プール塗装改修工事	境剛志小学校プール本体の塗装を改修する工事	5,032,800				5,032,800
境東小学校外1校屋外階段塗装改修工事	境東小学校、北第二小学校の屋外階段の塗装を改修する工事	2,570,400				2,570,400
旧境島小学校遊具・体育器具撤去工事	4連ブランコ、滑り台、雲梯、はんとす棒・ジャングルジム、6間鉄棒、丸木平均台、サッカーゴール、バックネット撤去	1,080,000				1,080,000
赤堀小学校東側付け替え市道築造工事	旧赤堀中学校の財産整理に伴い、赤堀小学校のグラウンドを拡張するため小学校東側市道を付け替える工事	6,620,400				6,620,400
名和小学校プール新築工事	名和小学校プール新築に伴う建築工事(25mプール、サブプール)	123,336,000	25,909,000	137,600,000		15,933,000
名和小学校プール新築機械設備工事	名和小学校プール新築に伴う機械設備工事	31,320,000				
名和小学校既存プール解体工事	名和小学校の既存プールを解体する工事	11,286,000				
名和小学校浄化槽改修工事	名和小学校プール新築工事に伴う浄化槽改修工事	13,500,000				
南小学校外14校空調設備更新設計業務委託	管理諸室の空調設備更新のための実施設計を委託するもの 小学校10校 中学校5校	4,644,000				4,644,000
殖蓮小学校外13校空調設備更新設計業務委託	管理諸室の空調設備更新のための実施設計を委託するもの 小学校11校 中学校3校	4,752,000				4,752,000
あずま小学校プール改築工事設計業務委託	プール改築事業における実施設計業務の委託	5,292,000				5,292,000
第一中学校3階間仕切壁改修工事	アルミ製間仕切り壁：13箇所	36,504,000				36,504,000

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
第一中学校外2校柔剣道場床外改修工事	第一中学校・第二中学校・第三中学校の柔剣道場の床等を改修する工事	7,560,000				7,560,000
第二中学校パソコン教室エアコン改修工事	パソコン教室のエアコン2台を改修する工事	1,296,000				1,296,000
第二中学校外4校体育器具改修工事	体育器具の保守点検で改善指示のあった中学校の体育器具等を改修する工事	5,940,000				5,940,000
第三中学校保健室エアコン設置工事	保健室にエアコンを2台設置する工事	1,188,000				1,188,000
第三中学校渡り廊下等改修工事	渡り廊下の段差を解消する工事	1,242,000				1,242,000
第四中学校揚水ポンプ改修工事	故障している給水ポンプユニットを交換し、改修する工事	1,274,400				1,274,400
第四中学校高压引込設備改修工事	動力設備工事 一式 コンセント設備工事 一式 受変電設備工事 一式 撤去工事 一式	4,179,600				4,179,600
宮郷中学校野球場グラウンド改修	ソフトグリーン舗装 2,124.0㎡ 黒土川砂舗装 173.9㎡	11,048,400				11,048,400
境西中学校職員室・校長室等空調設備改修工事	経年劣化した空調設備等の改修工事	12,636,000				12,636,000
境南中学校校庭整備工事	グラウンド整備 A=7,043.0㎡ 野球場整備 A=2,859.0㎡	60,091,200		55,400,000		4,691,200
第一幼稚園外4園遊具改修工事	遊具の保守点検で改善指示のあった幼稚園の屋外固定遊具の改修	4,482,000				4,482,000
殖連幼稚園保育室空調設備等増設工事	給排水衛生設備工事 一式 空調和設備工事 一式 電気設備工事 一式 撤去工事 一式	4,168,800				4,168,800
宮郷幼稚園保育室空調設備増設工事	電気式ヒートポンプパッケージエアコン (冷房12.5kw 暖房14.0kw)	2,199,960				2,199,960
名和幼稚園渡り廊下屋根改修工事	既存のスレート屋根を解体・撤去し、波子屋根を新設する工事	3,866,400				3,866,400
あずま幼稚園プールサイド改修工事	既存人工芝撤去 62.9㎡ 新規防滑ビニル床シート 62.9㎡	1,047,600				1,047,600
臨海学校施設改修工事（I期工事）	臨海学校の部分増築部の改築及び老朽化対策等の改修を行う工事 (平成30年度へ繰越) 総事業費149,958,000円	56,000,000		35,400,000	18,875,000	1,725,000

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
第一中学校外1校トイレ改修工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、第一中学校、宮郷中学校のトイレ改修に伴う建築工事	76,874,400	326,880,000	642,500,000		20,872,000
第一中学校外1校トイレ改修機械設備工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、第一中学校、宮郷中学校のトイレ改修に伴う機械設備工事	92,448,000				
第一中学校外1校トイレ改修電気設備工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、第一中学校、宮郷中学校のトイレ改修に伴う電気設備工事	14,040,000				
第二中学校外1校トイレ改修工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、第二中学校、境北中学校のトイレ改修に伴う建築工事	91,184,400				
第二中学校外1校トイレ改修機械設備工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、第二中学校、境北中学校のトイレ改修に伴う機械設備工事	111,132,000				
第二中学校外1校トイレ改修電気設備工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、第二中学校、境北中学校のトイレ改修に伴う電気設備工事	16,200,000				
第三中学校外1校トイレ改修工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、第三中学校、殖蓮中学校のトイレ改修に伴う建築工事	84,099,600				
第三中学校外1校トイレ改修機械設備工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、第三中学校、殖蓮中学校のトイレ改修に伴う機械設備工事	105,904,800				
第三中学校外1校トイレ改修電気設備工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、第三中学校、殖蓮中学校のトイレ改修に伴う電気設備工事	16,437,600				
第四中学校トイレ改修工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、第四中学校のトイレ改修に伴う建築工事	45,651,600				
第四中学校トイレ改修機械設備工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、第四中学校のトイレ改修に伴う機械設備工事	56,376,000				
第四中学校トイレ改修電気設備工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、第四中学校のトイレ改修に伴う電気設備工事	9,806,400				
あずま中学校トイレ改修工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、あずま中学校のトイレ改修に伴う建築工事	52,315,200				
あずま中学校トイレ改修機械設備工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、あずま中学校のトイレ改修に伴う機械設備工事	68,731,200				
あずま中学校トイレ改修電気設備工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、あずま中学校のトイレ改修に伴う電気設備工事	10,130,400				
境西中学校外1校トイレ改修工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、境西中学校、境南中学校のトイレ改修に伴う建築工事	50,209,200				
境西中学校外1校トイレ改修機械設備工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、境西中学校、境南中学校のトイレ改修に伴う機械設備工事	76,831,200				
境西中学校外1校トイレ改修電気設備工事(繰越)	トイレビカビカプロジェクトによる、境西中学校、境南中学校のトイレ改修に伴う電気設備工事	11,880,000				

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
教育研究所多目的 ルーム耐震補強工 事	教育研究所多目的ルームを耐震補強する 工事	21,448,800	2,687,000	28,800,000		1,517,800
教育研究所本館ト イレ改修機械設備 等工事	教育研究所本館トイレ設備を改修する工 事	11,556,000				
教育研究所電話設 備工事	教育研究所の電話設備を増強改修する工 事	1,501,200				1,501,200
適応指導あずま教 室エアコン改修工 事	適応指導あずま教室のエアコン改修工事	3,898,800				3,898,800
四ツ葉学園体育館 外壁外改修工事	体育館の外壁・防水・内壁を改修する工 事	62,985,600				62,985,600
四ツ葉学園南・北 校舎外壁劣化調査	建物のタイル面の浮き等劣化状況を調査	3,024,000				3,024,000
(仮称) 新学校給食 調理場建築工事 (H29、30債務負 担)	西小保方町に新しい学校給食調理場を建 設する工事 総事業費3,392,010,000円	570,240,000		1,354,000,000		71,276,000
(仮称) 新学校給食 調理場電気設備工 事 (H29、30債務 負担)		56,916,000				
(仮称) 新学校給食 調理場給排水衛 生・厨房設備工事 (H29、30債務負 担)		513,108,000				
(仮称) 新学校給食 調理場空調設備工 事 (H29、30債務 負担)		285,012,000				
境第一学校給食調 理場ボイラー改修 工事	境第一学校給食調理場のボイラーを改修 する工事	14,364,000				14,364,000
境剛志公民館空調 設備改修工事	境剛志公民館の集会室、図書室の空調設 備を改修する工事	7,970,400				7,970,400
境東公民館空調設 備改修工事	境東公民館の会議室、談話室の空調設備 を改修する工事	3,024,000				3,024,000
あずま公民館視聴 覚室空調設備改修 工事	あずま公民館視聴覚室の空調設備を改修 する工事	3,218,400				3,218,400
赤堀公民館第1・ 第2和室空調設備 改修工事	赤堀公民館の第1・第2和室の空調設備 を改修する工事	5,238,000				5,238,000
宮郷公民館用地造 成工事	宮郷公民館移転新築用地を造成する工事	33,998,400		32,290,000		1,708,400
あずまホール調光 装置外改修工事	あずまホールの調光装置外を改修する工 事	16,416,000				16,416,000

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
柴町集会所大ホールエアコン交換工事	柴町集会所の大ホールのエアコンを交換する工事	1,549,800				1,549,800
青少年育成センター冷温水発生機薬品洗浄及び燃焼部品交換修繕	青少年育成センターの冷温水発生機の薬品洗浄と燃焼部品を交換する修繕	1,890,000				1,890,000
伊勢崎市境絹の館改修工事	展示室の経年劣化した天井、空調機、照明を改修する工事	2,786,400				2,786,400
伊勢崎市文化会館大規模改修等設計業務委託	耐震化及び長寿命化改修工事のための設計を行うもの。	99,619,200			56,900,000	42,719,200
伊勢崎市文化会館小ホール舞台吊物機構改修工事（第4・5期）	小ホール吊物機構の経年劣化により、4期に分割して改修工事を実施するもの。	32,400,000				32,400,000
伊勢崎市文化会館小ホール舞台吊物改修工事	小ホール吊物の経年劣化により、改修工事を実施するもの。	1,242,000				1,242,000
伊勢崎市文化会館一斉開放弁交換修繕	スプリンクラー設備の一部が経年劣化し機能していないため、緊急に修繕を行うもの。	14,979,600				14,979,600
赤堀芸術文化プラザ下水道切替工事	排水設備を下水道設備に接続する工事を実施するもの。	14,018,400				14,018,400
境総合文化センター大会議室外空調設備改修工事	大会議室及び工作実習室の老朽化した空調機を改修する工事。	7,473,600			70,000,000	473,600
境赤レンガ倉庫改修工事（H28、29債務負担）	伊勢崎市境765-1の境赤レンガ倉庫の保存、活用するために改修工事を行うもの。	171,828,000				171,828,000
境赤レンガ倉庫改修電気設備工事（H28、29債務負担）	伊勢崎市境765-1の境赤レンガ倉庫の保存、活用するために電気設備工事を行うもの。	23,706,000				23,706,000
境赤レンガ倉庫改修機械設備工事（H28、29債務負担）	伊勢崎市境765-1の境赤レンガ倉庫の保存、活用するために機械設備工事を行うもの。	32,805,000				32,805,000
境赤レンガ倉庫改修工事監理業務委託（H28、H29債務負担）	境赤レンガ倉庫改修工事に伴う、工事監理業務の委託を行うもの。	6,727,000				6,727,000
境赤レンガ倉庫外構工事	境765-1の境赤レンガ倉庫の保存、活用するために外構工事を行うもの。	7,160,400				7,160,400
境赤レンガ倉庫前公衆トイレ解体工事	境765-1の境赤レンガ倉庫の保存、活用するために公衆トイレ解体工事を行うもの。	2,376,000				2,376,000
境赤レンガ倉庫外構電気設備工事	境赤レンガ倉庫の外構整備に伴い、照明設備等を設置する工事。	3,477,600				3,477,600
境赤レンガ倉庫公共下水道接続工事	境赤レンガ倉庫の活用に伴い、排水設備を下水道設備に接続する工事を実施するもの。	4,050,000				4,050,000
（仮称）田島弥平旧宅管理事務所（ガイダンス施設）改修工事	旧境島小学校の一部を（仮称）田島弥平旧宅管理事務所（ガイダンス施設）へと改修する工事 （平成30年度へ繰越） 総事業費20,455,200円	8,180,000				20,455,200



事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
(仮称)田島弥平旧宅管理事務所(ガイダンス施設)改修機械設備工事	旧境島小学校内に設置する(仮称)田島弥平旧宅管理事務所(ガイダンス施設)内の機械設備の改修工事(平成30年度へ繰越)総事業費1,044,000円	4,010,000				10,044,000
(仮称)田島弥平旧宅管理事務所(ガイダンス施設)改修電気設備工事	旧境島小学校内に設置する(仮称)田島弥平旧宅管理事務所(ガイダンス施設)内の電気設備の改修工事(平成30年度へ繰越)総事業費7,873,200円	3,140,000				7,873,200
陸上競技場管理棟改修工事(建築、電気、機械)(H29、30債務負担)	陸上競技場管理棟改修工事に伴う建築工事、電気設備工事、機械設備工事(耐震改修工事含む)総事業費469,152,000円	86,274,720	23,199,000	59,900,000		3,175,720
伊勢崎市野球場スコアボード改修工事	伊勢崎市野球場のスコアボードシステムを更新する電気設備工事	143,294,400			140,000,000	3,294,400
陸上競技場2種公認整備工事	陸上競技場2種公認継続にあたり、指摘事項である項目を解消するための工事	123,282,000		115,900,000		7,382,000
あずまウオーターランドエアハンドリングユニット更新工事	あずまウオーターランドの老朽化した空気調和設備を改修する工事	51,818,400				51,818,400
赤堀西部スポーツ公園トイレ改修工事	赤堀西部スポーツ公園の汚水処理を下水道に切り替え既設浄化槽を撤去し、女子トイレの和風便器を洋風便器に交換する工事	2,894,400				2,894,400
あずまウオーターランドろ過ポンプ交換工事	あずまウオーターランドのろ過ポンプを交換する工事	2,419,200				2,419,200
あずまウオーターランドプールサイド照明器具交換工事	あずまウオーターランドのプールサイド照明を交換する電気設備工事	7,020,000				7,020,000
境広瀬川緑地整備工事	境広瀬川緑地が冠水し、駐車場や通路の剥がれたアスファルトの撤去や新たな舗装等を行うもの	2,613,600				2,163,600
伊勢崎市野球場スコアボード更新工事実施設計業務委託	伊勢崎市野球場スコアボード更新工事の実施設計を行う業務委託	4,341,600				4,341,600

# 平成30年度施設建設等主要事業計画

校舎建設等の主要事業は、次のとおりである。

- 1 南小学校校舎屋上防水改修工事
- 2 名和小学校校庭整備工事
- 3 殖蓮第二小学校受変電設備等改修工事
- 4 宮郷第二小学校電話設備改修工事
- 5 赤堀南小学校高压引込ケーブル等改修工事
- 6 境東小学校理科室床改修工事
- 7 豊受小学校管理諸室空調設備更新工事（繰越）
- 8 境東小学校管理諸室空調設備更新工事（繰越）
- 9 第一中学校外2校自家用電気工作物改修工事
- 10 あずま中学校外1校防火シャッター改修工事
- 11 境西中学校非常用放送設備改修工事
- 12 境南中学校オイルタンク撤去工事
- 13 境南中学校駐車場排水改修工事
- 14 第三中学校管理諸室空調設備更新工事（繰越）
- 15 宮郷中学校管理諸室空調設備更新工事（繰越）
- 16 第一中学校エレベーター設置工事（繰越）
- 17 第三中学校エレベーター設置工事
- 18 第一幼稚園園舎・遊戯室外壁塗装改修工事
- 19 茂呂幼稚園保育室床改修工事
- 20 宮郷幼稚園トイレ改修工事（繰越）
- 21 宮郷幼稚園トイレ改修機械設備等工事（繰越）
- 22 第一幼稚園園舎・遊戯室外壁塗装改修工事
- 23 臨海学校施設改修等工事（Ⅱ期工事）
- 24 四ツ葉学園校舎外壁外改修工事
- 25 グランド直線走路外改修工事
- 26 （仮称）新学校給食調理場建築工事（債務負担）
- 27 （仮称）新学校給食調理場電気設備工事（債務負担）
- 28 （仮称）新学校給食調理場給排水衛生・厨房設備工事（債務負担）
- 29 （仮称）新学校給食調理場空調設備工事（債務負担）
- 30 （仮称）新学校給食調理場外構工事
- 31 （仮称）新学校給食調理場水道管布設工事
- 32 第二学校給食調理場調理室内トイレ洋式化工事
- 33 境第二学校給食調理場ボイラー改修工事
- 34 境第二学校給食調理場西側外壁改修工事
- 35 あずまホール舞台機構（手動昇降設備・幕交換）改修工事

- 36 あずまホール空調機械室外壁防水改修工事
- 37 広瀬生涯学習館屋上防水外改修工事
- 38 茂呂公民館屋上防水工事
- 39 宮郷公民館新築工事
- 40 宮郷公民館駐車場、外構工事
- 41 宮子町集会所堅樋等改修工事
- 42 伊勢崎市図書館照明設備改修工事
- 43 伊勢崎市文化会館長寿命化改修工事
- 44 伊勢崎市文化会館長寿命化改修電気設備工事
- 45 伊勢崎市文化会館長寿命化改修空調設備工事
- 46 伊勢崎市文化会館長寿命化改修衛生設備工事
- 47 伊勢崎市文化会館長寿命化改修工事監理業務委託
- 48 境総合文化センター空調用冷温水ポンプ交換修繕
- 49 境赤レンガ倉庫下水道接続に伴う舗装本復旧工事
- 50 境赤レンガ倉庫案内看板設置工事
- 51 (仮称)田島弥平旧宅管理事務所(ガイダンス施設)改修工事(繰越)
- 52 (仮称)田島弥平旧宅管理事務所(ガイダンス施設)改修機械設備工事(繰越)
- 53 (仮称)田島弥平旧宅管理事務所(ガイダンス施設)改修電気設備工事(繰越)
- 54 田島弥平旧宅建造物修復整備工事
- 55 陸上競技場管理棟改修工事(建築、電気、機械)
- 56 陸上競技場夜間照明増設工事
- 57 伊勢崎市野球場ラバーフェンス改修工事
- 58 あかぼり運動公園テニスコート人工芝張替工事
- 59 境広瀬川グラウンドゴルフ場案内標識設置工事
- 60 赤堀体育館バスケットゴール改修工事
- 61 陸上競技場ゴムチップ舗装補修工事

# Ⅲ 学校教育



東京福祉大学や文化財保護課と連携した伊勢崎ふるさと学習の実践（赤堀小学校）

# 平成30年度 主要事業

## 1 全市的な研修

- ①幼小中連携研修：教育構想等の展開に向けた各中学校区の学校園による連携研修（11/5 午後）
- ②小中教科等研修：小1 3、中1 3、小中合同2（養護教諭、特別支援教育）
- ③実技等研修：授業改善に向けた実技指導力の向上を目指した研修
- ④幼稚園1日研修：保育の改善・充実のための保育研究（会場：あかぼり幼稚園）

## 2 学校訪問

- ①経営訪問：市教委の方針説明、経営課題の協議、授業参観
- ②要請訪問：随時要請に応じて実施、学校課題に基づく協議、授業研究会、個別指導等
- ③幼稚園訪問：経営課題の協議、保育参観、保育研究会

## 3 指定校等

<文部科学省・県教育委員会等指定校>

- ①小学校全23校：「教育課程特例校」（文部科学省 H25～H31）
- ②南小学校：「ぐんまの子どもの体力向上推進事業体力向上推進モデル校」（県教委健康体育課 H30・31）
- ③境南中学校：「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」（県教委義務教育課 H30～32）
- ④名和小学校・広瀬小学校・坂東小学校：「小・中学校初任者研修に係る調査研究」（総合教育センター H30）
- ⑤あずま小学校：学力向上推進モデル校（中部教育事務所 H29・30）
- ⑥赤堀小学校：「社会福祉協力校（単年度学校指定モデル事業）」（社会福祉協議会 H30）

<市教育委員会指定校>

- ①あかぼり幼稚園：「特色ある幼稚園教育実践指定園」（H30）
- ②境采女小学校・宮郷中学校：「学府推進重点校」（H30）

## 4 市教委主催の研修等

- ①管理職研修
- ②教務主任研修
- ③研修主任研修（確かな学力向上推進委員会）
- ④生徒指導主任研修（生徒指導主任研究協議会）
- ⑤人権教育主任研修
- ⑥情報教育主任研修
- ⑦健康教育担当者研修
- ⑧教科等指導員研修
- ⑨小学校英語研修
- ⑩日本語教室担当教員研修
- ⑪学校経営研修
- ⑫事務職員研修
- ⑬特別支援教育コーディネーター研修
- ⑭通級指導教室担当教員連絡協議会
- ⑮外国籍児童生徒学校生活支援助手研修
- ⑯食育推進担当者研修（食育実践研究会）
- ⑰教育相談研究協議会

# 学力向上

本市では、学力向上対策推進事業として、「伊勢崎学校教育構想2018」における教育プランの一つとして「21世紀型学力向上プラン」を実施する。「21世紀型学力向上プラン」は、本市で目指す子ども像「『生きる力』を身に付け、実践する、自立した子ども」の具現化に向けて、「基礎・基本を身に付け、自ら学び、自ら考える子ども」の育成に重点を置き、教師・子ども・保護者の三者が一体となり、「確かな学力」を培おうとするものである。事業の内容は、①学力検査結果の分析等による児童生徒の実態把握に基づいた学力向上対策の計画的な推進を図ること、②考えを交流し合い、「『なぜ?』から『なるほど!』を大切に授業」を通して、思考力・判断力・表現力等の育成を図ること、③教師の専門性や特技・特性を生かした「教科分担制」の導入等により授業の質を高めること、④教科横断的な学び等のカリキュラム・マネジメントを促進していくこと、⑤家庭学習の手引きの活用や子どもたちの取り組みのよさを認め合う活動を取り入れること、⑥9年一貫指導における英語コミュニケーション能力の育成を図ること、⑦ICT機器等を効果的に活用していくこと、以上7点である。

学力向上対策にかかわる全学的な教職員研修としては、「中学校区別研修会」を開催し、市内11中学校区ごとにそれぞれの校区の幼稚園・小学校・中学校の教員が全員参加して、連携した継続性のある教育活動の在り方を検討する。さらに、「共通授業研究会」を小・中学校の各校種で教科別に実施し、授業研究を基にして指導力向上を図るとともに、「実技等研修」を実施し、教員の資質や専門的な能力の向上を図る。幼稚園については、「幼稚園一日研修」を実施し、保育研究を基にして保育改善を図る。

各学校の校内外研修を支援する体制としては、研修主任を委員とした「確かな学力向上推進委員会」を設置し、研修の計画・実施・まとめ、基礎・基本の確実な定着、学習習慣の定着化などについて協議できるようにする。

学校訪問については、学校経営上の課題解決を支援するための「経営訪問」を1学期に、校内研修で取り組んでいる学習指導上の課題解決を支援するための「要請訪問」を2学期に全小・中学校で実施する。

児童生徒に基礎・基本の確実な定着を図るために、標準学力検査を実施し、結果等を分析し授業改善の方策を具体化して、実際の指導に役立てる。また、小学校国語・算数、中学校国語・数学・英語では、「学力向上プリント」を授業や家庭学習等で活用していく。

## 学校・幼稚園訪問

### 1 趣 旨

学習指導要領・幼稚園教育要領、群馬県教育委員会の「学校教育の指針」、本市教育委員会の「学校教育方針」及び「伊勢崎学校教育構想2018」に基づいた学校・幼稚園経営、教育課程の編成実施、教職員の指導力の向上、学力向上、生徒指導等の改善・充実を図るために、事務局職員等が学校・幼稚園に直接出向いて指導援助に当たる。

### 2 各訪問の概要

#### <小・中・中等教育学校>

##### (1) 経営訪問(1学期)

学習指導要領や「伊勢崎学校教育構想2018」に基づいた学校経営(教育課程の編成・実施、学力向上、学習指導、生徒指導等を含む)上の課題やその解決策等について協議を行う。

##### (2) 要請訪問

学習指導上の課題解決のための援助を中心に、校内研修、指定研修への対応、授業研究等、学校からの要請により、関係職員を派遣して研究協議を行う。

#### <幼稚園>

##### (1) 幼稚園訪問(1・2学期)

幼稚園教育要領や「伊勢崎学校教育構想2018」に基づいた幼稚園経営(教育課程の編成・実施、園

内研修) 上の課題やその解決策等について協議を行うとともに、園内研修の課題を踏まえて、指導力向上のための保育参観及び研究協議を行う。

## (2) 要請訪問

幼稚園経営の課題解決のための援助を中心に、園内研修、指定研修への対応、保育研究等、園からの要請により、関係職員を派遣して研究協議を行う。

# 進路指導

子どもに自らの進路を切り開こうとする意欲や態度を育てるためには、学校と家庭・地域社会が連携し、子ども一人一人の能力・適性を多面的に捉え、個性を伸ばす進路指導を行うことが大切である。また、子ども自身が、将来の生き方を自己の意志で選択し、自分で選んだ生き方については自分自身で責任をとることができる資質や能力を身に付けられるよう、学校の教育活動全体を通して指導・支援する必要がある。

そのために、小学校では、児童が将来への夢や職業へのあこがれをもてるよう、進路に関する学習を意図的・計画的に行うなど、小学校段階における望ましい勤労観の育成に努めている。中学校では、学級活動における進路学習と各種職場体験事業などの啓発的活動との関連を図りながら、望ましい勤労観や職業観の育成に努めている。

また、夢や希望を抱き、その実現に向けて挑戦する意欲や態度を「未来力」と規定し、子どもの「未来力」を高めるために、企業や大学をはじめ、地域で活躍する人が人間の生き方や社会のしくみ等を教える「『未来力』学習講座」を、小中9年間の全学年において実施する。

# 人権教育

本市では、多様化する人権問題の解決を図るため、市人権教育方針に基づいて、学校における人権教育の一層の改善と充実に努めている。

## 1 基本方針

- (1) 人権教育とは、人権を相互に尊重し合う人権共存の考え方を理念とし、人権という普遍的文化を構築するための教育活動であり、日常的・体験的な活動を通して推進する。
- (2) 学校教育においては、子どもの発達の段階に即し、各教科の特質に応じ、全教育活動を通じて生命や人権を尊重する心や他人を思いやる心などの豊かな人間性を育成するとともに、一人一人を大切にされた教育の充実に努める。
- (3) 人権教育の推進に当たっては、生涯学習の観点に立ち、地域の実態に即して積極的に推進されるよう努めるとともに、公教育としての主体性を守り、関係諸機関・団体との連携を図り総合的に推進する。

## 2 取組の概要

本市では、人権尊重の精神に基づいた教育行政を行うとともに、「伊勢崎学校教育構想2018」の3つの教育プランとして「市民性育成プラン」、「21世紀型学力向上プラン」、「地域と世界をつなぐ人材育成プラン」を位置付けている。そして、小中学校が連携した9年間の一貫教育を実施することにより、学校と家庭、地域社会が協働して、子どもたちの豊かな心の育成に取り組んでいる。また、講演会等を開催し、教師の人権意識の高揚と指導力の向上を図っている。

各学校・園においても創意工夫ある人権教育を推進するため、人権教育全体計画、推進計画及び年間指導計画の改善を図り、互いの人権を尊重し、望ましい人間関係を確立できる子どもの育成を目指している。さらに、教師自身も地域の人権教育・啓発に関する社会教育活動に参加し、自らの人権意識の高揚を図るとともに、学校・学年・学級通信や授業公開、懇談会等を通して、保護者や地域住民への啓発活動を行うよう努めている。

なお、各学校・園においては、人権に関わる講演会や校長講話、ビデオ視聴、人権標語やポスターの作成、いじめに関するアンケートや友だちの良さや頑張りを認め合う活動、老人ホームへの訪問、外国籍児童や特別支援学校との交流や車いす体験など、子どもの発達の段階に即した創意工夫ある様々な人権教育を推進している。

## 環境教育

環境を大切にすると実践力を育てる環境教育を推進するため、各学校において、伊勢崎市クリーン作戦やリサイクル活動を実施したり、省エネルギーや資源の有効利用に取り組んだりするなど、環境保全を尊重する心と循環型社会づくりに向けた実践力の育成に努めている。

平成 24 年度には、ビオトープによる環境学習で「群馬県環境功績賞」を赤堀東小学校が受賞している。また、平成 26 年度には、きれいな学校づくりで「第 7 回群馬銀行環境財団教育賞特別賞」を宮郷第二小学校、平成 27 年度には、環境保護活動で「第 8 回群馬銀行環境財団教育賞最優秀賞」を第一中学校、平成 28 年度には、花いっぱい活動で「第 9 回群馬銀行環境財団教育賞特別賞」を第四中学校特別支援学級 8 組が受賞している。

学習環境の改善や心の教育推進のために、環境教育の一環として牛乳パックリサイクルやグリーンカーテンなどのエコ活動に子どもたちとともに取り組んでいく。

また、総合的な学習の時間における児童生徒の主体的な環境に関する追求活動をはじめ、それぞれの学校が家庭や地域とともに、連携しながら特色ある活動を行っていく。

## 情報教育

将来の高度情報通信ネットワーク社会において、子どもたちが主体的に対応できるよう必要な資質を養うことや情報機器を自他の生活の向上に適切に利用することなど、情報社会に適切に対応していくことは今日の重要な課題となっている。

本市では、情報教育指導体制を充実させ、効果的な ICT (Information and Communication Technology) 機器（電子黒板や教育コンテンツ、ネットワーク等）の活用などにより、子どもたちの情報活用能力を育成し、考え表現する活動の充実と共に、論理的思考力や創造力の伸長を図る。また、道徳や各教科等の年間指導計画に情報モラル育成のための授業を系統的に位置づけ、携帯電話やパソコンなどによるインターネットや SNS の利便性や危険性の情報提供や啓発事業を行い、家庭と連携して児童生徒が安全に情報社会に参画する態度の育成を図っている。

一方、各教科等の目標を達成する際に効果的に ICT 機器を活用することについては、子どもたちの個に応じた学習や協働的な学習が行えるよう ICT 環境の整備を進めるとともに、教育研究所 ICT 活用研究班や情報教育主任会を中心に、ICT 環境整備や ICT 機器を活用した授業実践研究などの情報提供を行うことで、教員の ICT 活用能力の向上も図っていく。

また、校務の情報化や事務の効率化に向けて、タブレット型 PC の導入、PC サポーター活用の推進、校内 LAN の拡充、教員研修の実施、県総合教育センターとの連携などの事業を充実させていく。

## 特別支援教育

本市には、知的障害、自閉症・情緒障害、肢体不自由、難聴の各特別支援学級がある。それぞれの特別支援学級では、特別な教育課程を編成し、個々の児童生徒の実態に合ったきめ細かな指導ができるように配慮している。

知的障害特別支援学級は、現在、小学校 23 校、中学校 11 校に設置されている。自閉症・情緒障害特別支援学級は、小学校 23 校、中学校 10 校に、肢体不自由特別支援学級は、小学校 1 校に、また、難聴特別支援学級は、小学校 1 校に設置されている。個々の障害等の状況に応じ、知的障害が軽度の児童生徒は、主として特別支援学級に入



級しているが、中度・重度あるいは知的障害を主障害とした重複障害のある児童生徒は、県立特別支援学校に入校している。

小学校通級指導教室では、言語や情緒の面で、一部特別な支援を必要とする幼児や児童に対して指導を行っている。現在、北小学校、赤堀小学校、あずま小学校、境小学校の4校に「こども発達相談室」という名称で設置され、言語、情緒、LD・ADHDについて指導している。また、中学生を対象に、伊勢崎市教育研究所内に「中学校通級指導教室」を設置し、情緒、LD・ADHDについて指導している。

現在、各学校とも、学校長のリーダーシップの下、特別支援教育コーディネーターが中心となり、発達障害等(LD・ADHD)の理解のための研修を行ったり、校内の支援体制を整えたりするなど、関係機関との連携を深め、教育環境の整備に努めている。

平成25年度に県立移管された県立伊勢崎特別支援学校(旧市立伊勢崎養護学校)では、今まで同様に、本市における特別支援教育のセンター的役割を担う学校として、来校相談や訪問相談等の相談業務、教材開発等の支援業務、講師派遣や校内研修の参加等の研修業務も積極的に行っている。

障害のある子どもの就学に係る教育支援にあたっては、学校、幼稚園等で作成した就学に係る教育支援基礎資料を基に市教育支援委員会で審査を行っている。また就学先の決定に際しては、審査結果等の情報を本人・保護者に提供すると共に、障害の状態、本人の教育的ニーズ、本人・保護者の意見、専門の見地からの意見、学校や地域の状況等を踏まえ総合的な観点から、入級・入校等の就学及び支援方針を決定している。

## 外国語指導助手

今日、経済・社会等のグローバル化が進展する中、子どもたちが21世紀を生き抜くためには、国際的共通語である英語によるコミュニケーション能力を身に付けることが必要であり、このことは子どもたちの将来のためにも、本市の発展のためにも非常に重要な課題である。

そこで、本市では、ネイティブスピーカーである外国語指導助手の有効活用に重点を置いた施策を展開し、合計20名の外国語指導助手を市内小学校、中学校、四ツ葉学園中等教育学校に配置し、子どもたちの発達の段階に応じた英語によるコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に努めている。

### 1 市立中学校11校における英語指導

11名の外国語指導助手を各中学校に配置し、各学校の英語担当教員とのチーム・ティーチングにより、英語コミュニケーション能力を養うために、「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよく身につけさせる授業を展開している。また、通常の授業指導に加えて、英語弁論大会に向けての音声指導などの支援も行っている。日常生活や学校行事など様々な場面を通じて、生徒との会話を積極的に図りながら、生徒の英会話能力の育成を目指していく。



4技能をバランス良く身に付けさせる授業

### 2 四ツ葉学園中等教育学校における英語指導

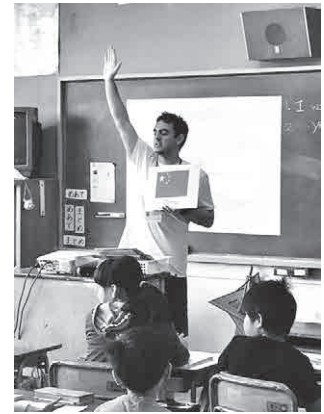
四ツ葉学園中等教育学校には3名の外国語指導助手が年間を通じて常駐し、英語担当教員とのチーム・ティーチングによる英語指導を行っている。また、部活動でも英語部の顧問として、英会話指導に継続して当たっている。これらにより、四ツ葉学園中等教育学校の生徒が、生きた英語を学べる魅力ある学校生活を送れるよう努めている。

### 3 市内小学校23校における英語指導

子どもたちが英語の授業を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けることを目指して、小学校専任6名、小中学校兼務2名、合計8名の外国語指導助手が各小学校へ週1回程度の訪問指導を行っている。

各学校の学級担任とのチーム・ティーチングでは、ネイティブな音声や英語表現に多く触れさせ、英語を使いながら活動を楽しむことに指導の中心を置いている。また、市共通のプログラムを有効活用し、英語指導の充実を図っている。

今年度は、市内全小学校にてモジュールプログラムを実施し、週2時間の英語授業を実施している。



豊かな英語体験を重視した指導

### 4 国際理解教育の推進

市内小学校・中学校・四ツ葉学園中等教育学校の児童生徒及び各学校の教職員に対して、20人の外国語指導助手が直接外国の生活や文化について伝える機会を設け、国際理解教育の推進を図っている。授業中における情報提供だけでなく、日常生活や学校行事など様々な場面を通じて、外国の言語や文化について学ぶ機会を提供している。さらに、アメリカ姉妹都市のスプリングフィールド市の学校と相互に代表が訪問し合ったり、継続的に文化交流したりするなど、国際的に開かれた学校としての取組を行うことが計画されている。また、スプリングフィールド市内にあるミズーリ州立大学で実施する海外研修へは、本市70名の中学生と120名の中等生が参加している。

## 外国籍児童生徒学校生活支援助手配置事業

### 1 趣旨

本事業は、外国籍園児児童生徒や帰国児童生徒等日本語指導が必要な園児児童生徒の学校生活を支援するために、学校生活支援助手24人を配置し、日本語の習得や日常生活習慣を中心に指導・援助を行う。

### 2 事業内容

- (1) 本事業の対象となる園児児童生徒を学校園ごとに調査・把握し、それぞれの状況に適する生活支援助手の採用及び配置に努める。ただし、本事業の対象は、市内小中学校及び幼稚園に在籍する外国籍園児児童生徒及び帰国児童生徒の中で、日本語が全く、あるいはほとんど通じない者など、学校生活への支援が必要な者とする。
- (2) 生活支援助手による指導・援助は、原則として該当校へ出向いて行うものとする。その計画は、事前に該当校園関係者と協議して決めるものとする。
- (3) 該当校園における指導・援助は、園長、校長及び関係学級担任の指導のもとに、原則として個別指導（取り出し指導）を中心に行うものとする。ただし、実情に応じて効果のある指導形態を工夫する。
- (4) 生活支援助手による訪問指導は、原則として午前4時間、午後2時間をそれぞれ単位として、週2～5回、1ヶ月を一単位の継続指導とする。また、必要に応じて延長することができるものとする。

### 3 外国籍園児児童生徒数（5月1日現在）

#### (1) 該当校数および該当園児児童生徒数

※公立学校に限る。※（ ）は内、日本語指導を必要とする数。

幼稚園	9/9園	46 ( 29)	前年比	±0園	+22(+15)名
小学校	23/23校	695 (352)		±0校	+21(+44)名
中学校	11/11校	324 ( 65)		±0校	+11(- 9)名
中等教育学校	1/ 1校	7 ( 0)			+ 1(± 0)名
合 計	44/44校園	1072 (446)			+55(+50)名

#### (2) 言語系列および国籍別園児児童生徒数【日本国籍を含む】

①ポルトガル語 [ブラジルなど]	321 (144)	前年比	+18(+18)名
②スペイン語 [ペルー・アルゼンチンなど]	349 (119)		+64(+36)名
③ベトナム語	148 ( 45)		+ 1(+13)名
④タガログ語	131 ( 62)		+ 6(± 0)名
⑤その他 [パキスタン・中国・イランなど]	143 ( 76)		-14(-17)名
合 計	1092 (446)		+75(+50)名

# 地域の教育力の活用

## 1 子どもの未来を地域とともに育てる教育の構造 ～学府制の導入による人づくり～

子どもの未来を地域とともに育てる教育をより一層推進するため、地域と学校が組織的に連携・協働する体制の整備及び中学校区内にある幼稚園、小学校、中学校の一貫した教育と連携・協働体制の整備を強化する必要がある。本市では、すでに平成29年度までに全中学校区に学校運営協議会の設置し、地域とともにある学校づくりを推進しているが、今年度より、その中学校区を学府とし、地域・家庭・学校が一体となって、ふるさと伊勢崎を担う、高い志と市民性を兼ね備えた人材の育成を目指している。

平成30年度については、境采女小学校、宮郷中学校を「学府推進重点校」に指定し、その実践の中での成果と課題をもとに平成31年度以降の取組に生かしていく。

## 2 学校支援センター制度 ～家庭と地域の力で学校教育の充実を！～

本市では、各小中学校において「学校支援センター制度」に積極的に取り組んでいる。これは学校の教職員だけを子どもたちの「先生」としてとらえるのではなく、家庭や地域の方々にも「先生」として学校における教育活動に協力していただくものであり、「地域と世界をつなぐ人材育成プラン」の取組項目のひとつである。これにより児童生徒の指導に当たる大人の数飛躍的に増加させ、学校の教育力の充実はもとより、開かれた学校運営を通じた、地域から信頼される学校づくりを大きく前進させることができた。

各学校では、教育力の充実と信頼される学校づくりの拠点として「学校支援センター」を設置するとともに、PTAや地域に「学校支援ボランティア」としての参加を呼びかけ、平成29年度の登録人数は16,216人であり、多くの方々の協力をいただくことができた。

## 3 カリキュラムパートナー制度 ～企業と大学の方で学校教育のさらなる充実を！～

企業や大学は専門性を持つ人材の宝庫で、様々な分野において最先端の取組を行っている人材がたくさんいるとともに、小中学校では考えられないような素晴らしい施設・設備を保有している。学校による活用の工夫によっては、今まで考えられなかったような大きな教育力を発揮することができる可能性がある。

このようなことから、保護者や地域の方を学校支援ボランティアとして活用する「学校支援センター制度」に加え、もう一つの地域の教育力として、企業人や大学教授・学生を外部指導者・支援者として活用する「カリキュラムパートナー制度」を平成20年度に導入し、現在、「地域と世界をつなぐ人材育成プラン」に位置付けて実践を展開している。

現在、地元伊勢崎市やその近隣に本拠地・活動拠点を置くサンデンホールディングス株式会社と株式会社草津温泉フットボールクラブ(ザスパクサツ群馬)の2企業、群馬大学教育学部・同社会情報学部や共愛学園前橋国際大学、上武大学、東京福祉大学、高崎健康福祉大学の5大学と包括的協力関係に関する協定を結んでいる。主な連携事業としては、キャリア講話、各種体験学習、学生ボランティア事業などである。なお、このカリキュラムパートナー制度をより一層円滑に推進するために、カリキュラムパートナーとの連携事業内容等について、年度途中で連絡会議を開催する予定である。

## 4 スマイルサポーター制度

本市では、学校教育をさまざまな面から支援してくれる家庭・地域や企業・大学などの地域人材をすべて「指導者」と位置付け、学校支援センターとカリキュラムパートナーの人材を合わせて「スマイルサポーター」と名付けて指導体制の改善・充実を図っている。この制度は、多様な外部人材により子どもの笑顔を引き出す教育活動の充実を図るためのものである。

これまでもカリキュラムパートナーの協力により、たくさんの外部指導者や学生ボランティアが学校に入り、「できた」「分かった」「よかった」という子どもたちが笑顔になる支援をもらった。例えば、平成29年度に小・中学校で実施した夏休み勉強塾では、東京福祉大学をはじめとする約100人を超える大学生が児童・生徒の学習支援を行ってくれた。英語活動や日本語教室においても、学生ボランティアが授業支援をしてくれた。そして、大学

の先生や企業の方から話を聞く授業では、「すごい」「分かった」「もっと知りたい」といったやる気や笑顔があちこちであふれていた。家庭・地域の外部指導者・学校支援ボランティアの授業やカリキュラムパートナー（企業・大学）の外部指導者の授業でも同様である。これらの取組を継続し、さらに充実させることをねらっている。

## 5 「未来力」学習講座 ～学習や生活の向上に自ら取り組む児童生徒の育成を！～

家庭・地域やカリキュラムパートナー（企業・大学）などのスマイルサポーターが、自己の生き方や専門分野などについて教える「未来力」学習講座を、平成23年度から小・中学校の全ての学年において実施している。これは、多種多様な外部講師とのふれあいを通して、児童生徒が夢や希望を膨らませ、それに迫るための目標に向かって努力することの大切さ、素晴らしさを感じることができるようになるものである。

例えば、憧れのサッカー選手から、成功した話だけでなく、壁にぶつかり挫折して苦しんだ話を聞く。グローバル展開している企業の方から、就職するまでの足跡や仕事上の喜びや厳しさ、現在の自分の夢やそれをかなえるために努力していることについての講話を聞く。また、生活科や社会科の現地学習でスーパーマーケットの店長さんから仕事内容の話とともに、仕事上の喜びや大変さなどの話を聞く。そうすることにより、児童生徒が、未来の自分の進路を夢や希望として考えるとともに、それをかなえるために目標をもち、自らの学習や生活の向上に日常的に取り組むようになることをねらっている。

## 6 いせさき教育アンバサダー制度

平成29年度から本市の出身または本市にゆかりがあり、様々な分野で活躍されている方々に、「いせさき教育アンバサダー」を委嘱している。

いせさき教育アンバサダーの皆様には、本市内の学校において、子どもたちを対象に特別授業や講演会をしていただいたり、各種の学校行事への協力をしていただいたりしている。また、本市教育に関するアドバイスや各種情報の提供、本市教育の魅力の紹介やイメージアップの推進等をお願いする場合もある。

社会的立場が広く認知された方々に、子どもたちが直接触れることは、子どもたちの学習への意欲を高め、将来への大きな希望や夢を持たせることに直結するものとする。平成29年度は14名の方をお願いした。平成30年度は16名の方に協力をいただくことができた。いせさき教育アンバサダーの方々への謝礼等は一切なく、アンバサダーの方々の善意で成り立っている。

## 7 教育新時代いせさきミーティング

少子高齢社会やグローバル化の進行により、社会変化の予想が困難な時代における本市教育の在り方や教育施策の具現化に向けての取組について、広い視点から検討する「教育新時代いせさきミーティング」を平成29年度から開催している。

本市教育を多面的・多角的にとらえるため、委員については、テーマに応じ、幅広い分野で活躍中の高い専門性を持つ方々である大学教授、社会教育関係者、一般企業経営者等から、人選を行っている。

本ミーティングでは、各学校において運営の中核を担う教員も参加し、本市教育の具現化に向けての各学校における取組や課題などについての議論や委員からの情報提供、本市教育の在り方についての貴重な助言をいただいている。

# 各種補助・援助

## 1 要保護及び準要保護就学援助

経済的理由によって就学困難な児童生徒に対し、就学援助として、学用品、学校給食費、修学旅行費、校外活動費、医療費等を給付し、円滑な義務教育の実施を目的として行っている。

区分	小学校			中学校		
	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)
平成29年度事業	706	47,835,142	67,755	472	60,619,066	128,430
平成30年度事業計画	712	53,950,600	75,773	362	54,881,210	151,605

## 2 特別支援教育就学奨励

小、中学校の特別支援教育の特殊事業に配慮し、特別支援学級等の就学に必要な保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を目的として、国の援助を受けて行っている。

区分	小学校			中学校		
	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)
平成29年度事業	198	5,897,978	29,787	78	3,408,548	43,699
平成30年度事業計画	263	8,660,785	32,930	115	6,202,650	53,936

## 3 幼稚園就園奨励

### (1) 私立幼稚園就園奨励費補助事業

幼稚園教育の振興充実を図るため、幼稚園に就園する3、4、5歳児及び満3歳児（満3歳に達した幼児が翌年度の4月を待たずに年度途中に入園する場合）の保護者に対し、所得に応じて国の定めた基準により保育料の減免（補助）を行っている。

平成30年度幼稚園就園奨励費補助金の保育料補助（減免）表

市民税額による階層区分		国庫補助限度額		
		第1子	第2子	第3子以降
生活保護世帯		308,000円 (308,000円)	308,000円 (308,000円)	308,000円 (308,000円)
非課税世帯		272,000円 (308,000円)	308,000円 (308,000円)	308,000円 (308,000円)
所得割非課税世帯				
所得割課税額が77,100円以下の世帯		187,200円 (272,000円)	247,000円 (308,000円)	308,000円 (308,000円)
小学校1年生から3年生までの兄・姉がいる ※1	所得割課税額が211,200円以下の世帯	0円	185,000円 (185,000円)	308,000円 (308,000円)
	上記区分以外の世帯		154,000円 (154,000円)	308,000円 (308,000円)
小学校1年生から3年生までの兄・姉がいない ※2	所得割課税額が211,200円以下の世帯	62,200円 (62,200円)	185,000円 (185,000円)	308,000円 (308,000円)
	上記区分以外の世帯	0円	154,000円 (154,000円)	308,000円 (308,000円)

※1 小学校1年生から3年生までの兄・姉から数えて対象園児が第何子かを決定します。

※2 就学前の子どもを上から数えて第何子かを決定します。（小学校4年生以上は兄・姉の人数には含まれません。）

平成 29 年度 事業実績

<私立幼稚園>補助対象者 817 人 (14 園) 補助金額 105,805,360 円

## (2) 私立幼稚園第3子以降保育料軽減事業

幼稚園就園奨励費補助金と同様に、私立幼稚園に第3子以降の子どもを就園させている世帯に対して、保育料の一部補助を行っている。ただし、就園奨励費補助金と合わせて 308,000 円を減免(補助)する。

平成 29 年度 事業実績

<私立幼稚園>補助対象者 70 人 (7 園) 補助金額 9,332,300 円

## 4 奨学金制度

本市の奨学金制度は、旧伊勢崎市、旧赤堀町、旧東村、伊勢崎佐波広域組合にあった制度を統合し、平成 17 年 1 月 1 日伊勢崎市奨学金条例が設けられた。

貸与額

区 分	金 額
高等学校 年額	120,000 円
大学 年額	300,000 円

給与額

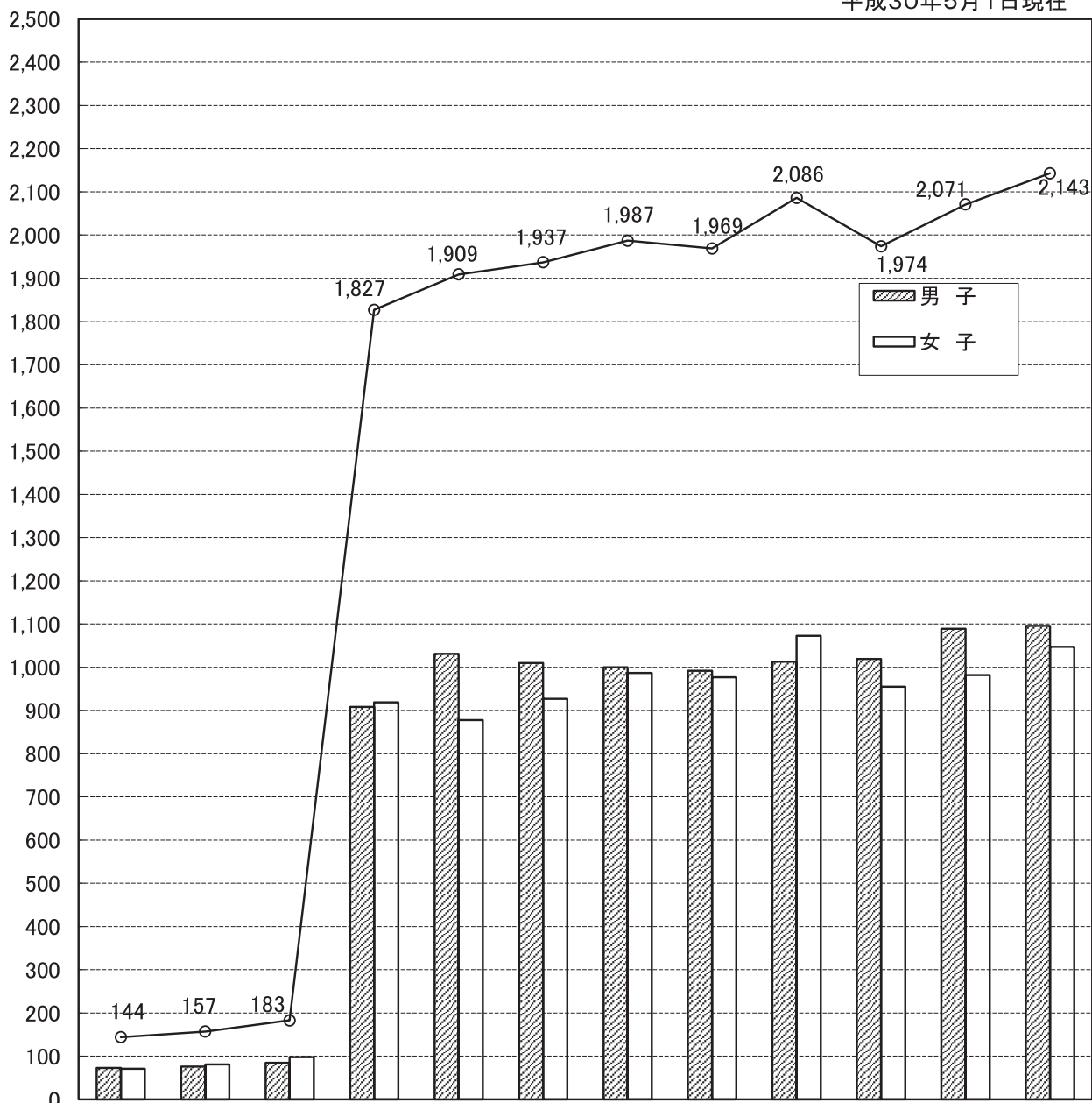
入学時給付金	30,000 円
--------	----------

貸与利用状況

	高等学校	大 学	計
平成 29 年度	0 人	13 人	13 人
平成 30 年度	0 人	15 人	15 人

# 園児・児童生徒数 学年別・男女別構成図

平成30年5月1日現在



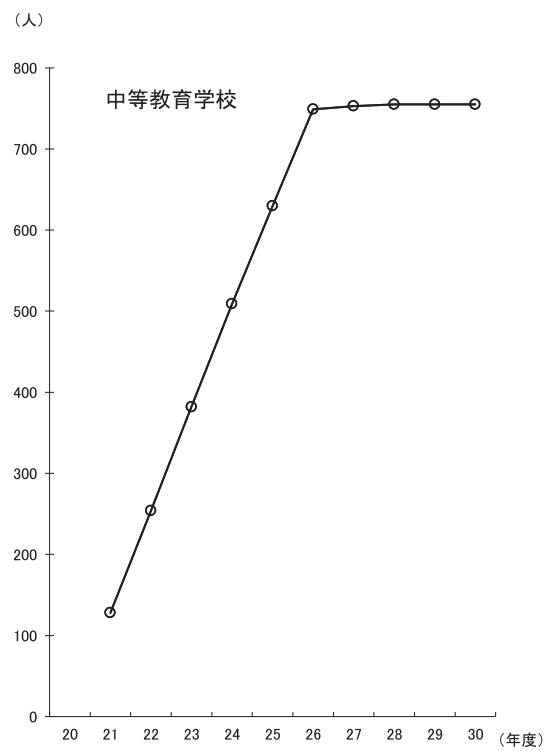
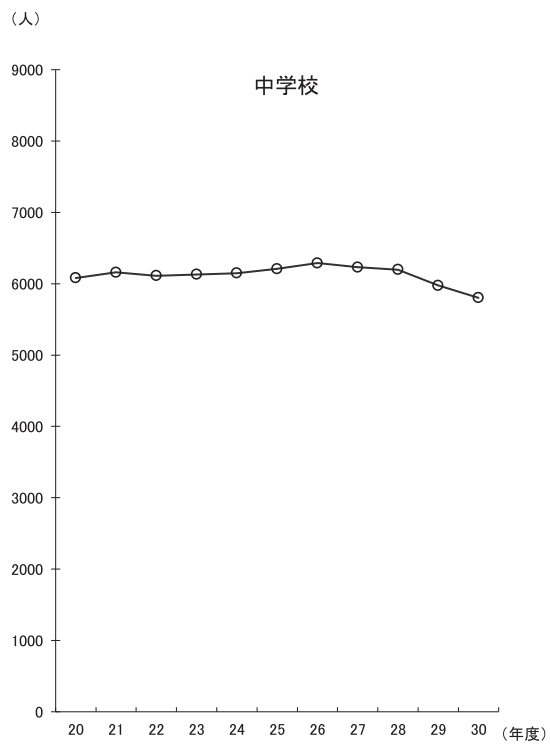
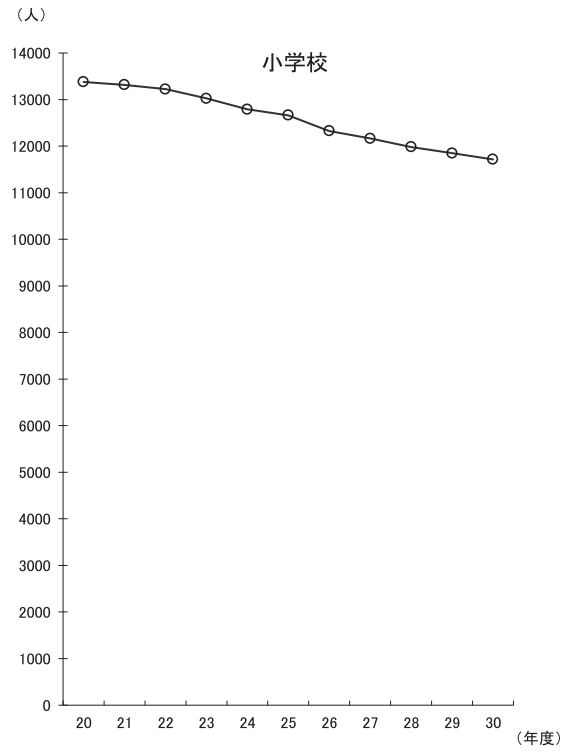
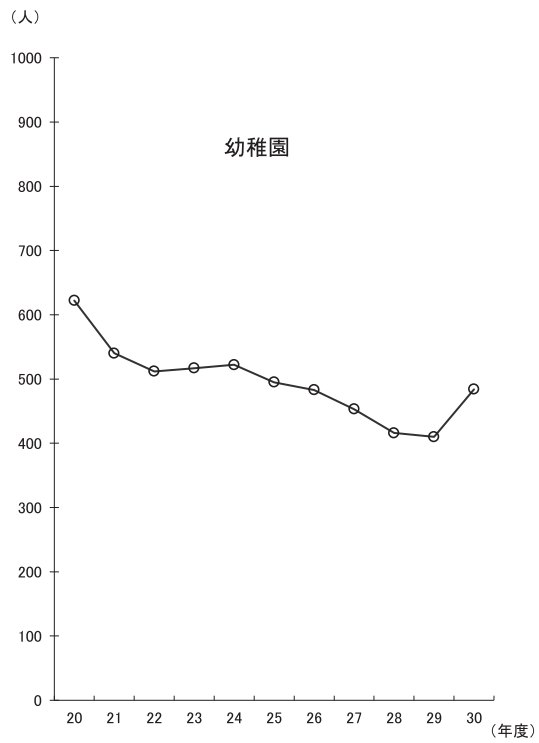
Ⅲ 学校教育

人 学年	園市 三立 歳幼 児稚	園市 四立 歳幼 児稚	園市 五立 歳幼 児稚	一 小 年 生学	二 年 生	三 年 生	四 年 生	五 年 生	六 年 生	一 中 年 生学	二 年 生	三 年 生
男子	73	76	85	908	1,031	1,010	1,000	992	1,013	1,019	1,089	1,096
女子	71	81	98	919	878	927	987	977	1,073	955	982	1,047
合計	144	157	183	1,827	1,909	1,937	1,987	1,969	2,086	1,974	2,071	2,143

※中学1年生～3年生の生徒数には、中等教育学校の1年生～3年生の生徒数を含んでいます







平成30年5月1日現在児童生徒数 男女別

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
小学校	北小	31	35	66	41	40	81	39	26	65	36	44	80	53	33	86	40	36	76	240	214	454
	南小	26	19	45	29	18	47	26	25	51	31	25	56	40	36	76	33	30	63	185	153	338
	殖蓮小	41	40	81	68	51	119	42	46	88	66	53	119	55	41	96	61	47	108	333	278	611
	茂呂小	71	61	132	74	52	126	56	72	128	66	69	135	54	67	121	54	68	122	375	389	764
	三郷小	64	62	126	56	62	118	58	48	106	55	61	116	66	62	128	43	52	95	342	347	689
	宮郷小	65	66	131	82	71	153	79	68	147	60	75	135	64	59	123	78	69	147	428	408	836
	名和小	35	31	66	43	44	87	45	34	79	38	38	76	29	32	61	38	55	93	228	234	462
	豊受小	60	42	102	41	36	77	49	35	84	53	50	103	35	44	79	48	57	105	286	264	550
	北二小	15	12	27	12	8	20	26	12	38	9	12	21	20	14	34	21	23	44	103	81	184
	殖二小	27	35	62	48	28	76	49	36	85	23	30	53	36	34	70	50	32	82	233	195	428
	広瀬小	41	30	71	38	40	78	53	45	98	42	52	94	43	47	90	45	54	99	262	268	530
	坂東小	24	36	60	42	36	78	31	48	79	46	38	84	47	45	92	40	56	96	230	259	489
	宮二小	61	56	117	58	50	108	69	56	125	62	63	125	61	74	135	74	65	139	385	364	749
	赤堀小	52	47	99	52	34	86	64	55	119	54	42	96	52	49	101	55	43	98	329	270	599
	赤南小	48	48	96	61	43	104	49	55	104	58	43	101	47	45	92	53	54	107	316	288	604
	赤東小	30	31	61	19	17	36	29	27	56	30	32	62	21	31	52	37	45	82	166	183	349
	あずま小	42	55	97	53	49	102	44	41	85	43	46	89	44	54	98	43	47	90	269	292	561
	あずま南小	47	52	99	47	48	95	57	36	93	68	40	108	54	50	104	50	63	113	323	289	612
	あずま北小	35	39	74	48	43	91	42	39	81	50	44	94	40	41	81	42	44	86	257	250	507
	境小	17	39	56	24	30	54	28	32	60	27	35	62	30	32	62	24	28	52	150	196	346
	境采女小	30	31	61	41	32	73	32	35	67	27	36	63	26	28	54	29	44	73	185	206	391
	境剛志小	23	25	48	29	22	51	23	31	54	29	30	59	40	28	68	29	36	65	173	172	345
	境東小	23	27	50	25	24	49	20	25	45	27	29	56	35	31	66	26	25	51	156	161	317
	小学計		908	919	1,827	1031	878	1,909	1010	927	1,937	1000	987	1,987	992	977	1,969	1013	1073	2,086	5,954	5,761
中学校	第一中	82	78	160	97	86	183	98	84	182									277	248	525	
	第二中	88	68	156	99	85	184	89	100	189									276	253	529	
	第三中	109	99	208	107	107	214	115	111	226									331	317	648	
	第四中	79	80	159	91	86	177	104	84	188									274	250	524	
	殖蓮中	82	70	152	111	73	184	86	99	185									279	242	521	
	宮郷中	114	143	257	128	107	235	137	99	236									379	349	728	
	赤堀中	145	110	255	131	137	268	145	144	289									421	391	812	
	あずま中	122	131	253	132	120	252	126	139	265									380	390	770	
	境北中	31	43	74	29	36	65	35	24	59									95	103	198	
	境西中	28	25	53	31	29	60	38	41	79									97	95	192	
	境南中	75	43	118	72	48	120	61	56	117									208	147	355	
	中学計		955	890	1,845	1028	914	1,942	1034	981	2,015									3,017	2,785	5,802

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
中等	四ツ葉学園	64	65	129	61	68	129	62	66	128	62	66	128	58	64	122	57	62	119	364	391	755

幼稚園

園名	3歳児			4歳児			5歳児			男計	女計	合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
第一	11	15	26	11	9	20	7	5	12	29	29	58
南				3	0	3	7	0	7	10	0	10
殖蓮	11	13		9	11	20	6	10	16	26	34	60
茂呂				2	3	5	8	9	17	10	12	22
三郷				3	5	8	7	5	12	10	10	20
宮郷	6	6		11	4	15	15	15	30	32	25	57
名和	12	12	24	11	14	25	11	13	24	34	39	73
豊受												
あかぼり幼	16	14	30	16	22	38	15	24	39	47	60	107
あずま幼	17	11		10	13	23	9	17	26	36	41	77
幼稚園計	73	71	144	76	81	157	85	98	183	234	250	484

# 学校体育保健

## 1 主要事業

### 1 体力の向上

#### (1) 指導の充実と環境づくり

各学校の体力の現状に応じて、児童生徒が自主的・継続的に体力向上に取り組めるよう指導の充実と環境づくりを図る。

#### (2) 運動部活動の充実と指導者及び選手の育成

中学校における適正な部活動運営に基づき、学校と地域・家庭、外部指導者等と積極的に連携しながら、体力や競技力の向上を図る。

### 2 健康・安全教育の推進

#### (1) 健康診断の充実と健康管理の徹底

健康診断の事前指導・事後措置を徹底し、児童生徒の健康状態を把握して、自己管理および健康の保持増進に努める。

日常の健康観察から、児童生徒の健康状態を的確に把握し健康管理に努め、心身の健康問題を抱える児童生徒に対して、迅速に健康相談を実施し問題解決にあたる。また、家庭や関係機関と連携して、感染症や食物アレルギー、熱中症等の予防対策に努める。

#### (2) 薬物乱用防止教育及び性教育に関する指導（エイズを含む）の徹底

飲酒・喫煙・薬物乱用防止に関する正しい知識理解を深め、望ましい行動選択ができるよう関係機関と連携した薬物乱用防止教育の実施に努める。

発達段階に応じた性に関する指導（エイズ含む）を実施し、自他の生命を重んじる指導の充実に努める。

#### (3) 学校保健会の充実

学校・医師会・歯科医師会・薬剤師会・保健福祉事務所との連携を深め、児童生徒の健全育成の支援を図る。

#### (4) 生活安全指導の徹底

各学校・園の部活動、クラブ活動、休憩時間等の日常生活における事故防止の徹底に努める。児童生徒が不審者等による犯罪被害に巻き込まれないよう学校・保護者・関係機関と連携し安心安全な地域づくりを進めるとともに、状況に応じた適切な行動選択ができるよう発達段階に応じた防犯学習の実施に努める。

#### (5) 交通安全に関する安全管理の徹底

伊勢崎市通学路交通安全プログラムに則り、通学路上の危険箇所を把握し、各学校・園と保護者、地域、関係各課、警察署、交通指導員、土木事務所等の連携による通学路の安全確保に努める。

交通安全については、自転車の安全利用（ヘルメット着用、一時停止励行等）の徹底を図るとともに、交通規則の厳守・励行の指導強化及び危険回避能力を育成するための安全教育の充実に努める。

#### (6) 自動体外式除細動器（AED）のメンテナンスとAED普通救命講習会の受講

全学校・園へ配備された自動体外式除細動器（AED）のバッテリーやパッド交換のメンテナンスを行う。また、定期的に教職員を対象とした普通救命講習会を開催し、AEDの使用・心肺蘇生法などの応急手当に関する知識技能の向上を図り、万一の時に備えた万全の体制を整える。

### (7) 学校安全、学校保健・学校給食の点検の徹底

学校施設の点検を例月実施して、その結果を点検集約票にまとめるとともに施設整備や遊器具の安全確保に努める。又、学校保健・学校給食については、日々の点検や学期毎の点検集約を通して、学校環境の衛生管理に努める。

## 3 食育の推進

### (1) 望ましい食習慣育成のための食育の充実

「いせさき家族で『いただきます』の日」の推進を図り、基本的な生活習慣の確立、心身の成長や健康の保持増進、家族のコミュニケーションを通じた親子の信頼関係の構築等、豊かな人間形成の基礎づくりに努める。

### (2) 食に関する指導の充実

地場産農作物を活用した給食の提供や栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導の推進を図り、食に対する興味関心を高め、児童生徒自身の食生活の見直しに努める。

## 4 学校体育・保健関係団体の充実

### (1) 小学校体育研究会の充実

児童の水泳・陸上記録会の開催とザスパクサツ群馬との体育実技講習会やなわとび指導者講習会等の実施及び研究会の充実を図る。

### (2) 中学校体育連盟の充実

春季大会、総合体育大会、新人大会の運営の充実と生徒の競技力の向上を図る。

### (3) 小・中学校体育主任会の充実

実技指導講習会により、保健体育や部活動等の指導において必要となる知識や技能を習得し、教師の指導力を高める。また、児童生徒の実態や指導の経緯についての情報交換を行い、小・中学校の連携の充実を図る。

## 5 臨海学校の充実

### (1) 集団宿泊学習の充実

海水浴の訓練、キャンプファイヤー、レクリエーション、水族博物館見学、係活動等を通して、集団行動の楽しさや秩序の大切さを指導する。

### (2) 臨海学校運営委員会・実施校合同会議の開催

臨海学校の充実、発展のために伊勢崎市・玉村町教育委員会と伊勢崎市・玉村町 28校の連携と連絡を図る。

### (3) 臨海学校指導者研修会の実施

臨海学校での安心安全な運営を図るために、入校学年の教諭等を対象とした事前の研修の充実を図る。

# 日本スポーツ振興センター

学校管理下における児童・生徒の負傷に備え、日本スポーツ振興センターに加入しております。

## 1. 月別災害発生件数（平成29年度）

（単位：件）

月 區別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
幼稚園	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5
小学校	34	39	64	25	11	37	35	48	53	15	45	28	434
中学校	32	44	55	40	32	60	35	26	36	25	35	21	441
中等教育学校	6	3	5	5	2	9	4	3	9	3	2	8	59
合計	74	87	124	70	45	106	74	77	98	44	83	57	939

## 2. 傷害発生件数（平成29年度）

（単位：件）

種別 區別	捻挫		骨折		打撲	挫傷・挫創	擦過傷	裂創・切傷	頭部外傷	脱臼	歯牙損傷	眼球外傷	その他	合計
	上肢	下肢	上肢	下肢										
幼稚園	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	5
小学校	36	67	92	33	28	68	8	9	12	1	23	28	29	434
中学校	35	76	106	39	20	42	0	7	13	5	13	20	65	441
中等教育学校	6	9	13	2	4	5	0	1	1	3	0	2	13	59
合計	77	153	211	74	52	116	8	17	26	9	36	52	108	939

## 3. 災害発生の場合別件数（平成29年度）

（単位：件）

場合別 區別	各教科		保育中	特別活動	部活動	休憩時間		始業前 授業終了後	登下校中	その他	合計
	体育	体育以外				業間	昼食時				
幼稚園	0	0	3	1	0	0	1	0	0	0	5
小学校	109	17	0	29	0	77	71	61	49	21	434
中学校	101	11	0	18	245	8	10	6	29	13	441
中等教育学校	19	0	0	2	23	2	3	1	3	6	59
合計	229	28	3	50	268	87	85	68	81	40	939

# 四ツ葉学園中等教育学校

## 1 概要

所在地 群馬県伊勢崎市上植木本町 1702 番地 1  
職員数 校長、教頭 2 人、事務長、教諭 63 人、養護教諭 2 人、事務職員 5 人 合計 74 人  
生徒数 755 人（1 年 129 人、2 年 129 人、3 年 128 人、4 年 128 人、5 年 122 人、6 年 119 人）

## 2 教育理念

未来・世界にはばたく、高い知性と道徳性を身に付けた教養人を育成する。

## 3 教育目標

教育理念の実現に向け、4 つの目標（四ツ葉）を柱に、6 年間の一貫教育を推進する。

### (1) 自 学

高い志をもち、自ら考え、真理を追求する生徒

### (2) 自 律

自由な精神のもと、自らを律し、正義を貫く生徒

### (3) 共 同

共に学び合い、共に協力し合い、創造する生徒

### (4) 共 生

博愛の精神のもと、個性を認め合い、共に磨き合える生徒

## 4 特色ある教育

### (1) 中等教育学校のメリットを最大限に活用

- ① 6 年間の一貫教育で夢と希望を実現  
○ 発達段階に応じた 3 段階の学習ステージ（「**基礎期**」「**充実期**」「**発展期**」）
- ② 高校入試の影響を受けない教育活動  
○ 継続的・効率的な学習・部活動等の実施
- ③ 中等教育学校ならではの教員配置  
○ 前期課程から義務校及び高等学校にて豊かな経験を有する教師をバランスよく配置
- ④ 上級生と下級生の交流の充実（**サポートリーダー制**）  
○ 上級生から下級生へ、学習・生活・進路面等についてアドバイスする機会を設定
- ⑤ 教育効果を高める充実した施設  
○ セミナーハウス、トレーニングルーム、進路指導室、自学室（TOEFL iBT 受験対応）など

### (2) 一人ひとりの学力を徹底的に伸ばす SUP や学習合宿

学習習慣の定着や基礎学力の養成、そして、さらなる学力向上のため、授業以外の学習時間を確保する取組として、スキルアッププログラム（**SUP**）を導入しています。具体的には、毎朝の始業前に読書などを行う「**朝 SUP**」、定期テスト前に朝や放課後に学習内容を補充する「**テスト前 SUP**」、土曜日に各教科のさらなる学力向上を図る「**土曜 SUP**」、夏季休業中に基礎学力の強化や発展的学習による学力向上を図る「**夏季 SUP**」を実施しています。

また、自律した学習者になるために必要な、自ら立てた計画に基づいた学習をやり切る力を身に付ける「**学習合宿**」を、夏季休業中に後期課程生徒を対象として実施しています。

### (3) 知的好奇心を高め、学ぶ意欲や喜びをつかみとるチャレンジ学習

伊勢崎市とカリキュラムパートナー関係にある企業及び大学や地域の方々と連携し、学校では学ぶことのできない専門的な知識や技能の習得にチャレンジする授業の実施など、特色ある教育活動を展開しながら生徒の知的好奇心を高め、学ぶ意欲や喜びを実感できるようにします。

1年生は、サンデンホールディングス株式会社と連携し、環境についての探究学習「森に学ぶ」を行います。2年生は、各大学と連携した「アカデミックキャンプ」において、「環境」「ものづくり」「伝統文化」「多文化理解」の4領域で最先端の知識・技能に触れる活動を行います。3年生は、首都圏の一流企業や官公庁を訪問する「キャリアディスカバリー」を行い、社会人としての資質の向上を図るとともに、一人ひとりの将来へのビジョンを具体化します。



### (4) グローバル社会を見据え、世界で活躍できる人材づくり



これからの世の中はグローバル化が一層進みます。子どもたちの視野を世界に広げ、国際社会で活躍のできる生徒の育成を目指します。

そこで、3年生の希望者30名は米国ミズーリ州スプリングフィールド市にある**ミズーリ州立大学（MSU）**において、2週間の語学研修を実施します。

4年生は9月に2泊3日の「**グローバルスタディーズキャンプ**」を実施し、英語のコミュニケーション能力の向上とともにグローバル化する社会に対応する資質を培います。

5年生は、ミズーリ州立大学で11日間の**海外グローバルリーダー研修**を実施します。現地でグローバルな課題（環境、貧困など）について、講義やフィールドワークを通して体験的に学びます。

6年生では、高齢化などの社会問題についてビジネスの観点から解決策を考える、「**ソーシャルビジネス**」について学習します。これらの活動を通して、生徒の英語力の向上はもちろん、視野を世界に広げ、生徒が自分の未来に、そして世界にはばたいていける教育を推進します。

## 5 行事

月別	主な行事	月別	主な行事
4月	始業式、入学式、新入生歓迎会 中体連春季大会、避難訓練	10月	中間試験、入学者選抜説明会 大学訪問(4年)、進路セミナー(2年)
5月	高校総体、中間試験、宿泊オリエンテーション(1年) 母校訪問(1年)、海外グローバルリーダー研修(5年)	11月	キャリアディスカバリー(3年)、マラソン大会 小5対象説明会、合唱コンクール
6月	学校説明会、進路セミナー(6年) 少年の主張大会、期末試験、GTEC	12月	期末試験 GTEC、冬季学習会
7月	中体連総体、非行防止教室 学習合宿、夏季SUP、進路セミナー(4・5年)	1月	センター試験、百人一首大会 入学者選抜検査
8月	海外語学研修(3年)、TOEFL iBT 夏季SUP	2月	入学予定者オリエンテーション 社会人への取材活動(2年)、期末試験
9月	アカデミックキャンプ(2年)、進路セミナー(3年) グローバルスタディーズキャンプ(4年)	3月	卒業式、関西伝統文化研修(3年) ありがとうキャンペーン、終業式



# 教育研究所

## 1 概要

- (1) 根拠条例 伊勢崎市教育研究所条例（平成 17 年 1 月 1 日条例第 95 号）  
伊勢崎市教育研究所条例施行規則（平成 17 年 1 月 1 日教育委員会規則第 28 号）

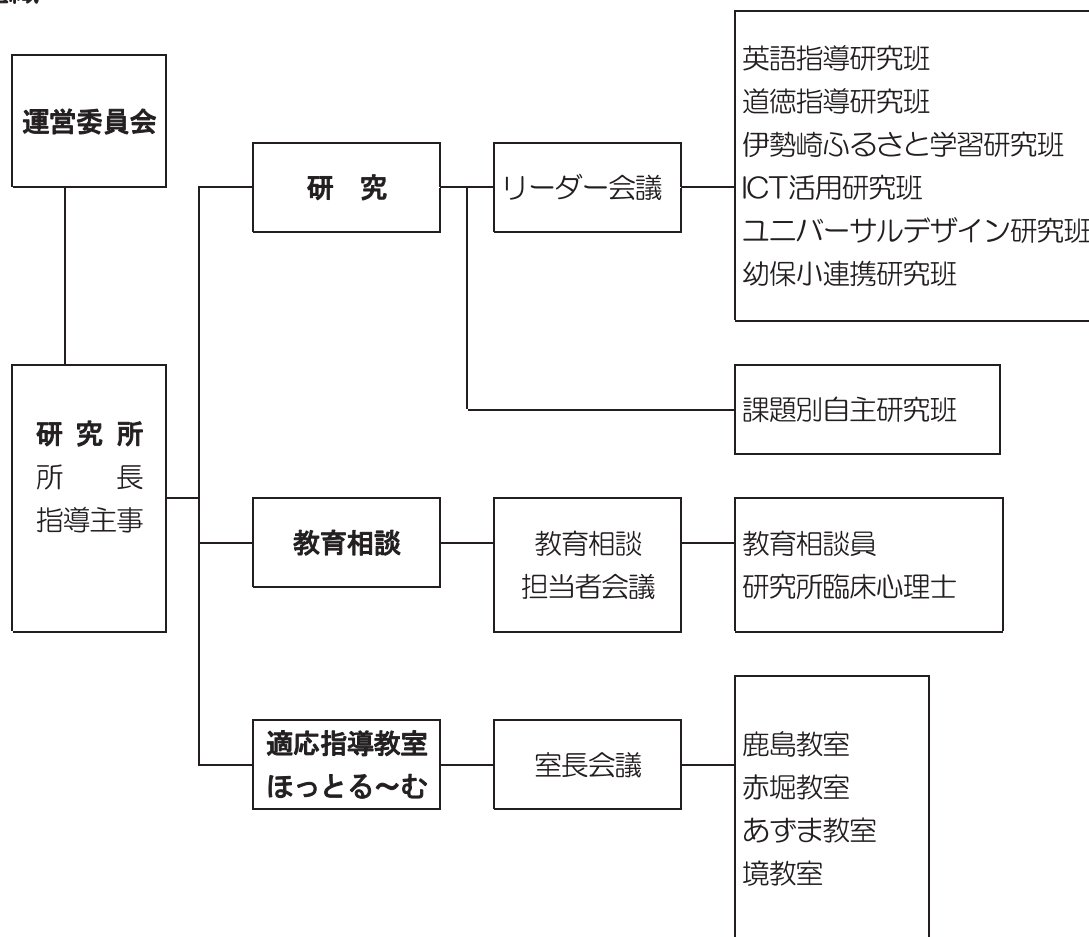
### (2) 基本方針

伊勢崎市教育行政方針を踏まえ、教職員の資質の開発、向上及び学校教育の課題解決に寄与するために、研究事業、教育相談事業、不登校対策事業、研修講座事業、教育資料提供事業を実施する。

### (3) 努力点

- ア 学校の教育課題の即時解決に向けた情報発信及び情報収集に努める。  
イ 教育相談体制の改善・充実に努める。  
ウ 不登校児童生徒の集団への適応力を培うために、体験活動を重視するなど子どもに寄り添った指導を行う。

### (4) 組織



〈運営委員会〉	小学校長顧問、中学校長顧問、幼稚園長顧問、 小学校教頭顧問、中学校教頭顧問 学校教育課長、教育企画係長、教職員係長、指導係長、管理主事、指導主事、 所長、研究所担当指導主事
〈リーダー会議〉	研究班リーダー、所長、研究所担当指導主事
〈教育相談担当者会議〉	教育相談員、研究所担当指導主事、研究所臨床心理士
〈室長会議〉	ほっとる〜む室長、所長、研究所担当指導主事、研究所臨床心理士

## 2 研究事業

### (1) 研究班

#### ア 研究テーマ

- (ア) 英語指導研究班  
「小中一貫英語力向上カリキュラムの作成（４年次）」  
～伊勢崎市・小学校英語モジュールプログラムの開発を通して～
- (イ) 道徳指導研究班  
「ともによりよく生きようとする子どもの育成」  
～道徳的価値の自覚を深める授業実践と評価を通して～
- (ウ) 伊勢崎ふるさと学習研究班  
「ふるさと伊勢崎」に誇りや愛着をもち、地域に主体的に関わろうとする児童・生徒の育成  
～「伊勢崎のよさ」を学ぶ活動を通して～
- (エ) ICT活用研究班  
「情報を主体的に収集・整理・表現し、学びを深める子どもの育成」  
～ICT機器を活用した授業実践を通して～
- (オ) ユニバーサルデザイン研究班  
「全ての子が気持ちよく過ごせる通常の学級における教育環境づくり」  
～ユニバーサルデザインを活用した指導の実践～
- (カ) 幼保小連携研究班  
「幼保・小の滑らかな接続のための指導の工夫」
- (キ) 課題別自主研究班  
日本語指導が必要な児童生徒に対する「特別の教育課程」の取組と、個に応じた指導方法について実践を通して検証する。

#### イ 研究日及び研究時間

水曜日 15:30～16:45

#### ウ 研究の報告

- 随時、教育研究班だより等により発信。
- 年度ごとに研究の記録としてまとめる。

## 3 教育相談事業

### (1) 教育研究所教育相談員による教育相談

- 学校及び「ほっとる～む」との連携に努める。
- 研究所臨床心理士と協力しながら教育相談に努める。

## 4 不登校対策事業

### (1) 「ほっとる～む」の運営

- 乗馬体験や自然体験活動等の体験活動を効果的に取り入れ、児童生徒相互のかかわり合いを深めることにより、集団に適応する力を培う。
- 研究所臨床心理士を活用し、専門家から得た助言等を指導・支援に生かす。
- 室長会議や教育相談研究協議会を定期的で開催し、「ほっとる～む」間及び「ほっとる～む」と学校との連携を図ることにより、不登校の未然防止・早期解決に努める。

### (2) サポートケース会議

- 不登校児童生徒の自立及び学校復帰にかかわる諸問題の早期解決を目指し、心療内科医師、臨床心理士、児童相談所職員等の専門家を招聘し、今後の支援等について協議する。

### (3) 教育相談研究協議会

○学校関係者との共通理解の下、以下の内容について重点的に研究協議し、不登校・いじめの未然防止、早期発見に努める。

- ・「ほっとる〜む」と学校・家庭・関係機関との具体的な連携のあり方について。
- ・不登校問題の未然防止、不登校の早期解決に向けた取り組み方について。

## 5 研修講座事業

### (1) 教育相談研修講座

- 期 日 年間計画により実施（年9回12講座程度）
- 内 容 教育相談技術初級取得並びに教育相談技術の向上のための講座
- 対 象 各幼稚園、各学校から初級未取得者1名程度

### (2) 幼保小連携研修講座

- 期 日 7月23日（月）の午後実施
- 内 容 保育に関わる教職員の資質の向上、指導方法の工夫改善・充実。  
保育と小学校の学びが滑らかに接続していける指導方法の工夫
- 対 象 市内公立教職員（市内私立幼稚園、保育所、保育園、認定こども園にも紹介）

### (3) 夏季研修講座

- 期 日 8月3日（金）実施
- 内 容 市教育課題の解決（社会で求められる能力等）
- 対 象 市内公立教職員から、教職経験年数や校務分掌に応じて2人以上の参加者を募集  
教育研究所研究員  
学校経営研修講座受講者

### (4) 伊勢崎教師塾

- 期 日 5月31日（木）、6月26日（火）、10月23日（火）、11月9日（金）、1月24日（木）  
の午後実施
- 内 容 学校教育が抱える課題と改善策をテーマに講師を招聘し、講習会を実施する。
- 対 象 各学校（園）から、自主参加者を募集（臨時含む）

### (5) 日本語指導研修講座

- 期 日 6月7日（木）、10月16日（火）の午後実施
- 内 容 外国籍児童生徒への理解を促進し、学校教育が抱える課題の解決を図るための講習会を実施する。
- 対 象 市内公立教職員から、参加者を募集（日本語教室担当者及び日本語教育研究班含む）

## 6 教育資料提供事業

- (1) 教育資料の整備・充実
- (2) 学校及び市民への情報提供

## 7 その他

- (1) 群馬県総合教育センター、群教連、関教連との連携
- (2) その他の機関との連携

# IV 学校給食



給食時食育指導の様子（北第二小学校）

# 学校給食の充実

## 1 基本方針

栄養バランスのとれた豊かな給食を提供することにより、発育期にある児童・生徒の心身の健全な発達と、健康の増進、体位の向上を図り、生涯にわたって生き生きと暮らすことができるようにすることが大切です。そのため、安心安全な学校給食を安定して提供することを心掛けています。

## 2 重点施策

### (1) 平成30年度給食実施計画

#### ア 調理場の調理食数と給食対象校

調理場	給食対象校
第一学校給食調理場 (調理食数 5,300食)	南小学校・茂呂小学校・名和小学校・豊受小学校・広瀬小学校・ 坂東小学校・特別支援学校(小学部)、第一中学校・ 第二中学校・第四中学校・特別支援学校(中学部) 10校
第二学校給食調理場 (調理食数 6,300食)	北小学校・殖蓮小学校・三郷小学校・宮郷小学校・北第二小学校・ 殖蓮第二小学校・宮郷第二小学校、 第三中学校・殖蓮中学校・宮郷中学校 10校
赤堀学校給食調理場 (調理食数 2,700食)	あかぼり幼稚園、赤堀小学校・赤堀南小学校・赤堀東小学校、 赤堀中学校 5校
あずま学校給食調理場 (調理食数 2,700食)	あずま幼稚園、あずま小学校・あずま南小学校・あずま北小学校、 あずま中学校 5校
境第一学校給食調理場 (調理食数 1,200食)	境小学校・境東小学校、 境南中学校 3校
境第二学校給食調理場 (調理食数 1,300食)	境采女小学校・境剛志小学校、 境北中学校・境西中学校 4校

#### イ 年間給食費及び徴収回数

幼稚園・小学校・小学部 年間44,400円を12回で徴収(月額3,700円)

中学校・中学部 年間53,000円を12回で徴収

(月額4,500円ただし3月分は3,500円)

学校給食に要する経費については、学校給食法において人件費、施設設備費等は設置者が負担し、食材料費は保護者が負担することとなっている。



調理の様子



場長・調理員の学校訪問  
(境剛志小学校)

ウ 給食（調理場稼働）日数 200日

## エ 栄養摂取基準量

区 分	小 学 校 (中学年)	中 学 校	1日の栄養所要量に対す る学校給食の割合 (%)
エネルギー (Kc a l)	640	820	33
たんぱく質 (g)	24	30	
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の25%~30%		
食塩相当量 (g)	2.5未満	3.0未満	33%未満
カルシウム (m g)	350	450	50
鉄 (m g)	3	4	33
マグネシウム (m g)	80	140	50
食物繊維 (g)	5.0	6.5	
亜鉛 (m g)	2	3	33
ビタミンA (μ gRE)	170	300	40
ビタミンB1(m g)	0.4	0.5	40
ビタミンB2(m g)	0.4	0.6	40
ビタミンc (m g)	20	35	33



いせさきづくしの日【献立名】  
ごはん（ミルクシーリー）、  
牛乳、くわまるのたまご焼き、  
伊勢崎ふた丼、たくわん和え  
※ふた丼には地場野菜「下植  
木ねぎ」を使用しました。

## オ 学校給食運営委員会 委員数 15人

事業計画に関する事項、学校給食費に関する事項、その他学校給食センターの運営に関し、必要な事項を審議する。会議は、年2回以上開催する。

## カ 学校給食衛生委員会

調理場の衛生管理状況を確認するため、学校給食運営委員会と兼ねて開催。  
保健所や学校薬剤師会、群馬県教育委員会など外部機関から調理場への衛生指導内容と、調理場の改善案等を審議する。

## (2) 学校給食を活用した食育指導の充実

### ア 栄養教諭、学校栄養職員による食に関する指導の実施

給食時の訪問指導をはじめ、給食だよりの配布、PTA試食会での講話、T・T授業など学校と連携した指導を実施。

### イ 学校給食年間指導計画

平成30年度の教育行政方針に基づき、学校給食の充実を図るため、学校給食年間指導計画を作成し、成長過程にある児童・生徒が、食生活の正しい理解と望ましい食習慣を身に付けられるよう、栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導を行う。

### ウ 地場産農産物を使用した給食の提供

児童生徒が地域の農業や食文化について興味や関心を持つきっかけとなるよう、学校給食では地場産農産物を積極的に使用する。

# 平成30年度 学校給食年間指導計画

月	目標	ねらい	学級訪問 放送資料 掲示物 等	献立作成		
				献立作成 の留意点	おもな行事	群馬県の伝統食 日本の郷土料理 世界の料理 リクエスト給食
4	給食について知ろう	給食時の身支度や配膳の方法、食事のマナーを知り、楽しい学校給食にする	学校給食について・入学、進級祝い・ソースカツ・千葉県	旬の食べ物	入学・進級	群-ソースカツ 郷-千葉県
5	衛生に注意しよう	正しい手洗いや身支度、食中毒予防について考える	衛生について・端午の節句・みそパン・鹿児島県・中国	日本型食生活	端午の節句	群-みそパン 郷-鹿児島県 世-中国
6	よくかんで食べよう	歯の働きについて知り、よくかんで食べることの大切さを知る	歯と口の健康週間・食育月間・混ぜごはん・静岡県・ロシア	かみごたえのある食べ物	歯と口の健康週間	群-混ぜごはん 郷-静岡県 世-ロシア
7・8	夏の健康と食生活について考えよう	夏の食事と健康について考え、暑さに負けない体をつくる	夏の食事について・七夕・沖縄県・インド	食欲増進	七夕	郷-沖縄県 世-インド いせさきづくしの日
9	食生活の見直しをしよう	朝食の大切さを知り、望ましい食習慣を身につける	鉄分について・ごまよごし・ブラジル・福井県・くわまる誕生日(9/8)、十五夜(9/24)	鉄分強化	お月見運動会	群-ごまよごし 郷-福井県 世-ブラジル
10	群馬県の食と農を知ろう	群馬県や伊勢崎市の特産物について知り、食と農に興味や関心を持つ	学校給食ぐんまの日・焼きまんじゅう・青森県	地場産物活用	学校給食ぐんまの日	群-焼きまんじゅう 郷-青森県 いせさきづくしの日
11	感謝して食べよう	食べ物の命や、給食が届くまでに関わる人へ感謝して食べ、食べ残しについて考える	食物繊維について・いせさき家族でいただきますの日・すきやき・秋田県	食物繊維強化	収穫祭	群-すきやき 郷-秋田県 リクエスト
12	冬の健康と食生活について考えよう	冬の食事を考え、寒さに負けない体をつくる	体を温める食材について・冬至・呉汁・富山県	ビタミン強化	冬至	群-呉汁 郷-富山県 いせさきづくしの日
1	給食の歴史を知ろう	給食の生い立ちと歩みを知り、給食に関心を抱く	学校給食週間・小正月・おつきりこみ・イタリア	旬の食べ物	小正月学校給食週間	群-おつきりこみ 世-イタリア
2	バランスの良い食事をしよう	バランスのよい食事について知り、好き嫌いをなく食べる	大豆・大豆製品について・節分・伊勢崎銘仙・北海道	大豆・豆製品の活用	節分	群-伊勢崎神社コロッケ 郷-北海道 リクエスト
3	1年間の給食の反省をしよう	自分の食生活を見直し、改善しようという意欲を持つ	食生活を振り返ろう・ひな祭り・卒業祝い・すいとん・新潟県	栄養バランス	ひな祭り 卒業祝い	群-すいとん 郷-新潟県

月	地場産・季節の食べもの	教科・学級活動 (食生活教材)	家庭・地域との 連携
4	～春～ みつば・春キャベツ・たけのこ・にら・ さわら・新玉ねぎ・清見オレンジ他	学活 楽しい給食が始まるよ(小1)	給食だより
5	～春～ アスパラ・たけのこ・さやえんどう・ 夏みかん・グリーンピース・あじ・かつお・ 河内晩柑・いわし他	保健 けがの防止(小5) 保健 病気の予防(小6) 家庭科 見直そう！毎日の食事(小6) 学活 望ましい食習慣を身に着けよう(中1) 学活 食の自己管理を身に着けよう(中3)	給食だより
6	～夏～ アスパラ・トマト・夏ごぼう・たまねぎ・ かぼちゃ・とうもろこし・枝豆・たこ・ 梅・さくらんぼ他	学活 おはようんち(小3) 学活 よくかんで食べよう(小4) 学活 食の自己管理能力を身に着けよう(中2)	①給食だより 「食育月間」
7・8	～夏～ ピーマン・パプリカ・いんげん・ かぼちゃ・じゃがいも・ゴーヤ・ ズッキーニ・とうもろこし・ 枝豆・なす・すいか・たこ他	保健 けんこうな生活(小3) 保健 育ちゆくわたし(小4) 学活 おいしいおやつどんな食べ方がいいのかな (小2)	給食だより
9	～初秋～ 秋なす・いわし・かつお・きのこ・ かぼちゃ・さといも・たちうお・ぶどう・ プルーン・おはぎ・なし他	社会 はたらく人とわたしたちのくらし(小3) 社会 住みよいくらしをつくる(小4) 学活 やさいとなかよし(小2) 学活 一日のスタートは朝ごはんから(小5)	給食だより
10	～秋～ さつまいも・きのこ・ごぼう・ぎんなん・ ちんげんさい・れんこん・さといも・栗・ さんま・さけ・さば・柿・りんご他	家庭科 まかせてね！きょうのごはん(小6) 学活 家庭や地域に伝わる料理を大切にしよう(小4) 学活 郷土料理を知ろう(中2)	②給食だより 『学校給食ぐん まの日』
11	～秋～ さつまいも・さといも・ごぼう・きのこ・ さけ・さば・ほっけ・りんご他	国語 すがたを変える大豆(小3) 国語 アップとルーズ(小4) 学活 元気のひみつはなあに？(小1)	③給食だより 『感謝して食べよう・ いせさき家族でいた だきますの日』
12	～冬～ ほうれん草・小松菜・白菜・ ブロッコリー・下植木ねぎ・春菊・ ごぼう・かぶ・ぶり・みかん他	学活 健康を考えたおやつ(小6)	給食だより
1	～冬～ ほうれん草・小松菜・白菜・ねぎ・ にんじん・ブロッコリー・カリフラワー・ 水菜・キャベツ・春菊・ぶり・ わかさぎ・鮭他	学活 日本食のよさをみつけよう(小5)	④給食だより 『給食の歴史を 知ろう』
2	～冬～ 大根・小松菜・菜の花・水菜・ カリフラワー・さわら・ あさり・いよかん他	学活 バランスよく食べよう(小3) 学活 どんな食べ方がいいのかな(小6)	給食だより
3	～春～ 菜の花・キャベツ・あさり・ ほたて・にしん・いちご他		給食だより



### 3 平成29年度実績

#### (1) 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導の推進

##### (ア) 給食時の指導

	調理場名	回数
1	第一学校給食調理場	168回
2	第二学校給食調理場	167回
3	赤堀学校給食調理場	192回
4	あずま学校給食調理場	198回
5	境第一学校給食調理場	83回
6	境第二学校給食調理場	57回

##### (イ) その他の指導

	主な指導内容	回数
1	学校保健委員会等における講師	43回
2	小・中学校家庭科授業等の講師	249回
3	P T A等給食試食会の講師	23回
4	P T A等給食試食会の参加者	1038人

#### (2) 地元産（伊勢崎市産）農産物を活用した給食の提供

調理場地区	平成28年度実績			平成29年度実績		
	総使用量	市内産使用量	比率	総使用量	市内産使用量	比率
伊勢崎地区	368,400kg	180,000kg	48.9%	364,100kg	180,900kg	49.7%
赤堀地区	79,300kg	32,600kg	41.0%	74,000kg	36,000kg	48.6%
東地区	82,600kg	47,500kg	57.6%	75,100kg	39,000kg	51.9%
境地区	80,000kg	36,400kg	45.4%	81,200kg	39,300kg	48.4%
全地区	610,300kg	296,500kg	48.6%	594,400kg	295,200kg	49.7%

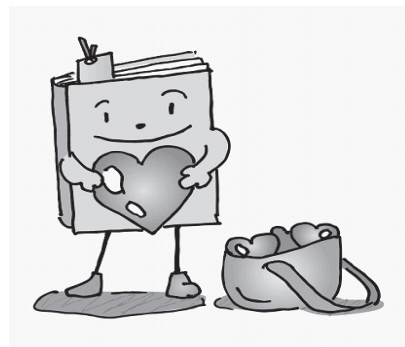


親子料理教室（南小学校）



学校給食パネル展

# V 生涯学習



読書の街いせさきイメージ  
キャラクター「ブックくん」



南小学校放課後子ども教室「静電気」

# 生涯学習の充実

## 1 基本方針

市民の多様な学習意欲に応え、市民が主体となった学習機会を支援することで、いつでもどこでもだれもが生きがいを持ち学べる環境づくりに努めます。

## 2 重点施策

### (1) 市民が主役の生涯学習の充実

- ア 学習活動の支援
- イ 学習機会の拡充
- ウ 学習環境の充実

### (2) 子どもの徳育の充実

- ア 家庭や地域との連携による心の育成
- イ 地域ぐるみの子どもの健全育成

## 3 平成29年度事業実績

### (1) 市民が主体となった学習機会の支援

#### ア 学習支援体制の整備

#### (ア)生涯学習支援事業

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習大会	<p>学びの楽しさを伝え、地域の学びの輪を広げることを目的に、市民グループによる学びの成果を活かしたステージ発表やまなびい先生の作品展示等を通して、生涯学習の推進、充実をめざす。(会場 境総合文化センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ステージ発表 各地区から選出された団体の発表と、生涯学習支援ボランティアまなびい先生の発表</li> <li>○ロビー展示・体験コーナー 生涯学習支援ボランティアまなびい先生の作品展示(書道・押し花絵・フラワーアレンジメント・パステル和アート・ローズウインドウ等)、体験コーナー(書道・押し花絵・フラワーアレンジメント等)、出前講座・まなびい先生の紹介等 茶道サークルからの抹茶サービス</li> </ul>	1月13日	市民	880人
出前講座	<p>「伊勢崎をもっと元気に、もっと豊かに、もっと安全に」のまちづくりを基調に、市民の学習活動を支援するために、市民の求めに応じて市職員を講師として派遣し、市の施策等を情報提供した。</p> <p>41課、63のメニュー、申し込み件数139件</p>	4月～3月	市民	4,995人

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習支援ボランティアまなびい先生	<p>地域で活動している人たちの知識や技術・技能を登録、データベース化し活用していくことで、「いつでも」「どこでも」「だれもが」「なんでも」教え合う市民版出前講座を開設し、市民の手による学びの輪を広げ学習機会の充実をめざした。</p> <p>まなびい先生登録者 89人 メニュー数 110件 活用件数 149件</p>	4月～3月	市 民	6,870人
	<p>楽しく学びを実践していくために、生涯学習支援ボランティアまなびい先生自らが企画し、市民へ身近な学びの場を提供する「まなびい先生自主企画事業」を開催した。</p> <p>20講座 延べ31回</p>	4月～3月	市 民	1,327人
高等教育機関との連携事業（公開講座）	<p>地域の教育的機能を持つ上武大学並びに東京福祉大学との連携を図り、市民の自己啓発を推進するための公開講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上武大学「スポーツアカデミーin JOBU」（1回）</li> <li>・東京福祉大学「心の健康と健康寿命に関する6講座」</li> </ul>	上武大学 2月18日	市 民	延べ72人
		東京福祉大学 10月7日 ～ 11月18日	市 民	述べ340人
生涯学習だより「まなびい」の発行	<p>編集ボランティアの協力を得て、生涯学習情報誌「まなびい」を年1回発行し、毎戸配布している。</p> <p>編集ボランティア 6人 編集会議 6回</p>	発行日 3月16日	市 民	発行部数 80,400部



まなびい先生「ウクレレ演奏」



出前講座「認知症を理解しよう」

## イ 公民館による学習機会の提供

市民にとってもっとも身近な社会教育施設（生涯学習施設）として、利用者ニーズを把握しながら各種学級・講座を企画実施し、学習機会の提供を行いました。

また、生涯学習ボランティアなど地域活動サークルの育成や各種行政団体等との連携を行いました。

### (ア) 公民館運営審議会

社会教育法第 29 条に基づく公民館運営審議会を設置し、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議を行った。

◆構成メンバー 学校教育関係者 1 人、社会教育関係者 21 人、家庭教育の向上に資する活動を行なう者 3 人、学識経験者 5 人の計 30 人

◆開催回数 4 回

### (イ) 公民館による学級・講座開設

事業名	主な内容	参加者数	実施公民館
セカンドライフセミナー	急激に変化する社会の中で、高齢者が豊かで生きがいのある生活を過ごすための学習。(料理教室・輪投げ教室等)	2,164 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境島村、境東
女性学級	女性としての視野を広め、社会における役割を考える。(ビーズアクセサリー教室・フラワーアレンジメント教室等)	1,564 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
家庭教育学級	幼稚園児、小中学校の児童生徒の親を対象に、心身ともに健康な子どもの育成を目指して、子どもの育て方、親のあり方を学ぶ。(親子体操教室・読み聞かせ教室等)	4,933 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
市民講座	多角的な視点からの学習を通して、総合的な教養と学習意欲の充実を図る。(文化歴史散歩・手話教室等)	4,953 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
子どもクラブ	様々な活動を通して、子ども達の自主性、社会性を養う。(子ども農業体験・川遊び体験・囲碁入門教室等)	3,188 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
健康促進講座	スポーツ等を通して地域住民の交流と健康増進を図る。(スポーツ吹矢教室・ウォーキング教室等)	1,834 人	北、南、殖蓮、茂呂、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
I T 講習	I T 社会に住民が十分対応できるよう基礎技能を修得する。(ワード、エクセル講座・タブレット体験講座等)	2,059 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東

## (ウ) 地域団体等との連携

各公民館が地域の各種行政団体、青少年育成関係団体、社会体育関係団体と連携を図り、納涼祭や文化祭、運動会等、地域住民の交流を支援し、地域づくり、ふるさとづくりの推進に努めました。

## (工) 公民館の利用状況

公民館名	公民館事業		サークル支援事業			各種団体事業		計	
	主催・共催事業 (学級・講座)		サークル活動			各種団体活動			
	開催 件数	参加 者数	サー クル 数	利用 件数	利用 者数	利用 件数	利用 者数	開催 ・ 利用 件数	参加 ・ 利用 者数
北	件 69	人 1,907	団体 66	件 1,886	人 24,335	件 159	人 4,914	件 2,114	人 31,156
南	65	1,020	40	986	15,797	229	4,358	1,280	21,175
殖蓮	97	2,545	63	1,560	25,396	385	14,987	2,042	42,928
茂呂	81	1,722	40	947	12,309	280	13,488	1,308	27,519
三郷	63	1,245	49	1,334	16,971	348	7,820	1,745	26,036
宮郷	84	1,590	63	1,911	23,777	478	21,422	2,473	46,789
名和	73	1,205	39	1,185	11,327	285	13,139	1,543	25,671
豊受	53	1,199	39	1,491	20,055	238	11,820	1,782	33,074
赤堀	128	3,013	53	1,274	11,461	1,553	25,135	2,955	39,609
あずま	185	3,866	91	2,344	26,116	492	22,636	3,021	52,618
境	19	333	72	2,088	22,576	269	6,346	2,376	29,255
境采女	33	702	24	715	6,484	113	4,019	861	11,205
境剛志	38	659	33	895	10,548	150	5,001	1,083	16,208
境島村	36	795	15	249	2,481	90	2,313	375	5,589
境東	32	822	33	1,002	10,259	143	4,518	1,177	15,599
計	1,056	22,623	720	19,867	239,892	5,212	161,916	26,135	424,431



親子餅つき体験



スポーツ吹き矢教室

## (2) 生涯学習推進体制の整備

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習推進協議会	生涯学習の推進に関する施策について広く市民の意見を求めるとともに、生涯学習の普及を図るため。	6月30日	委員	31人
生涯学習推進協議会幹事会	推進協議会の下部組織として生涯学習に関する計画・立案及び調整を行う。	4月27日	委員	16人
生涯学習推進員	地域住民のニーズや実態に応じた生涯学習活動の世話役として区長より推薦され、その役割は行政区にある既存の生涯学習活動への支援、学習情報の提供、地域の人材発掘と活用など、地域における生涯学習のまちづくりの中心として生涯学習推進の一翼を担う。	年間	生涯学習推進員	170人
生涯学習推進員研修会	地域の学びのボランティアとして活躍する生涯学習推進員の資質の向上を目指し、上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会の委員を招いて、講演会を行い市民の自己啓発を図った。	9月23日	生涯学習推進員	80人
生涯学習推進事業	地域に根ざした生涯学習の確立を目指し、各行政区の生涯学習推進員さんを中心に、市民一人ひとりが生きがいをもって積極的に参加できる身近な学習づくりを推進するために具体的な活動を展開する。(各行政区と生涯学習推進事業委託を結び推進している)	年間	市民	170行政区
赤石楽舎活用推進事業	赤石楽舎の利用については、北小学校の児童が授業で使用したり、地域の文化・スポーツサークルの方々が、子ども達を交えた活動を行っている。 また、生涯学習支援ボランティアまなびい先生による自主企画事業「まなびい塾」や、伊勢崎燈華会、伊勢崎銘仙の日等の市民団体によるイベント会場としても活用されている。	利用者数 年間	市民 子ども	利用件数 1,496件  利用者数 94,114人
	赤石楽舎「サマーフェスタ」 七夕まつりの開催に合わせ、読書サポーターによる絵本の読み聞かせ、まゆドーム職員による体験活動、NPO法人による講座等を実施した。	サマー フェスタ 7月15日	市民	来場者300人

### (3) 社会教育の充実

充実した余暇を過ごすために、今日的な課題や社会連帯の意識の高揚、積極的な社会参加、生きがいを実現するための学習をとおして、社会の変化に対応し、心豊かな市民の育成をめざす。

#### ア 社会教育委員会議の開催

社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から選出され、社会教育に関する諸計画を立案、審議した。

委員 20人 年4回 開催

#### イ 子どもの健全育成と家庭教育の充実および地域づくりへの支援

事業名	趣旨	実施期日	対象	参加者数	
子どもの健全育成	少年の主張大会	市内中学生が日頃感じている事や夢、希望などの発表を通して社会の一員としての自覚を高めると共に少年に対する市民の理解を求める。併せて赤堀中学校吹奏楽部によるミニコンサートを実施した。	7月1日	中学生 市民	発表者 12人 参加者 347人
	放課後子ども教室推進事業	地域社会の中で、子供たちが安全で安心して、健やかに育まれるよう、そして次代を担う人材の育成のため、児童が多様な体験・活動を行うことを目的として実施した。  北小学校地区 30日間実施 南小学校地区 30日間実施 三郷小学校地区 17日間実施 名和小学校地区 30日間実施	5月～3月	対象者	児童 北小 延べ 1,186人 南小 延べ 983人 三郷小 延べ 448人 名和小 延べ 878人 教育活動推進員等 北小 延べ 190人 南小 延べ 169人 三郷小 延べ 49人 名和小 延べ 187人
	特別支援学校等青年教室	特別支援学校等卒業生の青年を対象に手をつなぐ育成会と連携を図り、社会人として自立していくための事業(ミュージックケア等)を開催した。	10月～12月	対象者	90人
	定時制教育振興事業	伊勢崎佐波地区における定時制教育の振興を図る、生徒への文化、スポーツ活動を支援した。	4月～3月	対象者	91人



事業名	趣旨	実施期日	対象	参加者数
子どもの健全育成	親子ふれあい事業 未来を担う子どもたちが心身ともに健やかに成長することを願い、スタンプラリー、家族でジャガイモ作り、子供のもりの音楽会等の親子ふれあい事業を実施した。 体験学習 65 事業 78 日間実施	4月～3月	親子	参加者 3,095 人
家庭教育振興事業	家庭教育人権教育推進委託事業 幼稚園・小中中等特別支援学校 P T A に対し、家庭教育と人権教育の推進事業を委託した。	4月～3月	幼稚園・小中中中等特別支援学校 P T A 会員	
	食育フェスタ 市 P T A 連合会の理事・女性委員会が、食育講演会や食育読み聞かせ、ミニミニお弁当作りなどを実施した。	7月2日	市内小・中学校 P T A 会員	232 人



少年の主張大会



名和小学校放課後子ども教室

## ウ 人権教育・啓発の推進

市民の人権問題に対する理解・認識をさらに深めるため、学習の場の提供を積極的に図るとともに、集会所管理運営事業のより一層の充実を図る。

### (ア) 人権教育推進委員会

人権教育及び人権啓発の積極的な推進を図り、女性、子ども、高齢者、障害者、同和関係者、外国籍の人等の様々な人権問題の解決に努めるため、伊勢崎市人権教育推進委員会を設置。

委員構成は、33 人以内 内訳は、学校教育関係者 9 人以内、P T A 会長 5 人以内、その他教育委員会が適当と認める者 10 人以内、市職員 9 人以内。

### (イ) 人権教育啓発事業

事業名	趣旨	実施期日	対象	参加者数
P T A 家庭教育人権教育推進委託事業	家庭教育の主役である P T A 会員を対象として、正しい人権教育の理解を図り「家庭における人権教育」を推進することを目的に実施する。	4月～3月	幼稚園・小中中中等教育特別支援学校 P T A 会員	

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
集会所における人権問題学習講座	市内6集会所において、人権に関するビデオの視聴や講座を延べ12回開催した。	5月～9月	市 民	288人
親子で学ぶ人権問題学習講座	夏休みに親子を対象にした人権に関するビデオの視聴を6集会所において実施した。	8月	市 民	76人
人権のまちづくり講演会	市民を対象とした啓発事業。市立境南中学校吹奏楽部による演奏や講演会等を組み合わせ実施。(会場 境総合文化センター)	8月19日	市 民	443人
地区別人権学習会	地区毎に巡回した啓発事業。人権啓発資料の紹介や講演会を行い、市民の人権意識の高揚を図る。(6地区で実施)	10月	市 民	341人
人権について考える集い(隣保館集会所事業成果発表会委託事業も同時開催)	基本的人権にかかわる人権・同和問題について、市民一人ひとりに正しい理解と認識を深めていただくために、講演会と隣保館集会所事業成果発表会を開催し、「差別のない明るい社会」を目指すものとする。 講演：「私の歩んだ道 ～私の履歴書より～」 講師：部落解放同盟群馬県連合会 書記長 平井 豊 先生	1月21日	市 民	601人
人権啓発ポスター、人権啓発標語の募集(人権啓発カレンダー作成)	小・中学生から人権啓発ポスターと人権啓発標語を募集し、子どもたちの人権に対する興味や関心を高めるとともに、その入選作等で人権啓発カレンダーを作成し、市内全校児童生徒に配布した。併せて人権啓発イベント等での作品展示を行った。	人権ポスター 7月～9月 人権標語 12月	小中学生	人権ポスター 小学生 403点 中学生 436点 人権標語 小学生 11,872点 中学生 5,736点

### (ウ) 集会所管理運営事業

運営委員会に事業運営を依頼し、人権問題ビデオ学習会や交流教室等を開き、人権問題の早期解決をめざす。

施設名	事業名					参加者数
	内容	回数	交流教室	講座数	実施回数	
今井町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	9	262	3,829人
道伝集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	3	124	720人
宮子町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	10	248	2,956人
柴町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	9	221	1,815人
連取町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	6	189	1,898人
三室町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	7	113	2,079人
総計		18		44	1,157	13,297人

※ 人権問題学習講座のうち各1回は、夏休み親子ビデオシアターとして開催した。

## 4 文化の振興と発信

### (1) 公民館文化事業の充実

#### ア 公民館サークル等作品展及び芸能発表会の開催

公民館利用サークルを中心とした地区の文化活動の成果を公開することにより、広く市民に対して公民館活動の認識を深めるとともに、より一層の公民館活動の活発化を図るため、各地区で公民館作品展及び芸能発表会を開催しました。

作品展出品数	11,283点
入場者数	14,111人
芸能発表出演者数	4,136人
入場者数	6,777人



境采女公民館文化祭

### 関連施設

#### (1) 広瀬生涯学習館

利用状況：開館日数 359日

学習館主催事業		サークル支援事業			その他		合計	
開催件数	利用者数	サークル数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	開催・利用件数	利用者数
件 0	人 0	団体 59	件 2,111	人 27,900	件 154	人 2,246	件 2,265	人 30,146

## (2) あずまホール

利用状況：開館日数 335 日

主催事業：11月23日 あずまふるさと寄席

参加者数 318 人

	利用件数 (件)	利用者数 (人)
音楽	8	696
舞踏	3	300
演芸会	3	801
大会	10	3,690
講演会	14	2,861
研修会	2	400
練習	218	6,256
準備	8	138
その他	1	0
合計	267	15,142



あずまホール

## (3) 青少年育成センター

利用状況：開館日数 335 日

	日帰り	宿泊	合計
利用件数	1,603 件	139 件	1,742 件
利用者数	26,609 人	8,572 人	35,181 人

主催事業

実施日	事業名	参加者数
5月14日	キンボール大会	14 人
8月12日～13日	夏休みおもしろ教室	41 人
11月5日	うどんづくり教室	31 人
12月10日	オープンデー	196 人
1月21日	防災体験教室	23 人
2月12日	オリジナル食器づくり教室	34 人
3月4日	ボランティア育成事業	20 人
合計		359 人



青少年育成センターの外観



うどんづくり教室

# 図 書 館

## 図書館サービスによる生涯学習の推進

伊勢崎市の図書館は、伊勢崎市図書館、赤堀図書館、あずま図書館、境図書館の4館と伊勢崎市図書館のサービスポイントである市民プラザ図書室で構成されている。

伊勢崎市図書館は、大正10年4月伊勢崎尋常高等小学校（現北小学校）の附属図書館が町立図書館として認可された。昭和11年4月に篤志寄付により校庭の一角に新築されたが、戦災により焼失した。その後再建されるが、昭和52年現在位置に新築移転した。他の3館は公民館図書室に由来する。赤堀図書館は赤堀芸術文化プラザとの複合施設として平成7年4月に開館、あずま図書館は平成11年4月に現在位置に新築開館した。境図書館は昭和38年8月旧町役場跡に開館し、敷地の寄付を受け昭和61年6月現在位置に新築移転した。平成19年4月から赤堀図書館に指定管理者が指定された。

平成23年4月機構改革により図書館課が新設され、管理係、奉仕係が設置された。また、平成29年4月より、生涯学習課から「読書の街いせさき」推進事業が移管された。

	伊勢崎市図書館	赤堀図書館	あずま図書館	境図書館
竣 工 年 月 日	昭和51年11月	平成2年9月 (平成7年4月設置)	平成11年3月	昭和61年3月
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造り	鉄筋コンクリート造り	鉄筋コンクリート造り	鉄筋コンクリート造り
敷 地 面 積	6,005.16㎡	7,308.60㎡	4,790.21㎡	4,582.81㎡
延 床 面 積	2,657.98㎡	400.50㎡	1,837.85㎡	1,433.90㎡
学 習 室	99席	コーナー	コーナー及び24席	コーナー及び講座室
調 査 相 談 室	18席	コーナー	コーナー	コーナー
軽 読 書 コ ー ナ ー	有	有	有	有
新 聞 雑 誌 室	有	無	有	有
視 聴 覚 コ ー ナ ー	無	有	有	有
資 料 展 示	有	ロビー(共用)	ロビー	境絹の館
集 会 室 ・ 会 議 室	集会室約100席	会議室20席(共用)	視聴覚室約100席	講座室46席
駐 車 場	90台	105台(共用)	57台	28台

赤堀図書館は赤堀芸術文化プラザとの複合施設

### 1 基本方針

家庭、地域、学校との連携を深めながら、それぞれの図書館の特色を生かし、市民の芸術文化の高揚と生涯学習を支援する情報の発信基地として奉仕活動に努めた。

### 2 重点施策（読書の街づくりの推進）

#### (1) 豊かな心を育む読書活動の推進

- ア 読書を通し、人・文化を育む図書館
- イ 地域・市民が交流し集う図書館

#### (2) 図書館の特色を活かした事業の展開

- ア 生活・仕事の課題解決に役立ち、  
地域に生きる図書館

#### (3) 小中学校図書室との連携

- ア 図書館と学校図書室との連携促進



ブックスタート

### 3 平成29年度事業実績

#### (1) 図書館協議会

図書館協議会は、館長の諮問に対して答申を行う諮問機関である。定員は10人で、構成は学校教育関係者1人、社会教育関係者1人、家庭教育の向上に資する活動を行う者4人、学識経験者4人からなる。平成29年度は3回開催

○第1回 平成29年7月20日(木) 午前10時 伊勢崎市図書館集会室 出席委員9人

平成28年度事業報告について

平成29年度教育行政方針(図書館)について

平成29年度事業計画について

○第2回 平成29年11月17日(金) 視察研修会として実施 出席委員8人

株式会社 図書館流通センター 新座ブックナリー(埼玉県新座市野火止七丁目2番35号)を訪問し、図書の入荷・検品、在庫から図書館用図書として装備・出荷されるまでの一連の流れを視察。

○第3回 平成30年3月23日(金) 午後2時 伊勢崎市図書館集会室 出席委員7人

平成29年度事業報告について

平成30年度事業計画について

#### (2) 図書館資料の構成・貸出

##### ア 蔵書構成

購入27,002点、寄贈2,743点等の受け入れと、8,841点の除籍等を行い、全館所蔵点数は653,835点である。

一般図書の構成は、全館通して文学の割合が高く、約42%を占めている。特に境図書館で約49%と高くなっている。文学以外では、全館で社会科学が約11%と割合が高く、次いで芸術、歴史の順となっている。

児童書では、文学と絵本に重点を置いた構成となっており、合わせて約70%を占める。特に、境図書館では文学の割合が高く約36%となっている。

視聴覚資料では、全館ともビデオテープが減少し、DVDが増加している。これは利用者の映像鑑賞機器の変化に伴うものであり、蔵書についても、これらに対応した傾向となっている。

##### イ 貸出

貸出数は1,061,274点で、前年度と比較して約1.3%増加した。また、貸出人数は291,314人で、前年度と比較して約1.0%増加した。

全体として貸出数が増加した中で、70歳以上の貸出冊数が12.3%の伸びが見られた。来館者に向けた館内の企画や時季に合わせた展示等の充実、リクエスト等ニーズの把握による蔵書の充実と、それぞれの成果が現れたものであると考えられる。

市内幼稚園、保育園、放課後児童クラブ等の児童関連施設、社会福祉施設等へ向けて、図書館から図書を届ける、若しくは来館により貸し出している。今後もより多くの市民により広く図書が届くようサービスを展開していきたい。

##### ウ 学校連携

平成27年11月から小中学校へ向けて、学校支援サービスを開始した。本の提供サービスとして、児童・生徒、先生が必要とする資料を選書のあと配送し回収する。平成29年度は295回の配送を行った。学校図書室へのサービスとしては、さまざまな情報を発信しながら、学校図書室事務職員の相談に応じ、より効果的な学校図書室の運営を支えていく。学校現場に寄り添い充実したサービスとしていきたい。

また、学校における読書推進をサポートする取り組みとして、平成29年度から学校専用の「読書通帳」の配布を開始した。

##### エ 視覚障害者サービス

視覚に障害があり活字を読むことが困難な人を対象に、希望する図書等をボランティアの協力のもとに朗読テープを作成し、貸し出している。平成29年度の貸出数は、朗読テープ859点、CD192点で、利用者は延べ76人だった。

### オ 配達サービス

来館が困難である高齢者・障害者及び介護保険制度での「要支援」以上の市民を対象に、図書やCD等を自宅まで届けるサービスで、貸出期間は通常と同じ2週間である。平成29年度の貸出数は、図書1,415点、雑誌88点、CD50点で、利用者は延べ336人だった。

### カ インターネット・館内利用者端末（OPAC）予約

インターネット予約の件数は、全館で37,990件で、全予約件数の56%を占めている。また、平成27年度から館内利用者端末（OPAC※）での予約が可能となり、平成29年度は全館で9,096件の予約を受付した。

※ OPAC（Online Public Access Catalog オンライン蔵書目録）とは一般の利用者が図書館内で蔵書検索できる端末のこと

## (3) 事業報告

### ア ブックススタート

10か月児健康相談の会場で、読み聞かせをしながら赤ちゃんと保護者に絵本をプレゼントし、絵本を開く楽しい体験とともに心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動であり、ボランティアの協力を得て毎月実施した。

平成29年度は「ごぶごぶごぼごぼ」を含む2冊と、子育てアドバイス集と一緒に配布した。配布数は、伊勢崎市図書館1,596冊、赤堀図書館590冊、あずま図書館572冊、境図書館566冊の計3,324冊だった。

### イ 読み聞かせ

子どもたちに本の楽しさを知ってもらいながら図書館に親しんでもらえるように、読み聞かせボランティアを中心とした絵本・紙芝居の読み聞かせを毎月各館で行った。季節や行事などに合わせた内容が多く、12月にはクリスマス会として開催し、多数の子どもたちが参加した。年間の参加人数は、伊勢崎市図書館317人、赤堀図書館132人、あずま図書館278人、境図書館140人であった。

また、乳幼児のいる親子向けの読み聞かせの年間参加人数は、伊勢崎市図書館658人、赤堀図書館203人、あずま図書館391人、境図書館196人であった。境図書館では、夏休みに特別おはなし会として小学生の親子を対象とした「ちょっとこわ〜いおはなし会」を開催した。絵本を通して親子の触れ合い・交流の場となることを目指しており、毎回多数の親子の参加が得られた。



図書館での読み聞かせ

### ウ 親子で参加できる事業

本や図書館に触れるきっかけとなるような、親子で楽しく参加できる事業を多数実施した。

伊勢崎市図書館では、4月30日に「ぬいぐるみのおとまり会」、12月9日に「クリスマスリースととびだす絵本づくり」を開催した。

赤堀図書館では「みんなでシネマ夏休み特別映画会」、あずま図書館では子ども向けに「アニメシアター」、境図書館では「親子映画会」として映画の上映を行った。また、7月17日に「紙芝居をたのしもう」を実施した。



赤ちゃんといっしょのおはなし会

また、子どもたちに特に人気の高い人形劇は各館で実施した。伊勢崎市図書館では5月28日に

「ピノッキオの冒険」「おしゃれなカラス」、赤堀図書館では8月27日に「ねずみのすもう」「ちからもちたろう」を、あずま図書館では6月18日に「さるカニ合戦」「お買い物のできるかな」を、11月12日に「ブレーメンの音楽隊」を、境図書館では2月24日に「てぶくろをかいに」をそれぞれ上演した。

## エ いせさき学習堂・こどもいせさき学習堂

伊勢崎藩の藩校・学習堂が現在の伊勢崎市図書館付近に立地し、民間の学校である「郷学」を支援するなど江戸期の伊勢崎の教育を牽引する役割を担っていたことに因み図書館から学びを発信しようと、図書館で実施する各種講座を「いせさき学習堂」、子ども向け講座を「こどもいせさき学習堂」と冠して実施した。

### 【いせさき学習堂】

伊勢崎市図書館では、5月18日から7月13日まで初心者古文書講座（全8回）を、10月1日に文学・歴史講座「井伊直虎について」を、11月11日に講演会「文教の盛んなる、この地を於いてなし～伊勢崎の藩校学習堂と郷学に学ぶ～」を開催した。境図書館では10月27日に文学歴史散歩（栃木市）を実施した。

### 【こどもいせさき学習堂】

夏休み期間、小学生を対象とした調べ学習に各館で取り組んだ。伊勢崎市図書館では「夏休みパステル画教室」「ローズウィンドウ教室」、赤堀図書館では「万華鏡をつくってみよう」、あずま図書館では「入浴剤で飛ばすペットボトルロケット」、境図書館では「まゆクラフト」を実施した。

また、全館で「読書感想文の書き方講座」を開催した。



初心者古文書講座

## オ 一日図書館員

図書館に対する理解を深めることを目的とする事業で、夏休みを利用して伊勢崎市図書館、赤堀図書館、あずま図書館で、小学生を対象に実施した。子どもたちは、カウンターでの資料の貸出・返却処理、書架整頓、ブックカバーの装丁などの仕事を体験した。

## カ 各種講座・教室

伊勢崎市図書館では、7月9日に荻原浩著「海の見える理髪店」をテキストとした市民読書会を、また、12月17日いせさき能実行委員会による能楽講演会「能『杜若』のお話と和のおもてなし」が行われた。境図書館では毎月短歌教室及び俳句教室を開催した。また、11月7日に短歌吟行会（長野原町・沼田市）、11月15日に俳句吟行会（赤城山大沼）を実施した。

## キ 企画展示

伊勢崎市図書館では展示室で、「絵本の中の図書館展（4月22日～5月14日）」、「学習堂関連資料展（11月11日～19日の土日）」、「図書館×スゴイ人 ～伊勢崎市出身マンガ家 島田ちえ作品展～（1月13日～2月4日）」、「クイズで知ろう！いせさき銘仙（2月24日～3月11日）」や他部課と連携して「利根川上流カスリーン台風70年展」等を行った。

赤堀図書館では館内で、「図書館を使った“調べる”学習コンクール入賞作品展示（7月10日～8月24日）」、

「赤堀図書館文化祭（11月3日～23日）」、あずま図書館では特別展示室で「しかけ絵本展（4月15日～5月14日）」、境図書館では「図書館ぎやらりー」としてパッチワーク、ひょうたん工芸、こどもたちのクリスマス作品等の展示を年間通し、計12回開催し、ロビーでいせさき銘仙の日関連事業として「田島弥平と養蚕展」を行った。



クイズで知ろう！いせさき銘仙



## ク 図書館FESTIVAL

2月12日にあずま図書館、あずま公民館、あずまホールを会場に開催した。

絵本作家の宮西達也先生を講師に招き講演を行ったほか、読み聞かせ、しおり作りなどの各種体験型企画、「家族ふれあい読書新聞」の展示と交流会、図書館に関連する団体の活動紹介、リサイクル図書の配布などを実施。また、上毛かるた70周年にあたることから、共愛学園前橋国際大学の協力により「上毛かるた自由対戦」を行った。当日は約1,000人が来場した。



宮西達也先生の講演会

## ケ 朗読会・演奏会・映画会

伊勢崎市図書館では、4月9日と12月10日に合唱団コール・ルーエによる「図書館ライブ」を、11月26日に「大人のための朗読会」を、1月21日に「新春図書館寄席」を開催した。赤堀図書館では、5月13日と8月11日に大人も楽しめる読み聞かせ「ときめきブックカフェ」を、10月28日には「赤堀図書館でJAZZを聴こう！」を実施した。あずま図書館（10月22日）と伊勢崎市図書館（11月4日）で「ヘルマンハーブ演奏と読み聞かせ」を実施した。いずれも、参加した人に、本や音楽を通じてゆったりとした快適な時間を提供することができた。

また、赤堀・あずま・境図書館では、名作を選んでの映画会を計24回行った。

## コ 図書館応援団

図書館ボランティアを「図書館応援団」として広く募集し、平成29年度は伊勢崎市図書館で44名を受け入れた。図書の配架や修理、読み聞かせ、まちかど図書館の運営など図書館事業に関わるボランティア活動を行っている。また、「図書館応援団自主事業」として、読み聞かせや語りなど、ボランティアの自主企画イベントを実施した。

## カ 図書のリサイクル

各図書館では、除籍した資料や市民から寄贈された本をリサイクル図書として市内19カ所の「まちかど図書館」で利用するほか、イベント会場等で市民に無料配布し、有効活用している。配布冊数は、伊勢崎市図書館2,108冊、赤堀図書館1,208冊、あずま図書館923冊、境図書館1,511冊、まちかど図書館2,205冊であった。

## キ 施設見学・体験学習

各図書館で小学生の施設見学10校、中学生の職場体験学習（チャレンジウィーク）11校、大学のインターンシップ3校を受け入れた。

## (4) その他

### ア 寄附

境図書館へ境中三三会から視聴覚資料（音楽CD）、境ライオンズクラブからは視聴覚資料（DVD）の寄附があった。

### イ 工事等

境図書館の敷地内にある「境絹の館」の天井・空調・照明の改修工事を行い、安全かつ快適に利用できる環境を整備できた。

## (5) 境絹の館

境図書館の敷地内にあり昭和54年に寄附を受けて管理している。境図書館に拠点を置く短歌会、俳句会の会場として定期的に利用されており、図書館の行事及び展示会場としても活用した。10月28日には「秋の夜語り～絹の館でほっこりと～」の会場として、民話・昔話の語りが行われた。

また、田島弥平旧宅の世界遺産登録を機に、境地区中心街に残っている養蚕・絹織物関係施設を巡る「まちあるき」が実施された際に、見学利用を受け入れている。

なお、ここでは郷土の著名な画家金井烏洲等の作品を保存・管理し、調査研究に供している。

(参考資料)

地区別利用者及び全資料貸出

館別 区分		伊勢崎市 図書館	市民ﾌﾟﾗﾝ 図書室	赤堀図書館	あずま 図書館	境図書館	合 計	
奉仕 人口	28年度	133,211		23,142	25,817	29,460	211,630	
	29年度	133,222		23,191	26,100	29,457	211,970	
利用者 数	28年度	104,793	36,315	36,017	54,924	45,263	277,312	
	29年度	108,093	36,775	36,574	52,859	46,669	280,970	
29年度開館日数		284	335	320	285	284	—	
29年度新規登録		1,493	325	384	690	363	3,255	
全貸出 数	29 年度 個人	伊勢崎地区	352,600	117,029	23,785	53,867	46,657	593,938
		赤堀地区	6,950	297	88,239	17,312	1,134	113,932
		東地区	8,176	1,076	12,803	102,663	3,108	127,826
		境地区	9,646	8,641	720	8,582	101,485	129,074
		市外	12,297	4,853	6,769	14,122	11,531	49,572
		計	389,669	131,896	132,316	196,546	163,915	1,014,342
	団体 等	28年度	22,105	135	5,558	6,801	7,014	41,613
		29年度	25,434	198	6,805	7,462	7,033	46,932
	総計	28年度	401,076	130,487	137,277	212,850	165,264	1,046,954
		29年度	415,103	132,094	139,121	204,008	170,948	1,061,274

奉仕人口は住民基本台帳、平成28年、同29年4月1日現在による。

新規登録は市外、団体等を含む。

全貸出数の団体等は市内学校への貸出しを含む。

地区別年齢区分別利用者数・貸出数

年齢区分	伊勢崎地区		赤堀地区		東地区		境地区		市外	
	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数
70～	19,808	65,142	1,395	3,773	3,228	9,718	5,980	17,601	1,056	3,241
60～69	25,746	86,375	3,704	11,230	4,877	15,589	5,637	17,479	2,572	8,331
50～59	19,133	63,804	2,160	7,176	4,003	12,000	4,129	13,618	2,291	7,413
40～49	29,476	105,731	5,825	21,269	5,756	21,236	6,204	21,446	4,036	12,906
30～39	20,332	80,508	4,978	20,079	5,475	22,110	4,344	17,402	2,160	7,940
23～29	5,105	16,849	1,179	3,725	1,294	4,386	875	3,099	836	2,156
19～22	2,583	8,943	416	1,392	623	1,912	628	1,882	188	613
16～18	3,037	9,397	573	1,657	411	1,305	495	1,553	214	709
13～15	4,300	15,098	1,018	3,264	914	3,334	897	3,012	191	659
10～12	8,700	35,647	2,558	9,380	2,112	8,232	2,260	9,013	304	1,274
7～9	12,099	51,540	3,698	15,090	3,524	13,972	2,985	12,207	481	1,876
0～6	12,363	54,904	3,542	15,897	3,228	14,032	2,488	10,762	546	2,454
計	162,682	593,938	31,046	113,932	35,445	127,826	36,922	129,074	14,875	49,572
28年度	157,464	578,504	30,619	112,053	37,058	136,252	36,607	126,924	15,564	51,608
前年比較	5,218人	15,434点	427人	1,879点	-1,613人	-8,426点	315人	2,150点	-689人	-2,036点
	3.3%	2.7%	1.4%	1.7%	-4.4%	-6.2%	0.9%	1.7%	-4.4%	-3.9%

館別分類別個人貸出表

(単位：点)

		伊勢崎市図書館		市民ﾌﾟﾗﾝｸﾞ図書室		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		
		28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	
一般	総記	2,757	3,376	719	547	781	775	1,013	945	1,309	1,379	
	哲学	6,374	6,307	1,842	1,866	1,700	1,675	2,877	2,306	2,039	2,127	
	歴史	14,235	13,931	5,320	5,573	3,745	3,797	8,104	7,765	6,743	7,252	
	社会	16,177	15,620	3,373	3,448	3,298	3,459	5,672	5,051	4,997	5,086	
	自然	12,417	13,572	3,260	3,660	2,343	2,558	4,415	4,083	4,095	4,272	
	技術	23,571	23,691	10,324	10,014	9,624	9,637	14,627	11,948	10,176	9,499	
	産業	6,479	6,564	1,729	1,722	2,072	1,791	3,105	2,948	2,138	2,178	
	芸術	18,210	18,695	14,368	12,974	11,400	11,118	14,679	12,509	6,145	6,048	
	言語	2,060	2,342	703	722	466	491	923	888	777	758	
	文学	85,715	88,250	19,519	19,622	18,248	16,706	35,217	35,821	37,241	37,462	
	計	187,995	192,348	61,157	60,148	53,677	52,007	90,632	84,264	75,660	76,061	
	児童	総記	1,093	1,081	572	547	442	635	616	728	998	876
		哲学	1,487	1,745	673	1,025	647	833	1,033	929	517	619
		歴史	5,494	5,272	2,169	2,592	1,567	1,785	2,081	1,952	1,664	2,041
社会		1,849	1,816	561	686	655	797	599	590	973	1,024	
自然		8,093	9,648	3,487	4,281	3,555	3,769	4,355	4,406	3,277	3,192	
技術		2,789	2,888	682	747	1,606	1,694	1,773	1,604	1,232	1,400	
産業		1,069	1,181	356	358	550	513	643	613	230	194	
芸術		6,965	7,251	2,225	2,324	3,039	3,407	4,341	4,108	1,829	1,938	
言語		1,642	1,745	404	447	636	651	502	555	412	369	
文学		30,577	31,722	10,115	11,743	10,184	10,617	15,899	15,682	10,493	10,463	
絵本		58,166	63,267	22,516	21,967	25,161	25,158	37,211	36,875	22,206	25,767	
紙芝居		3,251	3,186	1,586	1,627	1,476	1,529	1,534	1,378	1,536	1,461	
計		122,475	130,802	45,346	48,344	49,518	51,388	70,587	69,420	45,367	49,344	
郷土	2,963	3,340	433	408	378	321	170	206	930	903		
大活字本	3,047	3,555	251	218	238	241	637	692	798	857		
点字	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
洋書	438	457	21	18	26	18	215	239	119	206		
その他	1	0	0	0	0	0	28	17	0	0		
合計	316,920	330,502	107,208	109,136	103,837	103,975	162,269	154,838	122,874	127,371		
雑誌	11,291	10,845	6,008	6,061	6,367	6,828	11,031	10,614	9,135	8,906		
視聴覚資料	C D	23,134	21,934	7,441	7,068	8,085	8,158	14,554	13,253	11,037	11,088	
	カセット	33	28	0	0	1	1	1	0	0	0	
	ビデオ	1,586	784	38	30	57	40	449	388	1,020	657	
	D V D	23,579	23,100	9,456	9,494	13,353	13,295	17,725	17,435	13,663	15,431	
	R O M	4	7	1	3	1	1	1	2	0	1	
	録音朗読	2,424	2,469	200	104	18	18	19	16	521	461	
	合計	50,760	48,322	17,136	16,699	21,515	21,513	32,749	31,094	26,241	27,638	
総計	378,971	389,669	130,352	131,896	131,719	132,316	206,049	196,546	158,250	163,915		

蔵書構成（平成29年度末）

（単位：点）

		伊勢崎市図書館		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		全館	
		28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
一般	総記	7,343	7,514	904	919	1,551	1,595	3,270	3,343	13,068	13,371
	哲学	7,116	7,195	1,394	1,432	2,914	3,001	2,856	2,745	14,280	14,373
	歴史	17,131	17,713	3,180	3,151	6,727	6,930	8,783	8,863	35,821	36,657
	社会科学	20,402	21,184	2,931	3,091	8,878	9,032	10,445	10,521	42,656	43,828
	自然科学	9,351	9,924	2,089	2,255	5,258	5,430	4,448	4,561	21,146	22,170
	技術	10,879	11,418	3,751	3,937	8,767	8,945	4,976	5,134	28,373	29,434
	産業	5,039	5,270	1,335	1,374	2,888	2,962	2,023	2,049	11,285	11,655
	芸術	17,067	17,648	4,184	4,330	8,967	9,060	7,540	7,569	37,758	38,607
	言語	2,890	2,999	666	672	1,179	1,206	1,167	1,196	5,902	6,073
	文学	65,406	67,779	15,733	16,202	29,633	30,718	42,179	43,339	152,951	158,038
	計	162,624	168,644	36,167	37,363	76,762	78,879	87,687	89,320	363,240	374,206
児童	総記	1,055	1,140	339	341	414	436	641	633	2,449	2,550
	哲学	778	888	238	252	263	270	361	355	1,640	1,765
	歴史	3,628	3,919	799	838	1,190	1,207	1,199	1,233	6,816	7,197
	社会科学	3,218	3,583	607	658	1,009	1,022	1,450	1,496	6,284	6,759
	自然科学	5,897	6,325	1,472	1,566	3,069	3,136	2,056	2,132	12,494	13,159
	技術	2,347	2,514	642	668	960	975	950	981	4,899	5,138
	産業	1,520	1,784	447	467	507	527	418	431	2,892	3,209
	芸術	3,454	3,675	1,022	1,056	1,587	1,611	1,016	1,054	7,079	7,396
	言語	1,151	1,278	307	327	349	360	379	397	2,186	2,362
	文学	26,846	28,058	6,439	6,380	12,379	12,697	10,492	10,737	56,156	57,872
	絵本	32,001	34,040	6,492	6,444	15,671	16,209	9,105	9,740	63,269	66,433
紙芝居	1,971	1,998	654	688	1,162	1,178	745	781	4,532	4,645	
計	83,866	89,202	19,458	19,685	38,560	39,628	28,812	29,970	170,696	178,485	
郷土	29,476	30,555	1,664	1,916	2,991	3,144	7,007	7,259	41,138	42,874	
大活字	3,022	3,091	333	348	826	856	1,273	1,301	5,454	5,596	
点字	1,052	1,052	0	0	0	0	0	0	1,052	1,052	
洋書	1,659	1,783	5	107	120	123	593	610	2,377	2,623	
その他	86	86	0	0	5	0	0	0	91	86	
合計	281,785	294,413	57,627	59,419	119,264	122,630	125,372	128,460	584,048	604,922	
雑誌	5,994	6,142	903	848	3,564	3,698	3,895	4,010	14,356	14,698	
視聴覚資料	C D	8,045	8,213	2,768	2,879	4,508	4,574	3,189	3,288	18,510	18,954
	カセット	47	53	2	2	4	4	0	0	53	59
	ビデオ	2,089	2,089	183	182	1,461	1,139	1,311	1,298	5,044	4,708
	D V D	2,850	3,054	1,417	1,504	1,583	1,613	1,574	1,662	7,424	7,833
	R O M	98	100	12	12	10	10	5	5	125	127
	録音・朗読	2,243	2,338	1	1	62	62	134	133	2,440	2,534
合計	15,372	15,847	4,383	4,580	7,628	7,402	6,213	6,386	33,596	34,215	
総計	303,151	316,402	62,913	64,847	130,456	133,730	135,480	138,856	632,000	653,835	

市民が利用する図書室の蔵書は伊勢崎市図書館を含む。

一般図書構成割合（平成29年度末）

（単位：％）

		伊勢崎市図書館		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		全館	
		28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
一般	総記	4.52	4.46	2.50	2.46	2.02	2.02	3.73	3.74	3.60	3.57
	哲学	4.38	4.27	3.85	3.83	3.80	3.80	3.26	3.07	3.93	3.84
	歴史	10.53	10.50	8.79	8.43	8.76	8.79	10.02	9.92	9.86	9.80
	社会科学	12.55	12.56	8.10	8.27	11.57	11.45	11.91	11.78	11.74	11.71
	自然科学	5.75	5.88	5.78	6.04	6.85	6.88	5.07	5.11	5.82	5.92
	工学技術	6.69	6.77	10.37	10.54	11.42	11.34	5.67	5.75	7.81	7.87
	産業	3.10	3.12	3.69	3.68	3.76	3.76	2.31	2.29	3.11	3.11
	芸術	10.49	10.46	11.57	11.59	11.68	11.49	8.60	8.47	10.39	10.32
	言語	1.78	1.78	1.84	1.80	1.54	1.53	1.33	1.34	1.62	1.62
	文学	40.22	40.19	43.50	43.36	38.60	38.94	48.10	48.52	42.11	42.23
	計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00



# VI 文化振興



市民アートフェスティバル

# 文化振興

## 1 基本方針

市民の情操をはぐくみ育てるため、文化芸術活動に関する機会の提供、各種文化団体への育成及び連携を深めるとともに、文化活動のより一層の活性化を図る。

## 2 重点施策

### (1) 文化活動への支援と機会の拡充

文化団体相互の連携を強化し、団体が行う活動への支援や文化芸術に対する理解と鑑賞力を高めることを目的とした発表会や作品展等の開催を通じ、市民文化の形成・向上を図る。

### (2) 文化の創造・育成と伝統文化の伝承

新たな文化の創造・育成と、地域の伝統文化の伝承を推進するための活動支援や人材の育成を図るとともに、世代を超えて幅広い年齢層が文化に親しむことのできる機会を拡充する。

### (3) 舞台芸術鑑賞の提供

世界並びに日本の優れた舞台芸術・公演等の鑑賞機会を市民に提供する。

### (4) 文化施設の機能の充実

地域が育んできた文化活動や伝統芸能の発表、展示を支援するために文化会館、赤堀芸術文化プラザ、境総合文化センター等の施設機能を充実させる。

## 3 平成29年度事業実績

### (1) 文化団体等への支援事業

#### ア 文化協会事業

文化協会は15部門に分かれ、文化活動の振興を図るとともに団体間の連携・交流も深めている。

月	日	事業名	内容	会場
4	2	華蔵寺公園花まつり 郷土芸能発表会	郷土芸能部門会員による発表会	華蔵寺公園 野外ステージ
	14	役員会・常任理事会	定期総会に向けて	伊勢崎市役所
5	23	定期総会	平成28年度報告 平成29年度計画	プラザ・アリア
8	30	常任理事会	賛助会員加入協力について	伊勢崎市役所
9	8~10	第11回総合作品展	美術部門会員による発表会	境総合文化センター
	10	洋舞フェスティバル2017	洋舞部門会員による発表会	
	10	第10回茶会	茶道部門会員による茶会	
11	18・19	第9回自然部門総合展	自然部門会員による作品展	境総合文化センター
	18	第11回市民音楽祭	音楽部門会員による発表会	
	19	第11回郷土芸能大会	郷土芸能部門会員による発表会	
12	7	文化いせさき編集会議	会報編集に向けて	伊勢崎市役所

2	2~4	第 11 回書道展	書道部門会員による発表会	境総合文化センター
	3	諸芸部門舞台発表会	諸芸部門会員による発表会	
	4	第 21 回歌謡部門発表会	歌謡部門会員による発表会	
	3・4	第 11 回文学祭	文学部門会員による文学祭	ふくしプラザ
	3・4	第 11 回いけばな展	華道部門会員による発表会	伊勢崎市文化会館
	22~25	第 11 回写真展	写真部門会員による写真展	
	24	第 10 回邦楽舞踊のつどい	邦楽舞踊部門会員による発表会	
	25	第 11 回吟剣詩舞の集い	吟剣詩舞部門会員による発表会	
	25	第 11 回民謡民舞発表大会	民謡民舞部門会員による発表会	

## イ 文化協会登録団体

文化協会 15 部門の内訳は以下のとおりであり、団体総数 229 団体、会員総数 7,250 人。

部 門	種 目	団 体 数	人 数	部 門	種 目	団 体 数	人 数
美 術	日 本 画	2	21	吟 剣 詩 舞	吟 詠	9	322
	洋 画	2	39		詩 舞	6	63
	工 芸	3	76		計	15	385
	そ の 他	6	135	民 謡 民 舞	民 謡	18	297
	計	13	271	郷 土 芸 能	八 木 節	18	426
書 道	か な	2	32		は や し	6	262
	漢 字	20	425		和 太 鼓	4	185
	そ の 他	2	26		獅 子 舞	3	71
	計	24	483		古 武 道	2	31
写 真	写 真	7	131	そ の 他	6	168	
華 道	華 道	2	650	計	39	1,143	
茶 道	茶 道	7	960	洋 舞	社 交	0	0
文 学	短 歌	2	37		フ ォ ー ク	1	14
	俳 句	1	27		フ ラ ダ ン ス	20	384
	川 柳	1	10		そ の 他	3	56
	そ の 他	3	86		計	24	454
	計	7	160	自 然	植 物	8	255
音 楽	合 唱	18	512		動 物	1	50
	器 楽	5	158		そ の 他	1	20
	計	23	670		計	10	325
歌 謡	歌 謡	14	754	諸 芸	将 棋 囲 碁	3	99
邦 楽 舞 踊	邦 楽	3	145		そ の 他	2	35
	邦 舞	18	288		計	5	134
	計	21	433	合 計	229	7,250	



## (2) 育成と伝承事業

### ア 「ダンピアいせさき」の普及

全員参加ができるまつりにしようと、市民が長年親しんだ曲をアレンジし、創作したダンスを多くの市民が楽しく踊って、まつりに参加してもらうため講習会を開催した。いせさきまつりでは約 800 人が本町通りを埋め尽くして踊り、各地区のまつり・納涼祭及び各種イベント等においても多くの市民が参加している。

- ・講習会及びイベント（年間）30 回、約 1,100 人が参加



いせさきまつり

### イ 市民アートフェスティバル

市内の美術愛好家の交流を図るとともに、市民の芸術文化の振興と向上を目指す観点から、市民より応募のあった日本画・洋画・書・彫刻工芸・手芸作品を境総合文化センターにて展示公開した。

・10月27日～10月30日	彫刻工芸（17点）・手芸（71点）	観覧者 690人
・11月3日～11月6日	日本画（43点）・洋画（60点）	観覧者 573人
・11月24日～11月27日	書（124点）	観覧者 677人
出品点数合計 315点		観覧者合計 1,940人



市民アートフェスティバル

### ウ インターネット美術館

市が所蔵している美術品等を市のホームページにおいて公開している。

- ・公開作品総数 347 点（福沢一郎絵画 30 点・リトグラフ 44 点、磯部草丘 53 点、森村酉三 6 点、金井烏洲 36 点、資料 178 点）

## (3) 舞台芸術鑑賞事業

### ア 伊勢崎市文化会館

実施日	公演名	入場者数
6月24日	大黒摩季 Maki Ohguro 2017 Live - STEP !!	1,413
7月29日	ワンコインコンサートV 児島響（伊勢崎市出身） ピアノリサイタル	444
8月19日	エントランスホールチャリティーコンサート アフタヌーン・サマーゴスペル	187
10月7日	KOBUDO—古武道—	250
10月14日	高中正義 TAKANAKA SUPER LIVE 2017 “渚・モデラート”	1,017
12月3日	清塚信也 ピアノリサイタル	483
2月12日	和田アキ子 50周年コンサート	1,364
3月4日	三浦文彰 ヴァイオリン・リサイタル	477

## イ 伊勢崎市境総合文化センター

実施日	公演名	入場者数
6月3日～ 8月27日	第20回伊勢崎市境演劇フェスティバル	2,470
7月1・2日	永井愛 ワークショップ	
7月9日	音楽の絵本 たてがみの騎士 ～親子のためのクラシックコンサート～	687
10月21日	第41回県民芸術祭参加事業 県民音楽のひろば 群馬交響楽団演奏会 オータムコンサート in SAKAI	422
1月27日	第13回いせさき能「杜若」	434
2月25日	伊勢崎市境ダンスフェスティバル 2018	517
3月17・18日	伊勢崎市境演劇フェスティバル 20周年記念特別公園 カジャラ#3「働けど働けど」	1,301

## ウ 伊勢崎市赤堀芸術文化プラザ

実施日	公演名	入場者数
1月21日	ケロポンズ親子コンサート	481

### (4) 文化施設の利用状況

施設名	文化会館		境総合文化センター		赤堀芸術文化プラザ	
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
	開館日数：338日		開館日数：336日		開館日数：336日	
種別	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
大ホール	238	124,079	261	52,663	196	19,274
小ホール	275	52,130	223	23,621		
ホール小計	513	176,209	484	76,284	196	19,274
会議室他	1,912	48,015	2,603	37,388	-	-
展示室他	484	50,230	357	64,076	59	1,374
室等の小計	2,396	98,245	2,960	101,464	59	1,374
合計	2,909	274,454	3,444	177,748	255	20,648

## Ⅶ 文化財保護



鶴巻古墳 あずま南小学校古墳見学

# 文化財の保護と活用

## 1 基本方針

- (1) 文化財に親しみ理解を深めてもらうために、埋蔵文化財展等の開催や歴史文化講座の充実に努めます。
- (2) 郷土の歴史や文化を次代に継承するために、先人が残した地域の歴史遺産や文化遺産など価値ある文化財を調査、保存に努めます。また、世界遺産である田島弥平旧宅周辺の整備環境に努めます。
- (3) 郷土を愛する心を育むために、地域の伝統芸能の継承活動等を支援します。

## 2 重点施策

### (1) 文化財の調査研究と情報発信

- ア 文化財普及啓発事業の推進
- イ 佐位郡衙関連遺跡の調査研究の推進
- ウ 赤堀歴史民俗資料館の充実

### (2) 文化財の保存と活用

- ア 文化財の保存管理
- イ 文化財新規指定の推進
- ウ 史跡女堀保存整備活用事業の推進
- エ 田島弥平旧宅保存整備活用事業の推進
- オ 世界遺産の環境整備
- カ 史跡上野国佐位郡正倉跡保存整備活用事業の推進

### (3) 伝統芸能などの保存と継承

- ア 有形・無形民俗文化財の保存と普及啓発事業の推進

## 3 平成29年度事業実績

### (1) 文化財保護事業

#### ア 文化財調査委員

伊勢崎市文化財保護条例により文化財調査委員を委嘱し、文化財の保存及び活用等について調査審議を行った。

委員構成：人文地理・近代史、考古学、古代史、中世史、近世史、建築学、植物学、民俗学の有識者（計8人）

任期：2年間（平成29・30年度）

開催回数：3回

第1回 7月10日（月）茂呂の屋台について、福壽院の和時計について

第2回 10月3日（火）福壽院の和時計の指定について

第3回 1月25日（木）福壽院の和時計の指定について

（2月26日（月）新規指定 伊勢崎市指定重要文化財 福壽院の和時計）

### (2) 保護管理事業

#### ア 指定文化財の保護管理

所有者又は管理団体に対して指定文化財活用管理謝礼金を交付し、見学者への説明や文化財の良好な環境維持を図った。

#### イ 説明板等の設置

市指定重要文化財「本妙寺の鬼子母神堂 附棟札」の説明板を修繕した。

## ウ 史跡上野国佐位郡正倉跡の保存活用

### (ア) 調査整備委員会

佐位郡衙関連施設の確認のための発掘調査の成果や追加指定、公有地化などについて調査整備委員7名による委員会を1回開催した。

### (イ) 確認調査

佐位郡衙関連調査として、殖蓮小学校北の正倉院北東部で発掘調査を実施した。その結果、佐位郡衙に関連すると思われる掘立柱建物跡や溝、土坑が確認された。

### (ウ) 啓発活動

発掘調査で確認された八角形倉庫の模型作製を平成28年度より行い、完成した。

### (エ) 公有地化

売却希望の民地593.87㎡を買い上げ公有地化した。また、指定の同意が得られた1,772.62㎡について追加指定を行った。

## エ 史跡女堀の保存活用

### (ア) 調査整備委員会

女堀の整備基本計画策定や木道の修繕、公有地化などについて調査整備委員5名による委員会を3回開催した。

### (イ) 啓発活動

6月10日(土)、11日(日)に開催された赤堀花しょうぶ園まつりで、発掘調査パネル展示、クイズラリー、タブレット端末での発掘調査視聴を実施し708名の参加があった。東京福祉大学と協働し、10月27日(金)に赤堀小学校6年生120名、12月5日(火)、12日(火)に赤堀小学校4年生34名を対象にICTを活用した史跡女堀の講座を実施した。

## オ 史跡田島弥平旧宅の保存活用

### (ア) 調査整備委員会の開催

別荘、冷蔵庫跡の実施設計や修繕計画、発掘調査などについて、調査整備委員7名による委員会4回と、建築学専門である委員からなる小委員会を2回開催した。

### (イ) 史跡整備の実施

史跡の外構美化、主屋北側雨樋再設置と東側物置壁面の修繕、桑場出入口雨樋設置、裏門の瓦落下防止ネット及び傾き修繕、井戸の水もれ修繕、別荘及び種蔵、桑場の環境整備を行った。また、田島弥平旧宅所蔵の史資料整理を行った。さらに、史跡の内容確認と保存整備の基礎資料を得るため、別荘及び冷蔵庫跡の発掘調査(56.82㎡)を、5月15日から7月21日まで実施した。

### (ウ) 案内所の運営

非常勤職員2名及び臨時職員4名の観光サポートをシフトにより配置し、展示の解説、DVD上映、桑場への配置、田島弥平旧宅の案内を行った。また、旧境島小学校校舎1階へ案内所が移転するため、校舎の改修工事を開始した。

### (エ) 周辺環境整備の実施

来訪者対応を図るため、仮設トイレの設置や警備員を配置して史跡周辺の環境整備を行った。

### (オ) 啓発活動

5月21日(日)に開催された「渡船フェスタ」にあわせ、主屋一階上段の間の公開やスタンプラリーなどを実施し、236名の参加があった。また、11月19日(日)に「秋の特別公開」として、上段の間の公開のほか、桑場下屋にて菊の展示などを行い311名の参加があった。さらに12月17日(日)に開催された「シルク博 in 伊勢崎」上段の間の公開や養蚕農家群散策ツアーなどを実施し、681名の参加があった。

### (カ) 公開範囲の拡張

平成28年度より公開した桑場1階に加え、毎月第3日曜日のみ主屋1階上段の間の公開を開始

した。

#### カ 指定文化財のパトロール等の実施

指定文化財の破損等の確認を実施した。

#### キ 指定文化財等の補修

- ① 国指定史跡「田島弥平旧宅」の桑場下屋雨樋及び裏門等の修繕を実施した。
- ② 市指定重要文化財「旧森村家住宅」の主屋屋根及び井戸屋根の修繕を実施した。
- ③ 県指定天然記念物「連取のマツ」は、平成21年度から保護養生事業を実施しており、殺菌剤の散布と、樹下の土壌を膨軟にして樹勢の回復を図った。
- ④ 国指定史跡「女堀」、市指定重要文化財「旧時報鐘楼」の説明板の修繕を実施した。

#### ク 資料の閲覧・撮影・掲載・借用

学術研究等を目的として閲覧2件、撮影8件、掲載28件、借用7件の申請があり許可した。

#### ケ 指定文化財の現状変更等

- ① 国指定史跡女堀は、樹木の伐採について市教委の権限で許可した。
- ② 国指定史跡田島弥平旧宅は、発掘調査に際し現状変更計画書を文化庁へ提出し許可された。また、地盤調査について、市教育委員会の権限で許可した。
- ③ 国指定史跡上野国佐位郡正倉跡は、佐位郡衙関連発掘調査に係る現状変更等許可申請書を文化庁へ提出し、許可された。また、給水排水工事及び幼稚園トイレ改修工事、木造平屋建て住宅の除去について市教委の権限で許可した。
- ④ 県指定天然記念物「連取のマツ」は、養生事業に際し現状変更等許可申請を提出し許可された。

#### コ 出土品の保存

出土遺物保存処理は、本関町古墳群8号墳出土の木製品及び鉄製品など合計9点の保存処理を行った。

#### サ 文化財の防火活動

1月20日(土)に県指定重要文化財「下植木赤城神社石造美術群」において、神社総代や地域住民、伊勢崎消防署の協力により消防訓練を実施した。また3月11日(日)に国指定史跡「田島弥平旧宅」の史跡内においても、田島弥平旧宅当主や地域住民、境消防署の協力により火災防ぎょ訓練を実施した。

### (3) 普及事業

#### ア 旧森村家住宅活用事業

月に2回一般公開を行い、「十五夜のつどい」「宮郷中学校史跡めぐり」など、来場者は1,246人であった。

#### イ はたおり体験学習事業

会場を緋の郷として、市内23校の小学校3年生1,985人の児童が参加し、織物ボランティア「織りの会」が指導を行った。5月3日(水)に華蔵寺公園花まつりにおいてはたおり体験を実施し、49名の参加があった。

#### ウ 出前講座・講演等

出前講座は「クイズで学ぶ伊勢崎の歴史」と「楽しく学ぶ伊勢崎市の古代」のメニューで実施したほか、小学生の地域学習の現地説明等を実施し、合わせて1,592人の受講があった。

#### 【講座・講演】

期 日	対象者	テーマ・内容	人数
4月15日(土)	古墳勉強会名古屋本部	お富士山古墳	11人
4月28日(金)	三郷文化財研究会	伊勢崎市の古墳時代	30人
4月28日(金)	赤堀公民館	女堀	32人

期 日	対象者	テーマ・内容	人数
5月2日(火)	三郷小学校6年生	お富士山古墳	125人
5月9日(火)	殖蓮小学校6年生	殖蓮地区の遺跡	108人
5月15日(月)	殖蓮小学校6年生	一ノ関古墳	108人
6月2日(金)	あずま南小学校6年生	鶴巻古墳	100人
6月7日(水)	伊勢崎市観光 ボランティアガイドの会	楽しく学ぶ伊勢崎市の古代 (国指定史跡「女堀」について)	31人
6月20日(火)	殖蓮小学校6年生	縄文土器作り	108人
7月13日(木)	茂呂歴史愛好会	楽しく学ぶ伊勢崎市の古代	13人
7月14日(金)	赤堀小学校6年生	縄文土器作り	110人
7月24日(月)	赤堀小学校5年生	火おこし体験	85人
7月28日(金)	伊勢崎市小学校 社会科主任会	クイズで学ぶ伊勢崎の歴史 (国指定史跡「田島弥平旧宅」について)	30人
8月2日(水)	ごうし児童クラブ	クイズで学ぶ伊勢崎の歴史	20人
9月12日(火)	豊城町生涯学習推進 協議会	楽しく学ぶ伊勢崎市の古代	50人
9月21日(木)	連取町	クイズで学ぶ伊勢崎の歴史	30人
10月26日(木)	赤堀小学校6年生	縄文土器焼き	110人
10月27日(金)	赤堀小学校6年生	公開講座(国史跡「女堀」について)	120人
11月9日(金)	宮郷中学校1年生	史跡めぐり	120人
12月2日(土)	赤堀今井町一丁目区	クイズで学ぶ伊勢崎の歴史	90人
12月5日(火) 12月12日(火)	赤堀小学校4年生	郷土学習(国指定史跡「女堀」について)	34人
1月25日(木)	伊勢崎市歯科医師会	世界遺産「田島弥平旧宅」について	30人
2月24日(土)	県立博物館友の会	よみがえる古代の役所	45人

## エ 埋蔵文化財パネル展

事業名	開催期間	会場
埋蔵文化財パネル展 「伊勢崎市の遺跡・古墳編」	10月30日(月)～11月17日(金)	市民ホール
	11月20日(月)～12月24日(日)	市民サービスセンター宮子
	1月10日(水)～1月31日(水)	赤堀歴史民俗資料館

## オ 発掘調査現地説明会

事業名	開催日	参加者数
田島弥平旧宅現地説明会	6月18日(日)	143人
下茂呂古墳群現地説明会	3月24日(土)	120人

## キ 報告書等の刊行

発掘調査報告書『史跡女堀2』、『三軒屋遺跡6』を作成した。

## ク 伝統文化親子教室事業

文化庁補助事業の「伝統文化親子教室事業」を支援した。

(対象事業)

- 子ども屋台囃子教室事業、茂呂町二丁目屋台囃子親子教室事業
- 南北千木町屋台囃子子供教室事業、子供屋台囃子教室事業
- 東新井獅子舞親子教室事業

## ケ 伊勢崎市郷土文化研究会連絡協議会



## (ア) 概要

北史談会・殖蓮史談会・茂呂歴史愛好会・三郷文化財研究会・那波郷土史研究会・境史談会の6団体で構成され、本市の文化振興と文化財愛護意識の向上を目的に、研究会や講演会等の開催、歴史民俗資料の調査保存活動を推進する。

## (イ) 活動内容

期 日	会 場	内 容
6月12日 (月)	北公民館	総会・記念講演 演題:「天明三年の浅間山大噴火 一沙降記でたどる」 講師: 関 俊明さん
10月10日 (金)	下仁田町方面	文化財視察研修「下仁田町歴史館・下仁田戦争の碑・ 里見家住宅・荒船風穴・藤井関所跡・清泉寺」
12月12日 (月)	茂呂公民館	会員研修会 演題:「茂呂歴史かるたについて」 講師: 萩原 勝久さん・石原 義司さん(茂呂歴史愛好会)

## (4) 埋蔵文化財発掘調査の概要

平成29年度の埋蔵文化財発掘調査の件数は、発掘調査(本調査)と確認調査(試掘調査)で合計67件であった。

### ア 発掘調査の種別

発掘調査(本調査)	7件	1,312 m <sup>2</sup>
確認調査(試掘調査)	60件	2,882 m <sup>2</sup>

### イ 開発に伴う埋蔵文化財包蔵地確認依頼件数

区 分	件 数	区 分	件 数
個人住宅	707	不動産取引	372
集合住宅	43	店舗	45
建売住宅	188	工場	16
鑑定評価	56	その他	233
分譲住宅地造成	58	計	1,718

## (5) 赤堀歴史民俗資料館

### ア 利用の概要

開館日数: 305日 入館者数: 5,434人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日(日)	26	26	26	23	27	27	26	27	23	23	24	27
入館者(人)	341	357	531	347	699	244	528	370	409	544	699	365

なお、資料の燻蒸期間中(7月22日~25日)は臨時休館した。

### イ 資料館運営協議会

運営協議会を設置し、資料館の運営及び事業計画等について報告協議を行った。

委員構成: 学校教育関係者1人、社会教育関係者1人、学識経験者6人 (計8人)

任 期: 2年間(平成29・30年度)

開催回数: 3回

### ウ 展示活動

#### (ア) 常設展示

- 1階展示室 発掘調査で得られた資料を年代順に展示解説(市指定重要文化財3点を含む)。
- 2階展示室 復元古民家とその内部および養蚕資料、昔の暮らし等を展示。

## (イ) 企画展

	期 間	展 示 名	観覧者数
第1回	9月23日(土)～10月29日(日)	「白黒写真に見る郷土とフィルム カメラ展」	626人
第2回	12月19日(火)～1月21日(日)	「昔ばなしの世界」	721人

## (ウ) 季節展

	期 間	展 示 名	観覧者数
第1回	4月15日(土)～5月7日(日)	端午の節供展	353人
第2回	6月24日(土)～7月9日(日)	七夕展	480人
第3回	2月3日(土)～3月4日(日)	ひなまつり展	908人

## (エ) 逸品ロビー展示

	期 間	展 示 名	観覧者数
第1回	5月20日(土)～6月11日(日)	「高札」	318人
第2回	11月23日(木)～12月3日(日)	「秤のいろいろ」	37人
第3回	3月7日(水)～4月8日(日)	「薫の民具」	217人

## エ 教育普及活動

### (ア) 情報紙とホームページ

資料館情報紙を毎月発行(第145号～第156号)し、市ホームページにも掲載した。

### (イ) 学習支援事業

保育園、幼稚園及び小学校児童や生涯学習団体等に対して、展示解説と学習支援を行った。  
のべ12校、48団体、1,128人が観覧した。

### (ウ) 子ども向けイベント

- ・「夏休みキッズデー!!」8月3日(木)～5日(土)  
348人が参加し、はたおり体験、プラ板ストラップ作り、発掘体験などで楽しんだ。
- ・「わら縄で遊んでみよう!」10月29日(日)、11月5日(日)  
赤堀自然里山クラブと共催し、170人が参加してわら縄遊びを体験した。
- ・「親子たこ作り教室」12月10日(日)  
13人が参加し、親子でたこ作りを体験した。

### (エ) 特別観覧等

学術目的の撮影、他館での展示のための借用、取材など計31件。

### (オ) 文化財普及事業

【歴史文化講座】

	期 日	テーマ	講 師	受講者数
第1回	6月24日(土)	群馬の古墳	右島 和夫さん (群馬県立歴史博物館長)	40人
第2回	7月29日(土)	祭祀・石室・鉄製品からみた伊勢崎の古墳時代	杉山 秀宏さん (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団)	46人
第3回	8月19日(土)	埴輪から見る伊勢崎市の古墳時代	横澤 真一(文化財保護課)	36人
第4回	9月9日(土)	市内文化財めぐり	資料館職員	29人

【初心者古文書講座】(伊勢崎市図書館と共催)

	期 日	内 容	受講者数
第1回	5月18日(木)	村の名前と石高	40人
第2回	5月25日(木)	村の掟と自治	39人
第3回	6月1日(木)	年貢の負担と旗本の財政	37人
第4回	6月8日(木)	人の出会いと別れ	33人
第5回	6月22日(木)	人々の動きと家の再興	37人
第6回	6月29日(木)	往来手形と旅日記	34人
第7回	7月6日(木)	村の事件簿	36人
第8回	7月13日(木)	幕末の動き	37人



史跡田島弥平旧宅「シルク博 in 伊勢崎」



史跡女堀「赤堀小学校郷土学習」



史跡田島弥平旧宅「上段の間公開」



赤堀歴史民俗資料館「昔ばなしの世界」

## 伊勢崎市の指定文化財（143件）

### 1 国指定重要文化財（4件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
1	埴輪男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
2	埴輪男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
3	埴輪男子倚像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
4	埴輪武装男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日

### 2 国指定史跡（4件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
5	女堀	1条	下触町213外	昭和58年10月27日
6	十三宝塚遺跡	1件	境伊与久	昭和63年 1月11日
7	田島弥平旧宅	1件	境島村2243	平成24年 9月19日
8	上野国佐位郡正倉跡	1件	上植木本町2763外	平成26年10月 6日

### 3 国指定天然記念物（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
9	華蔵寺のキンモクセイ	1本	華蔵寺町6	昭和12年 6月15日

### 4 県指定重要文化財（12件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
10	下植木赤城神社石造美術群	3基	宮前町1582	昭和35年 3月23日
11	天増寺宝塔	1基	昭和町1645-1	昭和35年 3月23日
12	脇差 銘 正俊	1口	今泉町二丁目938-7	昭和38年 9月 4日
13	金銅善光寺式三尊仏	3軀	稻荷町518-3	昭和43年 5月 4日
14	宮子の笠塔婆	1基	宮子町1416	昭和48年12月24日
15	絹本著色白崖宝生禪師像	1幅	柴町945(高崎市綿貫992-1)	昭和48年12月24日
16	石倉文書	1巻	三光町6-10	平成 7年 3月24日
17	相川家茶室「觴華庵」附造営文書2点「材木積り立控」 「隠宅普請入用控」	1棟	三光町6-10	平成12年 3月21日
18	お富士山古墳所在長持形石棺	1基	安堀町799	平成13年 3月23日
19	太刀 銘 備州長船実光	1口	下植木町980-54	昭和38年 9月 4日
20	長光寺懸仏	1基	境495(高崎市綿貫町992-1)	昭和33年 3月22日
21	縁切寺満徳寺文書	179点	境287(太田市徳川町385-1)	昭和36年 1月 6日

### 5 県指定重要無形民俗文化財（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
22	千本木龍頭神舞	1件	北千木町・南千木町	平成18年 3月24日

### 6 県指定史跡（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
23	金井烏洲と一族の墓	1件	境島村2344-1	昭和48年12月24日

### 7 県指定天然記念物（2件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
24	連取のマツ	1本	連取町591	昭和28年 8月25日
25	境高校のトウカエデ	1本	境492	平成 4年 5月15日

### 8 市指定重要文化財（61件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
26	同聚院の武家門	1棟	曲輪町14-15	昭和41年 4月12日
27	関重巖著「伊勢崎風土記」ほか2点	5冊	三光町6-10	昭和41年 4月12日
28	教民要旨の碑	1基	茂呂町二丁目2169-1	昭和41年 4月12日
29	上植木の建長石仏	2体	上植木本町996-5	昭和41年 4月12日
30	伊勢崎河岸の石灯籠	1基	三光町13-13	昭和42年 2月15日
31	千本木龍頭神舞カシラ	3個	南千木町2292	昭和47年 4月25日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
32	慶長の釣灯籠	1基	曲輪町30-6	昭和48年 3月 5日
33	八寸権現山の宝塔	1基	豊城町1989-2	昭和48年 3月 5日
34	大聖寺墓地の宝篋印塔	2基	大正寺町89	昭和48年 3月 5日
35	富塚円福寺の宝篋印塔	2基	富塚町2337	昭和48年 3月 5日
36	文明の石幢	1基	曲輪町14-13	昭和48年 3月 5日
37	伊勢崎の太織	25点	曲輪町32-5	昭和48年 3月 5日
38	宮古の古文書	508通	曲輪町22-21	昭和48年 3月 5日
39	常清寺の変型板碑	1基	東本町354	昭和48年 3月 5日
40	岡屋敷の阿弥陀三尊石仏	1体	波志江町165-4	昭和48年 3月 5日
41	新宿の変型板碑	1基	波志江町1410	昭和48年 3月 5日
42	上蓮の阿弥陀・地藏石仏	1基	上蓮町20	昭和48年 3月 5日
43	竹芳寺の梵鐘	1口	連取元町1816	昭和48年 3月 5日
44	脇差 銘 直勝	1口	本町4-26	昭和48年 3月 5日
45	刀 銘 直道	1口	中央町23-19	昭和48年 3月 5日
46	森村家の文書	62冊	連取町361	昭和58年 3月11日
47	波志江権現山の磨崖種子	1基	波志江町2237-6	昭和59年11月29日
48	上西根の五輪塔	1基	鹿島町155-1	昭和59年11月29日
49	藍染熨斗目	1領	北千木町2013	平成 4年 2月24日
50	倭文神社の朱印状	9通	東上宮町222	平成 4年 2月24日
51	旧時報鐘楼	1基	曲輪町28-23	平成 5年 3月23日
52	蛇塚古墳出土埴輪馬	2体	西久保町二丁目98	平成 8年 3月29日
53	高山1号古墳出土埴輪鞍	1基	西久保町二丁目98	平成 8年 3月29日
54	絹本着色稲垣平右衛門長茂像附同重宗像	2幅	昭和町1645-1	平成 8年 3月29日
55	黒羽根内科医院旧館	1棟	曲輪町31-4	平成14年 9月30日
56	旧森村家住宅	1棟	連取町377-1	平成15年10月31日
57	柴町八幡神社社殿	1棟	柴町693	平成16年11月30日
58	上毛伊勢崎領塾小学内篇・外篇版木 附同版藩校学習堂蔵印小学二冊	1式	曲輪町22-21	平成20年 7月 1日
59	今村神社旧大鏡院仁王門 附奉加帳	1棟	稻荷町乙368、稻荷町367-1	平成22年10月 1日
60	天増寺橋供養地藏尊像	1軀	昭和町1649-1	平成22年10月 1日
61	香林の木造如意輪観音坐像	1軀	香林町一丁目354-1	平成 6年 4月 1日
62	香林の石造観音菩薩坐像	1軀	香林町一丁目354-1	平成 6年 4月 1日
63	間野谷の石造層塔	1基	間野谷町839 (共同墓地内)	平成 6年 4月 1日
64	宝珠寺の五輪塔	1基	赤堀今井町二丁目1344-1	平成 6年 4月 1日
65	石山観音の大鰐口	1口	下触町4番地	平成20年 2月25日
66	東小保方村分間絵図他一括古文書	1式	東町2514	昭和48年 2月21日
67	小泉稻荷神社奉納手洗盤	1点	小泉町231	昭和48年 3月22日
68	文化の常夜灯	1基	小泉町259	昭和63年 3月 4日
69	長安寺の宝篋印塔	1基	西小保方町304	昭和63年 3月 4日
70	復元あずま橋と二十三夜塔	2基	国定町一丁目1243-1	昭和63年 3月 4日
71	頼光塚	1基	東小保方町1772-2	平成14年 3月29日
72	延文二年銘鰐口	1点	境261	昭和42年 2月10日
73	曼荼羅板碑	1基	境261	昭和42年 2月10日
74	金井研香筆 境街糸市繁昌之図	1幅	西久保町二丁目98	昭和42年 2月10日
75	東町福島家文書	1式	境東328	昭和42年 2月10日
76	大国神社の石幢	1基	境下淵名2827	昭和42年 2月10日
77	漂麦園文集1 2巻	1式	境保泉262	昭和42年 2月10日
78	金井烏洲筆 赤壁夜遊図	1幅	境島村2215	昭和42年 2月10日
79	養蚕新論版木	1式	境島村2243	昭和42年 2月10日
80	島村の板倉	1棟	境島村2492	昭和42年 2月10日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
81	平塚赤城神社本殿	1棟	境平塚1163-1	昭和42年 2月10日
82	米岡の姥石	1基	境米岡230-2	平成16年11月26日
83	平塚西光寺の馬頭観音塔	1基	境平塚1224	平成16年11月26日
84	境町五人組帳	290点	境323-1	平成16年11月26日
85	本妙寺の鬼子母神堂 附棟札	1件	山王町857	平成28年 3月24日
86	福壽院の和時計	1台	境小此木651	平成30年2月26日

### 9 市指定重要有形民俗文化財 (5件)

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
87	平塚の操人形及び衣装 (頭等)	1式	境1228	昭和38年 8月 1日
88	平塚の操人形及び衣装 (衣装等)	1式	境323-1	昭和38年 8月 1日
89	平塚の操人形及び衣装 (人形・衣装・収納箱一式)	1式	境平塚1220-10	平成16年11月26日
90	波志江の屋台	10基	波志江町3348-1 外	平成16年11月30日
91	茂呂の屋台	5基	茂呂町一丁目538-4外	平成22年10月 1日

### 10 市指定重要無形民俗文化財 (16件)

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
92	伊勢崎木遣り	1式	宮子町1211-1	平成13年 6月29日
93	国定赤城神社奉納獅子舞	1件	国定町一丁目2057	平成18年 6月15日
94	下淵名の獅子舞	1件	境下淵名	平成18年 6月15日
95	剛志の民謡	1件	境剛志地区	平成18年 6月15日
96	女塚祭礼囃子	1件	境女塚	平成18年 6月15日
97	栄町祭礼囃子	1件	境栄	平成18年 6月15日
98	三ツ木祭礼囃子	1件	境三ツ木	平成18年 6月15日
99	東新井の獅子舞	1件	境東新井	平成18年 6月15日
100	倭文神社の田遊び	1件	東上之宮町380	平成19年 8月17日
101	茂呂町一丁目屋台囃子	1件	茂呂町一丁目	平成25年 3月26日
102	茂呂町二丁目屋台囃子	1件	茂呂町二丁目	平成25年 3月26日
103	南北千木町屋台囃子	1件	南千木町	平成25年 3月26日
104	美茂呂町屋台囃子	1件	美茂呂町	平成25年 3月26日
105	茂呂南町屋台囃子	1件	茂呂南町	平成25年 3月26日
106	東町屋台囃子	1件	境東町	平成26年 2月25日
107	気楽流柔術	1件	東小保方町	平成27年 2月26日

### 11 市指定史跡 (27件)

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
108	権現山遺跡	1件	豊城町1989-3	昭和41年 4月12日
109	お富士山古墳	1基	安堀町799	昭和41年 4月12日
110	今村城跡	1件	稲荷町848-1	昭和41年 4月12日
111	柴宿本陣跡	1件	柴町524	昭和41年 4月12日
112	栗庵似鳩の墓	1基	上蓮町134-1	昭和41年 4月12日
113	稲垣平右衛門長茂の墓 附累代の墓所	24基	昭和町1614	昭和42年 2月15日
114	小島武堯の墓	1基	曲輪町10-11	昭和42年 2月15日
115	関当義・重嶷父子の墓	2基	曲輪町14-10	昭和48年 3月 5日
116	丸塚山古墳	1基	三和町2448外	昭和52年 9月 9日
117	一ノ関古墳	1基	本関町1298-3 外	平成10年12月28日
118	下城弥一郎・森村熊蔵の碑	2基	曲輪町31-1	昭和42年 2月15日
119	十二所古墳	1基	磯町405-1 外	昭和46年 6月10日
120	庚塚古墳	1基	下舐町119-1	平成 7年 4月 1日
121	赤堀城跡	1件	赤堀今井町二丁目1405-1 外	平成16年 8月10日
122	毒島城跡	1件	赤堀今井町二丁目815 外	平成16年 8月10日
123	赤堀茶白山古墳	1基	赤堀今井町二丁目甲995-1 外	平成16年 8月10日
124	天幕城跡	1件	磯町293-1外	平成16年 8月10日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
125	六道の道標とあずま道	1件	上田町249	昭和44年 2月21日
126	旗本久永氏陣屋跡	1件	東小保方町3297	昭和63年 3月 4日
127	鶴巻古墳	1基	東小保方町1859 外	昭和44年 2月21日
128	郷学五惇堂の碑	2基	境伊与久676	昭和35年 3月 1日
129	北米岡縄文文化遺跡	1件	境米岡地内	昭和35年 3月 1日
130	西今井中世館跡	1件	境西今井319	昭和42年 2月 2日
131	旧日光例幣使道	1件	境下武土地内	昭和42年 2月 2日
132	村上随憲の墓	1基	境495	昭和42年 2月10日
133	雷電神社古墳	1基	境伊与久3581	昭和52年 3月11日
134	弥勒寺音次郎・音八父子の墓	1件	境下淵名1349	平成元年 3月15日

## 12 市指定天然記念物（7件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
135	同聚院の大カヤ	1本	曲輪町14-14	昭和42年 2月15日
136	波志江の大シイ	1本	波志江町2160-3	昭和42年 2月15日
137	上植木のサカキ	1本	本関町1093	昭和42年 2月15日
138	赤堀今井の信濃柿（マメガキ）	1本	赤堀今井町一丁目205	平成 6年 4月 1日
139	塩島稲荷の大サザンカ	1本	八寸町5156-2	昭和44年 2月21日
140	湧水あまが池	1件	上田町269-2	昭和63年 3月 4日
141	西福寺の大カヤ	1本	田部井町二丁目1167	昭和63年 3月 4日

## 13 国登録有形文化財（2件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
142	小茂田家住宅（主屋・蚕室・蔵・井戸屋）	4棟	長沼町2631	平成16年 2月17日
143	日本基督教団島村教会、めぐみ保育園舎	2棟	境島村2509-2	平成20年 4月18日

# Ⅷ 青少年健全育成



親子でわいわいデイキャンプの様子



# 心身ともに健全な青少年の育成の推進

## 1. 基本方針

将来の地域社会を担う自立した青少年を育成するため、青少年の自主的な体験活動を促進し、社会規範・モラルの向上を図るとともに、家庭・地域社会・学校が連携して有害環境の浄化や問題の早期発見に取り組むなど、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組みます。

## 2. 重点事業

### (1) 地域ぐるみの健全育成と環境づくり

- ア. 青少年健全育成大会の開催
- イ. 青少年健全育成環境浄化大会の開催
- ウ. 子ども安全協力の家事業の充実
- エ. 深夜営業施設立入調査の実施
- オ. 成人式の実施

### (2) 次代を担う青少年の育成

- ア. 豊かな人間性を育むための、子ども会育成会やふれあい体験教室での体験活動の充実
- イ. 地域における青少年の健全育成を推進するための、リーダーの養成事業と派遣事業の充実

## 3. 平成29年度事業実績

### (1) 地域ぐるみの健全育成と環境づくり

事業名	趣旨	期日・場所	対象者	参加者数
青少年問題協議会	青少年の指導・育成及び矯正に関する総合的施策の樹立につき重要な事項を調査審議するとともにその適切な実施を期するため必要な関係行政機関相互の連絡調整を図る。	4/21、5/29、11/17	委員、幹事	63
青少年健全育成三季運動	青少年の非行や事故の発生が、児童生徒の休業期である季節に増加している。そのため児童生徒の休業期に、「青少年健全育成三季運動」を展開する。	春(3/15～4/30) 夏(7/15～8/31) 冬(12/15～1/31)	市民	18,363
白ポスト回収	白ポストを設置し、有害図書等の回収・調査にあたる。	毎月実施	青少年育成推進員、青少年指導員による回収数	901
深夜営業施設立入調査	青少年関係団体及び伊勢崎警察署と連携し、深夜営業施設への立入調査の実施。	市内を対象に実施	青少年育成推進員、警察署員ほか	19
社会環境実態調査	県青少年健全育成条例に基づき、青少年を取り巻く社会環境の調査を実施。	社会環境 7/15～8/31	青少年育成環境モニター	33
家庭健全化運動推進モデル地区	家庭健全化運動を総合的、具体的に推進するため、地域に根をおろした家庭健全化運動を推進するための事業。	各モデル地区 会議所・集会所	モデル地区住民	3,511

青少年健全育成環境浄化大会	青少年を健全に育成するために、地域ぐるみの育成活動、地域社会のあり方及び各地域における環境浄化の促進について関係団体が事例報告を行い、共通理解のもとに今後の実践活動に資する。	10/27 緋の郷 円形交流館	青少年育成推進員、 指導センター補導員、 関係団体	221
青少年健全育成大会	青少年の主張及び青少年善行者、非行防止標語優秀者を表彰し、また、青少年に日頃の活動発表の場を提供することで、家庭・学校・地域が思いを一つにし、市民総ぐるみの青少年健全育成運動を推進する。	2/3 伊勢崎市文化会館 小ホール	教育機関、 青少年育成団体	339
子ども安全協力の家	一般家庭や商店・事業所などを、子供達の緊急避難場所として指定し、子ども安全協力の家事業の充実を図る。	通年	設置軒数	1, 151
成人式	青少年育成関係団体等の協力により成人の日を迎える新成人を祝福するとともに、式典の運営に新成人が携わることで、新成人の自覚や意識を高める。	1/7 緋の郷まか	新成人	1, 761



青少年健全育成大会



成人式



子ども安全協力の家

## (2) 次代を担う青少年の育成

事業名	趣旨	期日・場所	対象者	参加者数
ジュニアリーダー初級認定講習会	ジュニアリーダー・サブリーダーに、子ども会活動の基礎的知識・技能を習得させ、あわせて地域のリーダーの組織化をめざす。	6/3~4 伊勢崎市青少年育成センター	ジュニアリーダー サブリーダー	53
子ども会指導者初級認定	単位子ども会の初級指導者を養成	5/28	子ども会育成会会	331

定講習会	し、子ども会活動の健全な活動に資する。	境総合文化センター 6/4、18 伊勢崎市青少年 育成センター	員	
子ども会役員インリーダー研修会	子ども会会員である小学校高学年を対象に、子ども会運営に必要な基礎的知識・技能を習得させることにより、子ども会役員としての自覚を高め、単位子ども会の活性化を図る。	6/17～18 伊勢崎市青少年 育成センター	子ども会役員イン リーダー	70
子ども会町内対抗少年相撲大会	国技である相撲を通して、自己の体力を養い、伝統ある武道の尊さと礼節を学び、あわせて子どもたちの闘志と友情を育てる。	9/10 華蔵寺公園 運動施設内相撲場	子ども会会員	65
子ども会駅伝競走大会	駅伝競走を通して、子どもたちの走力及び心身を鍛え、あわせて単位子ども会の交流を図る。	10/9 市陸上競技場及び その周辺	子ども会会員	233
市上毛かるた競技大会	上毛かるたの競技を通して、郷土群馬の文化・歴史・伝統を理解し、郷土を愛する心情を養う。	1/21 伊勢崎市民プラザ 柔道場	子ども会会員	199
青少年団体リーダー養成事業	青少年団体の中堅リーダーを各種指導者育成研修会へ派遣し、知識や技能を習得させ、指導者の資格を取得させることにより、指導者としての資質の向上を図る。	4月～3月 県内各地	青少年団体リーダ ー	74
明日の郷土を築く青少年の集い	青少年の体験活動を支援する団体が集い、日ごろの活動の成果を発表し合い、市民を交えて交流を図り、明日の郷土を築く決意を新たにする。また、本事業を通して、青少年団体活動に対する市民の理解を深める。	10/15 波志江沼環境ふれ あい公園	青少年、市民	503
ふれあい体験教室	市内の子供を対象に、青少年団体が特色ある活動を活かした体験教室を実施し、豊かな人間性を育むための体験活動を推進する。	4月～3月 市内各地	青少年、市民	1,445
地域子ども交流事業 (都市地方連携推進事業)	生活環境の異なる子供達の交流を通して、幅広い視野と柔軟性に富んだ思考能力の醸成に寄与し、また、自らの地域を深く知るためのキッカケづくりとする。	9/18、 育成センター	伊勢崎市ボーイス カウト、ガールス カウト	138
		12/2～3 育成センターほか	本庄市、前橋市、 伊勢崎市ボーイス カウト、ガールス カウト	
アウトドア体験学習 「親子木工教室」	自らの手で物を作る体験を提供するとともに、親子の絆を深める。	8/6 赤堀社会体育館	市内在住の小 学生と保護者	41
子ども体験教室	子供達に自然の材料を使った物づくりの機会を提供し、また、伝統ある七夕まつりをテーマに夢を養う機会を創出することで、豊かな人間性を育	7/15～16 七夕にぎわい広場	市内在住の親 子	391

	む体験の機会を創出する。			
子ども文化財めぐり	子供達が県内の文化財をめぐることにより、郷土に対する愛情を育むとともに参加者同士の親睦を深める。	3/4 富岡市周辺	小中学生	58



市上毛かるた競技大会



地域子ども交流事業



ふれあい体験教室

# 青少年非行防止活動の推進

## 1 基本方針

心身ともに健全な青少年の育成を目指し、青少年の非行防止活動の推進に努めます。

近年の急速な社会変化は、青少年に大きな影響を及ぼし、そこから生じる非行、いじめ等の問題は、依然として憂慮される状態にあります。

明るい家庭、住みよいまちづくりを推進し、家庭、学校、地域、関係機関が一体となって、青少年に温かい声かけを行い非行防止活動に努めます。

## 2 重点施策

### (1) 地域と一体となった非行防止活動の展開

ア 青少年の非行防止・健全育成を目的として 29 班編成で実施する通常補導、地元で実施する地区別補導、お祭りの際に実施する特別補導及び列車内補導などを通して、非行少年の早期発見、早期指導に努める。

イ 青少年の非行防止を目指し、違反簡易広告物の除却活動を推進する。

ウ 非行防止絵画・ポスターを作成配布し、地域住民の意識の高揚に努める。

### (2) 青少年相談事業の充実

ア 青少年の悩みごと、子どもを持つ親の悩みごとなどを、電話又は面接を通して相談を受け、問題解決の一助とし、青少年の健やかな育成を図る。

イ 毎週月曜日から金曜日の午後 1 時から午後 5 時まで、青少年相談員による電話又は面接相談を実施する。

ウ 休日、夜間は、留守番電話で対応する。

エ 電話相談及び面接相談は、青少年指導センターで行う。

オ 青少年相談事業の啓発のため、電話相談カードを作成し市内の学校に配布する。

### (3) 青少年非行防止街頭キャンペーンの実施

ア 青少推と連携し、市内 5 箇所の大型店舗で青少年健全育成・非行防止街頭キャンペーンを実施する。

### (4) 青少年健全育成及び非行防止絵画・ポスターの募集

ア 「夏の青少年健全育成運動」の一環として、市内の小学校及び中学校の児童・生徒を対象に、青少年健全育成及び非行防止に関する絵画・ポスターを募集する。

イ 応募された作品の中から入賞作品を選出し、健全育成大会で表彰する。

### (5) 青少年育成団体・学校・関係機関等との連携

ア 補導員会役員会を開催し、地域の団体や学校との意見交換を推進する。

イ 研修会などを通して、警察や関係機関との連携を図る。

### 3 平成29年度事業実績

#### (1) 街頭補導状況

(単位:回、人)

月	補導回数				従事した延べ人数					
	午後 2時	午後 4時	夜間	計	補導員			他団体	職員	計
					通常	特別	計			
5	6	7	10	23	78	0	78	0	0	78
6	7	10	11	28	91	0	91	0	0	91
7	7	10	13	30	85	29	114	9	4	127
8	7	10	12	29	79	14	93	0	1	94
9	7	11	11	29	91	11	102	0	1	103
10	7	11	10	28	88	0	88	0	0	88
11	7	11	10	28	91	0	91	0	0	91
12	6	10	20	36	78	41	119	0	0	119
1	6	9	9	24	65	27	92	8	4	104
2	7	7	9	23	74	0	74	0	0	74
3	6	7	10	23	72	31	103	0	0	103
計	73	103	125	301	892	153	1,045	17	10	1,072

#### (2) 問題別・相談者別相談状況

(単位:件)

相談内容	未就学	小学生	中学生	高校生	青年	親	一般	合計
非行	0	0	0	0	0	2	0	2
異性・性	0	0	0	1	0	0	0	1
交友	0	0	0	0	0	4	0	4
学業	0	2	0	0	0	2	0	4
進路	0	0	1	0	0	1	2	4
不登校	0	0	0	0	0	0	2	2
健康	0	0	0	0	0	1	8	9
家庭	0	0	0	0	0	100	87	187
性格	0	0	0	0	0	15	13	28
しつけ	0	0	0	0	0	2	1	3
いじめ	0	0	0	2	0	2	1	5
その他	0	0	0	0	0	1	16	17
合計	0	2	1	3	0	130	130	266



非行防止街頭キャンペーン



列車内補導

**地域で見守る青少年**

ルールの確認

青少年(18歳未満)は、午後10時から午前4時までの外出が禁止されています。

青少年に、有害な映画や図書などを見せたり聞かせたりしてはいけません

青少年に、有害な玩具などを持たせてはいけません

インターネットは、フィルタリングなどで適切な利用に努める必要があります

非行防止のために

地域の子にはあいさつを。「声かけ運動」をしましょう

携帯電話の使い方について、家族で話し合しましょう

悩みごと、ひとりで悩まず相談してみませんか？

**TEL. 27-8080**

来所の相談もできます

相談時間 土・日・祝日を除く午後1時～午後5時まで  
場 所 伊勢崎市昭和町1712番地2 耕の郷 市民交流館1階

伊勢崎市青少年指導センター  
伊勢崎市青少年指導センター補導員会

秘密は守ります

非行防止チラシ

ひとりでも悩まないで

電話そうだん

青少年そうだん ☎27-8080

ひみつはまもります

電話相談カード

あいさつは心の扉を開くカギ

困ったら

青少年そうだん

ひみつはまもります

☎27-8080

伊勢崎市青少年指導センター

健全育成啓発ティッシュ

## Ⅸ スポーツ振興



伊勢崎市民総合スポーツ大会（陸上競技）



# スポーツ振興

## 1 基本方針

- (1) 1市民1スポーツの推進を図る
- (2) スポーツ指導者の養成と指導体制の確立を図る
- (3) スポーツ団体の育成強化を図る
- (4) スポーツ施設・整備の充実を図る

## 2 重点施策

### (1) 1市民1スポーツの推進を図る

#### ア 市民が多く参加できるスポーツ教室の推進

子どもから高齢者まで、年齢・体力・技術に応じてスポーツ活動に取り組めるよう、各種スポーツ教室を開催し、競技力の向上を目的に一流選手に触れる機会のスポーツ教室の開催など、市民のすべてが生涯にわたり健康で生きがいのある生活が送れるように努めます。

#### イ 家族で楽しめる「市民スポーツの日」の推進

毎月第一日曜日を「市民スポーツの日」として、施設（陸上競技場・庭球場・市民体育館・第二市民体育館・赤堀体育館・あずま体育館・境体育館など）を無料開放。市民が家族でスポーツに親しみ、スポーツを通して健康な心と体を鍛え、明るく豊かなまちづくりの推進に努めます。

#### ウ 市民総合スポーツ大会の充実

第14回市民総合スポーツ大会を開催し、広く市民にスポーツの振興・普及を図り市民の体力づくり運動を推進するとともに市民総スポーツの定着に努めます。

#### エ 市民レクリエーションスポーツ祭の充実

第14回市民レクリエーションスポーツ祭を開催し、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる市民スポーツの推進に努めます。

#### オ スポーツ推進委員等による地域スポーツ活動の推進

地域住民のニーズにあった、ニュースポーツの普及や地域スポーツ活動の支援などにより、市民総スポーツの定着に努めます。

### (2) スポーツ指導者の養成と指導体制の充実

#### ア 実技講習会等による指導者の養成

実技講習会を実施し、指導者としての知識及び技能の向上を図るとともに、体力や年齢に応じた適切な指導の向上に努めます。

#### イ 指導者登録制度の充実と効果的な活用

市民のスポーツ需要に応える、適切な指導者を紹介できるような指導者制度を確立し、活用に努めます。

### (3) スポーツ団体の育成強化を図る

#### ア 一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会活動への支援

1市民1スポーツの推進及び競技力向上を図るため、各競技団体、スポーツ推進委員会、地区社会体

育推進委員会、軽スポーツ団体等の連携と（一財）伊勢崎市スポーツ協会の支援に努めます。

#### イ 競技団体の育成と選手の強化

各競技団体の自主活動を推進するとともに、関東・全国大会で活躍できる選手の育成に努めます。

#### ウ スポーツ少年団の育成

各少年団の自主的活動を推進するとともに、相互間の連携の強化を図り、少年スポーツの育成に努めます。

### (4) スポーツ施設・設備の充実

- ア 陸上競技場管理棟改修工事
- イ 陸上競技場夜間照明増設工事
- ウ 伊勢崎市野球場ラバーフェンス改修工事
- エ あかぼり運動公園テニスコート人工芝張替工事
- オ 境広瀬川グラウンドゴルフ場案内標識設置工事
- カ 赤堀体育館バスケットゴール改修工事

### (5) スポーツ振興組織

#### ア スポーツ推進審議会

市民の意見の反映、専門的な人々からの総合的、長期的な伊勢崎市のスポーツに対する諮問機関。

委員 11人

#### イ スポーツ推進委員

市民のスポーツの振興と市民スポーツ活動の促進を一層充実するため指導助言を行う。

委員 45人

#### ウ 各地区社会体育推進委員連絡協議会

各地区のスポーツ行事の情報交換・調整・スポーツの普及啓発・指導者の養成等を行う。

委員 33人

#### エ スポーツ指導者バンク

市民のスポーツ活動の促進を図るため、スポーツ指導者の登録制度。

10団体 88人

#### オ 一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会

スポーツ人口の増大と各競技種目の普及に伴って、（一財）伊勢崎市スポーツ協会も年々充実発展し現在44団体を統括し、本市のスポーツの核として、1市民1スポーツの定着と競技力の向上・指導の育成等に努めている。

### (一財)伊勢崎市スポーツ協会加盟団体

野球協会・ソフトテニス連盟・テニス協会・バレーボール協会・バスケットボール協会・卓球協会・陸上競技クラブ・水泳協会・サイクリング協会・スキー協会・柔道協会・剣道協会・弓道協会・子育連・スケート協会・体操協会・ボクシングクラブ・バドミントン協会・アーチェリー協会・サッカー協会・ソフトボール協会・ラグビーフットボール協会・ウォーキング協会・ゲートボール協会・ボウリング協会・ゴルフ協会・太極拳協会・インディアカ協会・グラウンドゴルフ協会・綱引協会・中学校体育連盟・スポーツ少年団・スポーツ推進委員会・地区社会体育推進委員連絡協議会・市民合気会・ハイキング協会・レスリング協会・空手道連盟・トライアスロン協会・スポーツチャンバラ協会・スポーツ吹矢協会・山岳会・西部スポーツクラブ・トランポリン協会

### 3 平成29年度事業実績

#### (1) スポーツ教室開催結果一覧表

参加者 1,001人

No.	教室名	実施月	回数	対象	参加人数	会場
1	早朝テニス	4月・5月	8	小学4年以上	95	庭球場
2	早朝ソフトテニス(境)	4月・5月	6	小学3年以上	39	境上武公園テニス場
3	ソフトテニス	4月-6月	6	在住・在勤(学生除く)	20	庭球場
4	ミニバスケットボール	5月	3	小学1年～6年	91	あずま体育館
5	なぎなた	5月	4	小学生以上	5	境武道館
6	弓道(あずま)	5月・6月	8	小学5年生以上	18	あずま弓道場
7	少年少女レスリング	4月-6月	6	幼稚園・小・中学生	18	南小学校
8	弓道	5月・6月	8	中学生以上	14	弓道場
9	健康アップ	5月・6月	9	在住・在勤(学生除く)	27	市民体育館
10	弓道(境)	5月・6月	8	中学生以上	16	境弓道場
11	インラインスケート	5月・6月	3	5歳以上の市民	12	三室西公園運動場
12	バドミントン	5月-7月	8	在住・在勤(学生除く)	40	第二市民体育館
13	ボクシング	6月	8	小学生以上	30	市民体育館
14	体操	6月	8	小学2年～6年	30	市民体育館
15	サッカー	6月	2	小学1年～3年	24	赤堀コミュニティひろば
16	卓球	6月	8	小学5年以上	24	スポーツ交流館
17	合気道	6月	6	小学生以上	17	市民体育館外
18	陸上	6月	4	小学4年～6年	18	陸上競技場
19	早朝ソフトテニス	6月・7月	8	小学4年以上	84	庭球場
20	太極拳	7月	1	小学生以上	52	境体育館
21	ナイターテニス	8月・9月	8	在住・在勤(学生除く)	40	庭球場
22	ジュニアバドミントン	8月・9月	4	小・中学生	40	第二市民体育館
23	水泳 ①	9月	6	50歳以上の市民	12	スイミングアカデミー伊勢崎
24	カヌー	9月	2	中学生以上	9	広瀬川外
25	ミニバレーボール	10月・11月	8	小学3年～6年	29	茂呂小学校体育館
26	サッカー(境)	10月	1	小学1年～4年	30	境総合運動場
27	スケート ①	11月	8	小学生以上	62	スケートセンター
28	スケート ②	12月	8	小学生以上	55	スケートセンター
29	スキー	3月	1	小学生以上	38	万座温泉スキー場
30	水泳 ②	3月	6	50歳以上の市民	12	スイミングアカデミー伊勢崎

#### (2) 「市民スポーツの日」実績一覧表

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
693	1,007	674	1,193	562	692	733	563	421	520	580	615	8,253

### (3) 市民総合スポーツ大会の成績表

#### ア 総合成績

優勝	第2位	第3位
宮郷地区	豊受地区	境地区

#### イ 種目別

種目	第1位	第2位	第3位	種目	第1位	第2位	第3位
陸上(男子)	豊受	宮郷	境	弓道	殖蓮	三郷	赤堀
陸上(女子)	境	宮郷	茂呂	柔道	境	宮郷	豊受・東
フットボール(男子)	殖蓮	東	宮郷・豊受	剣道	豊受	境	東
フットボール(女子)	赤堀	東	宮郷・豊受	テニス	北	豊受	名和
バレーボール(男子)	豊受	赤堀	宮郷・境	綱引き	名和	豊受	境・宮郷
バレーボール(女子)	豊受	茂呂	南・殖蓮	ゲートボール(男子)	殖蓮	宮郷	南
ソフトテニス	赤堀	宮郷	南	ゲートボール(女子)	名和	東	茂呂
卓球	赤堀	東	境	グラウンドゴルフ	境	宮郷	三郷

### (4) 市民レクリエーションスポーツ祭の実績

総参加者総人数 1,557人(役員等171人を含む)

種目	参加者	種目	参加者	種目	参加者	種目	参加者
サイクリング	31	ターゲットボードゴルフ	37	スマイルウイング	100	スポーツ吹矢	114
ウォーキング	44	ホエンテリング	18	シャトルボード	85	ヘルスバレー	58
ゲートボール	150	インディアカ	44	タスポニー	61	ラダーゲッター	110
グラウンドゴルフ	407	なわとび	76	スポレック	57	はつらつウォーク	165

### (5) 施設の利用状況

施設利用実績 総合計 1,005,225人

華蔵寺公園運動施設		赤堀運動施設		あずま運動施設		境運動施設	
市民体育館	165,806	赤堀体育館	24,727	あずま体育館	38,675	境体育館	22,921
第二市民体育館	38,835	赤堀剣道場	4,066	テニスコート	10,831	境武道館	28,451
庭球場	76,549	中央運動場	17,491	あずまスタジアム	12,460	いよく公園運動場	26,066
野球場	26,349	あかぼり運動公園	34,910	あずまサブスタジアム	6,645	境弓道場	3,618
陸上競技場	36,680	西部スポーツ公園	13,545	あずま弓道場	10,507	総合運動場	29,078
ソフトボール	17,259	香林運動公園	6,282	総合運動場	13,553	上武公園運動場	13,964
第二グラウンド	13,911	グラウンドゴルフ場	1,672	三室西公園	12,470	グラウンドゴルフ場	24,204
補助競技場	25,791	コミュニティひろば	36,155	ゲートボール場	3,376	利根川河川運動場	881
弓道場	11,546	計	138,848	グラウンドゴルフ場	11,192	矢ノ原公園運動場	713
相撲場外	1,698	—	—	あずまサッカースタジアム	52,949	ラグビー場	4,894
市民プール	24,461	つなとりスポーツ広場	9,610	ウォーターランド	73,460	境プール	16,974
計	438,885	計	9,610	計	246,118	計	171,764

# 伊勢崎市の教育要覧

平成 30 年度版

編集 平成 30 年 9 月 発行  
発行 伊勢崎市教育委員会事務局  
伊勢崎市教育委員会  
〒372-8501  
伊勢崎市今泉町二丁目 410 番地  
電話：0270-27-2785（総務課）  
FAX：0270-24-9668  
E-mail：k-soumu@city.isesaki.lg.jp

